

日本語教育に関する調査（自治体等が実施）の項目について

・ 都道府県，政令指定都市及びその地域国際化協会が既に実施した調査から，調査項目を抽出。

・ 調査項目を以下の観点から分類。

①	日本語学習の目的・必要性	2 ページ
②	日本語学習の状況	18 ページ
③	日本語学習の経験	30 ページ
④	日本語学習の方法	32 ページ
⑤	日本語能力について	38 ページ
⑥	行政に対する要望（日本語学習に関する項目を含む）	56 ページ
⑦	生活上のニーズについて（日本語学習に関する項目を含む）	64 ページ
⑧	子育てに関するニーズ（日本語に関する項目を含む）	64 ページ
⑨	医療に関するニーズ（日本語に関する項目を含む）	70 ページ
⑩	その他	72 ページ

・ それぞれの調査項目について，調査実施主体，実施方法，回答者属性（①性別・年齢，②国籍，③在留資格），調査結果を記載。

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
①日本語学習の目的・必要性			
①日本語学習の目的・必要性	石川県(石川県国際交流協会日本語日本文化研修センター) 「平成23年度石川県地域日本語教室実態調査報告書」	○実施時期 平成23年5月～平成23年12月 ○対象 石川県内で地域に在住している外国人(日本国籍でも日本語を母語としていない人を含む)一般を対象として日本語指導ないし日本語学習支援を、教室における「授業」の形で行っている非営利ベースの日本語教室を、規模の大小を問わず、対象とした。 ○調査方法 調査対象期間へのアンケート調査。質問紙を送付し、回収。24教室から回答。学習者総数539人。	○性別(N=539) [男] 252(47%) [女] 287(53%) ○年齢(N=539) 年齢層 20～70代
①日本語学習の目的・必要性	茨城県生活環境部国際課 「ブラジル人等生活実態調査報告書(概要版)」	○実施時期 平成21年8月～12月 ○対象 常総市, 牛久市, 土浦市(ブラジル人登録者数上位3市)を中心とした地域。 ○調査方法 ハローワーク, 市窓口, 日本語教室, 外国人を雇用している企業, 外国人児童生徒の多い公立小中学校, ブラジル人学校の256人(ブラジル人:237人, 日本人19人)に対面式の聴き取り調査を実施。	○性別(N=233) [男] 109(46.8%) [女] 124(53.2%) ○年齢(N=233) [19歳以下] 2(0.9%) [20～29歳] 42(18.0%) [30～39歳] 92(39.5%) [40～49歳] 50(21.5%) [50歳～] 45(19.3%) [無回答] 2(0.8%)
①日本語学習の目的・必要性	沖縄県 「おきなわ多文化共生推進指針」		

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
<p>○国籍(N=539)</p> <p>[中国]</p> <p>・24教室中、17教室で一番多く、5教室で二番目に多い。</p> <p>[韓国・朝鮮]</p> <p>・24教室中、2教室で一番多く、3教室で二番目に多い。</p> <p>[ベトナム]</p> <p>・24教室中、1教室で一番多く、4教室で二番目に多い。</p> <p>[アメリカ]</p> <p>・24教室中、1教室で一番多く、2教室で二番目に多い。</p> <p>[その他]</p>	<p>○属性(N=539)</p> <p>[主婦・日本人配偶者]</p> <p>・24教室中、8教室で一番多く、6教室で二番目に多い。</p> <p>[企業研修生・技能実習生]</p> <p>・24教室中、5教室で一番多く、3教室で二番目に多い。</p> <p>[学生・研究生]</p> <p>・24教室中、6教室で一番多い。</p> <p>[ALT/CIR]</p> <p>・24教室中、1教室で一番多く、2教室で二番目に多い。</p> <p>[就労者]</p> <p>・24教室中、1教室で一番多く、2教室で二番目に多い。</p>	<p>【質問文】 日本語学習目的について</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本での生活のため…24件 ・地域社会となじむため…19件 ・現在の仕事のため…14件 ・家族とのコミュニケーションのため…12件 ・仕事を得るため…9件 ・日本語能力試験受験のため…9件 ・高度な日本語力を身につけたい…8件 ・学校の学習／受験・進学のため…4件 ・趣味として…2件 ・子供の学校の学習を理解し、指導するため…1件
<p>○国籍(N=246)</p> <p>[ブラジル] 237人</p> <p>[日本] 19人</p>		<p>【質問文】 今、一番解決したいことについて(複数回答)</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事を見つけたい…93人(39.9%) ・日本語を学びたい…67人(28.8%) ・技術の取得…63人(27.0%) ・子どもの教育…48人(20.6%) ・その他…27人(11.6%) ・無回答…24人(10.3%)
		<p>【質問文】 日常生活での悩みや心配事(複数回答)</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉が通じない…19% ・悩みや心配事はない…17% ・育児や子供の教育…17% ・就職が困難…15% ・母国語で書かれた情報が少ない…14% ・自動車運転免許を取る…13% ・文化や習慣の違い…12% ・病気やけがをした場合の対応…11% ・地震等の大災害が起きた場合の対応…10% ・外国人ということで差別や偏見を受ける…10% ・住まいに関する…10% ・公共交通機関を利用する場合の対応…7% ・ゴミ出し等における近所とのトラブル…1% ・その他…5%

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
①日本語学習の目的・必要性	京都市 「京都市外国籍市民意識・実態調査報告書」	○実施時期 2007年6月29日～7月20日 ○対象 京都市に在住する20歳以上の外国人登録者 ○調査方法 調査票の配布・回収とも郵送にて実施。外国人登録者名簿を用いた層化抽出(各行政区及び支所別に比例割当、抽出率約10分の1)。発送数3,700票、不達数231票、回収総数982票、有効回収数979票(うち、オールドカマー用594票、ニューカマー用385票)。有効回収率約26.5%。	○性別(N=960) [男] 45.0% [女] 55.0% ○年齢(N=967) [20～29歳] 21.3% [30～39歳] 19.0% [40～49歳] 15.5% [50～59歳] 17.0% [60～69歳] 16.3% [70歳～] 10.8%
①日本語学習の目的・必要性	群馬県 「定住外国人実態調査結果概要」	○実施時期 平成22年12月1日～平成23年2月28日 ○対象 県内に定住しているブラジル人、中国人、フィリピン人、ペルー人。伊勢崎市、太田市、大泉町、前橋市、高崎市在住の日本人。 ○調査方法 外国人の場合は個別訪問による聞き取り調査。日本人の場合はポスティングによるアンケート調査。調査実績として、ブラジル500世帯、中国297世帯、フィリピン218世帯、194世帯、その他73世帯、合計1,286世帯。	
①日本語学習の目的・必要性	群馬県 「定住外国人実態調査結果概要」	○実施時期 平成22年12月1日～平成23年2月28日 ○対象 県内に定住しているブラジル人、中国人、フィリピン人、ペルー人。伊勢崎市、太田市、大泉町、前橋市、高崎市在住の日本人。 ○調査方法 外国人の場合は個別訪問による聞き取り調査。日本人の場合はポスティングによるアンケート調査。調査実績として、ブラジル500世帯、中国297世帯、フィリピン218世帯、194世帯、その他73世帯、合計1,286世帯。	
①日本語学習の目的・必要性	財団法人青森県国際交流協会 青森県観光国際局交際経済課 「青森県在住外国人アンケート調査報告書2012 -平成23年度地域連携多文化共生推進事業-」	○実施時期 平成24年2月～平成24年3月 ○対象 平成23年7月、青森県が県内市町村全てを対象とし平成22年12月末現在の外国人登録状況を調査した「外国人登録状況調査」の結果を基に(総登録件数:4,482件)、県内10市及び平成23年12月末時点の外国人登録者数上位5町村に在住する18歳以上の外国人を調査対象者とした。 ○調査方法 各市町村登録者数により2,000件を按分の上、市町村毎の調査件数を設定して配布。調査票配布数1,992件、有効配布数1,832件、回答数617件、回収率31.0%。	○性別(N=617) [男] 174(28.2%) [女] 437(70.8%) [無回答]6(1.0%) ○年齢(N=617) [18～19歳] 13(2.1%) [20～29歳] 189(30.6%) [30～39歳] 150(24.3%) [40～49歳] 115(18.6%) [50～59歳] 77(12.5%) [60歳～] 66(10.7%) [無回答] 7(1.1%)

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
○国籍(N=968) [韓国・朝鮮] 65.4% [中国] 17.5% [アメリカ] 2.4% [フィリピン] 2.3% [イギリス] 1.5% [その他] 10.9%	○在留資格 [特別永住者] 47.7% [永住者] 20.3% [留学] 9.7% [日本人の配偶者等] 6.7% [教授] 3.5% [家族滞在] 2.3% [人文知識・国際業務] 2.2% [技能] 1.3% [就学] 1.1%	【質問文】 地域での生活において困ったこと(ニューカマーのみ) 【選択肢と回答結果】 (言葉が通じない) ・今、困っている…25.7% ・過去に経験した…36.4% ・困ったことはない…37.9% (日本語をどこで勉強していいのかわからない) ・今、困っている…10.7% ・過去に経験した…17.9% ・困ったことはない…71.5% (災害のときにどうすればいいのかわからない) ・今、困っている…26.1% ・過去に経験した…16.0% ・困ったことはない…57.9% (日本人と知り合う機会や場が余りない) ・今、困っている…18.1% ・過去に経験した…26.9% ・困ったことはない…55.0% (交通機関の利用方法がわからない) ・今、困っている…4.3% ・過去に経験した…34.4% ・困ったことはない…61.4% (子供をどの学校に入ればいいのか分からない) ・今、困っている…6.4% ・過去に経験した…8.4% ・困ったことはない…85.1%
		【質問文】 日本語の学習意欲について 【選択肢と回答結果】 ・学びたい…全体の79.7%(ブラジル72.7, 中国80.3, フィリピン87.5, ペルー87.0, その他80.8。) ※なお、H18年は89.8だったため下がっている。 ・学びたくない…全体の20.3%。
		【質問文】 学びたくない理由について 【選択肢と回答結果】 ・既に日本語でコミュニケーションが取れる…44.8% ・近々帰国する予定…17.6% ・周りに日本語が話せる友人がいる…14.5% ・日本語ができなくても生活に不自由を感じない…13.9% ・勉強が嫌い…3.0%
○国籍(N=617) [中国] 260(42.1%) [韓国・朝鮮] 143(23.2%) [フィリピン] 81(13.1%) [アメリカ] 50(8.1%) [インドネシア] 14(2.3%) [タイ] 15(2.4%) [ベトナム] 6(1.0%) [その他] 44(7.1%) [無回答] 4(0.6%)	○在留資格(N=617) [永住者] 206(33.4%) [特別永住者] 71(11.5%) [留学] 43(7.0%) [技能実習] 128(20.7%) [日本人の配偶者等] 96(15.6%) [その他] 58(9.4%) [無回答] 15(2.4%)	【質問文】 地域の人たちと暮らしてみても必要だと感じていることについて(複数回答) 【選択肢と回答結果】 ・日本語の勉強をすること…318(23.5%) ・日本の文化習慣を知ること…299(22.1%) ・日本人ともっと知りあうこと…253(18.7%) ・母国の文化や習慣を知ってもらうこと…164(12.1%) ・母国出身者とのつながりを大事にすること…168(12.4%) ・その他…23(1.7%) ・無回答…126(9.3%)

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
①日本語学習の目的・必要性	財団法人青森県国際交流協会 青森県観光国際局交際経済課 「青森県在住外国人アンケート調査報告書2012 -平成23年度地域連携多文化共生推進事業-」	○実施時期 平成24年2月～平成24年3月 ○対象 平成23年7月、青森県が県内市町村全てを対象とし平成22年12月末現在の外国人登録状況を調査した「外国人登録状況調査」の結果を基に(総登録件数:4,482件)、県内10市及び平成23年12月末時点の外国人登録者数上位5町村に在住する18歳以上の外国人を調査対象者とした。 ○調査方法 各市町村登録者数により2,000件を按分の上、市町村毎の調査件数を設定して配布。調査票配布数1,992件、有効配布数1,832件、回答数617件、回収率31.0%。	○性別(N=617) [男] 174(28.2%) [女] 437(70.8%) [無回答]6(1.0%) ○年齢(N=617) [18～19歳] 13(2.1%) [20～29歳] 189(30.6%) [30～39歳] 150(24.3%) [40～49歳] 115(18.6%) [50～59歳] 77(12.5%) [60歳～] 66(10.7%) [無回答] 7(1.1%)
①日本語学習の目的・必要性	財団法人岩手県国際交流協会 「岩手県に在住する外国人の課題調査結果」	○実施時期 平成19年11月～平成19年12月 ○対象 岩手県内に在住する外国人(帰化した方を含む。但し、旅行者など短期滞在者を除く) ○調査方法 市町村や市町村国際交流協会、児童民生委員、地域自治会、保健師、大学、企業、日本語教室などの協力を得て、在住外国人に調査票を配布。無記名で郵送により回収。2,210部配布、有効回収数523名(23.7%)	○性別(N=523) [男] 13.4% [女] 86.6% ○年齢(N=523) [19歳以下] 2.1% [20～29歳] 53.5% [30～39歳] 32.1% [40～49歳] 10.1% [50歳～] 2.1%
①日本語学習の目的・必要性	財団法人岩手県国際交流協会 「岩手県に在住する外国人の課題調査結果」	○実施時期 平成19年11月～平成19年12月 ○対象 岩手県内に在住する外国人(帰化した方を含む。但し、旅行者など短期滞在者を除く) ○調査方法 市町村や市町村国際交流協会、児童民生委員、地域自治会、保健師、大学、企業、日本語教室などの協力を得て、在住外国人に調査票を配布。無記名で郵送により回収。2,210部配布、有効回収数523名(23.7%)	○性別(N=523) [男] 13.4% [女] 86.6% ○年齢(N=523) [19歳以下] 2.1% [20～29歳] 53.5% [30～39歳] 32.1% [40～49歳] 10.1% [50歳～] 2.1%
①日本語学習の目的・必要性	財団法人岩手県国際交流協会 「岩手県に在住する外国人の課題調査結果」	○実施時期 平成19年11月～平成19年12月 ○対象 岩手県内に在住する外国人(帰化した方を含む。但し、旅行者など短期滞在者を除く) ○調査方法 市町村や市町村国際交流協会、児童民生委員、地域自治会、保健師、大学、企業、日本語教室などの協力を得て、在住外国人に調査票を配布。無記名で郵送により回収。2,210部配布、有効回収数523名(23.7%)	○性別(N=523) [男] 13.4% [女] 86.6% ○年齢(N=523) [19歳以下] 2.1% [20～29歳] 53.5% [30～39歳] 32.1% [40～49歳] 10.1% [50歳～] 2.1%

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
○国籍(N=617) [中国] 260(42.1%) [韓国・朝鮮] 143(23.2%) [フィリピン] 81(13.1%) [アメリカ] 50(8.1%) [インドネシア] 14(2.3%) [タイ] 15(2.4%) [ベトナム] 6(1.0%) [その他] 44(7.1%) [無回答] 4(0.6%)	○在留資格(N=617) [永住者] 206(33.4%) [特別永住者] 71(11.5%) [留学] 43(7.0%) [技能実習] 128(20.7%) [日本人の配偶者等] 96(15.6%) [その他] 58(9.4%) [無回答] 15(2.4%)	【質問文】 日常生活で必要としている情報は何ですか。あてはまる番号を全て選んでください(複数回答) 【選択肢と回答結果】 ・日本語や日本の文化・習慣…272(16.3%) ・災害や緊急時の対応…268(16.1%) ・仕事や就職・求人情報…182(10.9%) ・医療や保健…174(10.5%) ・税金…158(9.5%) ・在留資格などの手続き…136(8.2%) ・地域の活動やイベント…136(8.2%) ・子育てや子供の教育…121(7.3%) ・住まい…77(4.6%) ・その他…24(1.4%) ・無回答…117(7.0%) 【質問文】 上の回答で、今一番必要としている情報は何ですか。 【選択肢と回答結果】 ・日本語や日本の文化・習慣…121(19.6%) ・災害や緊急時の対応…104(16.9%) ・仕事や就職・求人情報…61(9.9%) ・子育てや子供の教育…43(7.0%) ・医療や保険…31(5.0%) ・税金…26(4.2%) ・地域の活動やイベント…26(4.2%) ・在留資格などの手続き…19(3.1%) ・その他…13(2.1%) ・無回答…170(27.6%)
○国籍(N=523) [中国] 71.7% [韓国又は朝鮮] 6.7% [フィリピン] 8.2% [ブラジル] 2.1% [米国] 4.2% [その他] 7.1%	○在留資格(N=523) [研修] 42.8% [日本人の配偶者等] 17.6% [留学] 11.3% [永住者] 8.6% [特定活動] 7.3% [定住者] 2.9% [帰化] 1.7% [その他] 6.9%	【質問文】 県内で仕事をすることで困ったこと(当てはまるものすべてに○) 【選択肢と回答結果】 ・困ったことはない…59.9% ・岩手の仕事に関する外国語での情報がない…9.0% ・外国人であるために求人に応募しても断られる…7.4% ・外国人であるため賃金や処遇が日本人より低い…7.2% ・外国人であるため上司や同僚から差別される…3.7% ・求人情報や雇用契約が日本語で分からない…3.2% ・残業代などもらえるべき賃金が支払われない…2.7% ・社保、雇保などに加入させてくれない…2.7% ・有給休などの権利があるのに休みをもらえない…1.6% ・仕事中のケガなどを補償してくれない…1.1% ・その他…6.1%
○国籍(N=523) [中国] 71.7% [韓国又は朝鮮] 6.7% [フィリピン] 8.2% [ブラジル] 2.1% [米国] 4.2% [その他] 7.1%	○在留資格(N=523) [研修] 42.8% [日本人の配偶者等] 17.6% [留学] 11.3% [永住者] 8.6% [特定活動] 7.3% [定住者] 2.9% [帰化] 1.7% [その他] 6.9%	【質問文】 日本語を使う上で困ることがあるか。 【選択肢と回答結果】 ・大いにある…33.1% ・時々ある…45.7% ・余りない…13% ・全くない…1.3% ・無回答…6.9%
○国籍(N=523) [中国] 71.7% [韓国又は朝鮮] 6.7% [フィリピン] 8.2% [ブラジル] 2.1% [米国] 4.2% [その他] 7.1%	○在留資格(N=523) [研修] 42.8% [日本人の配偶者等] 17.6% [留学] 11.3% [永住者] 8.6% [特定活動] 7.3% [定住者] 2.9% [帰化] 1.7% [その他] 6.9%	【質問文】 どのようなことで困るか(当てはまるもの全てに○) 【選択肢と回答結果】 ・話すこと…65.2% ・聞くこと…53.9% ・書くこと…37.9% ・読むこと…32.4%

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
①日本語学習の目的・必要性	札幌市 「札幌市外国籍市民意識調査」		
①日本語学習の目的・必要性	島根県 「平成23年度島根県在住外国人実態調査報告書」		
①日本語学習の目的・必要性	島根県 「平成23年度島根県在住外国人実態調査報告書」		
①日本語学習の目的・必要性	鳥取県 「平成21年度 県内外国出身者アンケート調査結果」	○実施時期 平成21年5月1日～5月31日 ○対象 県内在住の20歳以上の外国出身者(ただし、「短期滞在者」及び「特別永住者」を除く) ○調査方法 各市町村の国際交流担当, 市町村教育委員会及び小中学校, 県教育委員会及び県立高校, 民間団体, 企業等を通じて調査票を配布。調査票は4言語(やさしい日本語, 英語, 中国語, タガログ語)で実施。配布部数は976, 回収数は457(回答率は46.8%)	○性別(N=457) [男] 71% [女] 29% ○年齢(N=457) [20～29歳] 48% [30～39歳] 33% [40～49歳] 16% [50～59歳] 3% [60～69歳] 0% [70歳～] 0%
①日本語学習の目的・必要性	鳥取県 「平成21年度 県内外国出身者アンケート調査結果」	○実施時期 平成21年5月1日～5月31日 ○対象 県内在住の20歳以上の外国出身者(ただし、「短期滞在者」及び「特別永住者」を除く) ○調査方法 各市町村の国際交流担当, 市町村教育委員会及び小中学校, 県教育委員会及び県立高校, 民間団体, 企業等を通じて調査票を配布。調査票は4言語(やさしい日本語, 英語, 中国語, タガログ語)で実施。配布部数は976, 回収数は457(回答率は46.8%)	○性別(N=457) [男] 71% [女] 29% ○年齢(N=457) [20～29歳] 48% [30～39歳] 33% [40～49歳] 16% [50～59歳] 3% [60～69歳] 0% [70歳～] 0%

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
		<p>【質問文】 日本人と付き合い合わないのはなぜですか。</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付き合いきっかけがない…52人 ・日本人と付き合いなくても問題ないから…16人 ・引っ越して来たばかりだから…14人 ・言葉が通じないから…11人 ・日本人が自分を避けるから…9人 ・日本の文化や習慣が分からないから…3人 ・日本人が文化や習慣の違いを理解してくれない…3人 ・その他…8人
		<p>【質問文】 あなたは何のために日本語を学んでいますか。</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事をするのに必要だから（良い仕事につくため）…121件 ・生活に必要な情報を得るため…119件 ・職場の人とのコミュニケーションのため…99件 ・日本人の友人とのコミュニケーションのため…94件 ・家族や親せきとのコミュニケーションのため…56件 ・無回答…6件
		<p>【質問文】 あなたが今後日本語教室に望むことは何ですか。</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉だけでなく日本の文化や習慣を教えてくれる…168件 ・仕事に役立つ日本語を教えてくれる…130件 ・土曜日、日曜日、祝日に開いてくれる…56件 ・日本語試験に合格するために指導してくれる…51件 ・夜に開いてくれる…41件 ・昼間に開いてくれる…17件 ・親子向けの教室を開いてくれる…16件 ・子供向けの教室を開いてくれる…3件 ・その他…22件 ・無回答…146件
<p>○国籍(N=457)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 52% [フィリピン] 15% [アメリカ] 8% [韓国・朝鮮] 5% [タイ] 2% [ブラジル] 0% [その他] 18% 	<p>○在留資格(N=457)</p> <ul style="list-style-type: none"> [研修, 特定活動] 25% [永住者] 20% [日本人の配偶者等] 17% [留学] 13% [教育] 7% [人文知識・国際業務] 7% [定住者] 4% [技能, 興行] 2% [家族滞在] 2% [その他] 4% 	<p>【質問文】 あなたはどのような方法で日本語を学習したいと思いますか</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流財団の日本語クラスやボランティアとの学習…29% ・職場の同僚や家族や友人との学習…25% ・テレビの日本語講座…17% ・自宅から近い地域の公民館などでの学習…15% ・有料でもいいので基礎から系統的にじっくり勉強できる機関での学習…9% ・その他…5%
<p>○国籍(N=457)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 52% [フィリピン] 15% [アメリカ] 8% [韓国・朝鮮] 5% [タイ] 2% [ブラジル] 0% [その他] 18% 	<p>○在留資格(N=457)</p> <ul style="list-style-type: none"> [研修, 特定活動] 25% [永住者] 20% [日本人の配偶者等] 17% [留学] 13% [教育] 7% [人文知識・国際業務] 7% [定住者] 4% [技能, 興行] 2% [家族滞在] 2% [その他] 4% 	<p>【質問文】 どのような場面で役に立つ日本語を学習したいと思いますか</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事や学校の勉強に役立つ日本語…34% ・職場や地域の人間関係を円滑にするのに役立つ日本語…31% ・日本語能力試験の受験…14% ・家庭内のコミュニケーションに役立つ日本語…10% ・帰国後のステップアップに役立つ日本語…8% ・その他…3%

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
①日本語学習の目的・必要性	富山県 「在住外国人に対するアンケート調査結果」(※富山県多文化共生推進プラン～外国人にも暮らしやすい、世界に開かれた「元気とやま」の創造～)	○実施時期 平成18年7月	
①日本語学習の目的・必要性	浜松市 「浜松市における南米系外国人及び日本人の実態調査結果(2010年度)」		
①日本語学習の目的・必要性	浜松市 「浜松市における南米系外国人及び日本人の実態調査結果(2010年度)」		
①日本語学習の目的・必要性	宮城県 「平成24年度宮城県外国人県民アンケート調査結果報告書」	○実施時期 平成24年11月22日～平成24年12月20日 ○対象 宮城県内に住民登録のある20歳以上の外国人県民から無作為抽出した方を対象 ○調査方法 郵便による送付・回収。調査票は日本語(ふりがな付き)、中国語(簡体字)、韓国語、英語を送付。調査票配布数は1,870件、回収数は431件、有効回収数は429件(有効回収率22.9%)。	○性別(N=429) [男] 154人(35.9%) [女] 266人(62.0%) [無回答] 9人(2.1%) ○年齢(N=429) [20～29歳] 86人(20.0%) [30～39歳] 122人(28.4%) [40～49歳] 119人(27.7%) [50～59歳] 56人(13.1%) [60～69歳] 25人(5.8%) [70～79歳] 7人(1.6%) [80～89歳] 4人(0.9%) [無回答] 10人(2.3%)
①日本語学習の目的・必要性	宮崎県 「宮崎に住む外国人アンケート調査」	○実施時期 平成22年9月13日から平成22年9月27日 ○対象 ①宮崎県内に在住する外国人400人(市町村の協力を得て、外国人登録原票より無作為に抽出)、②県内在住のJET青年78人、③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人100人 ○調査方法 ①アンケート調査票を郵送により送付・回収した。②アンケート調査票をメールにより送付・回収した。③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人に、アンケート調査票を配布し郵送等により回収した。156人から回収。回収率は27.0%。	○性別(N=156) [男] 56人(36.4%) [女] 98人(63.6%) ○年齢(N=156) [20～29歳] 44.5% [30～39歳] 28.4% [40～49歳] 15.5% [50～59歳] 5.2% [60～69歳] 5.2% [70歳～] 1.3%

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
		<p>【質問文】 日本語を学びたいかどうかについて</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語を学びたいと思う…86.7% ・日本語を学びたいと思わない…13.3%
		<p>【質問文】 今後、日本語を学習したいと思いますか。</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したい…32.7% ・機会があれば学習したい…46.4% ・学習したくない…1.8% ・分からない…16.0% ・無回答…1.2%
		<p>【質問文】 日本語を学習している理由は何ですか。</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事で必要だから…87.7% ・より条件のいい仕事を見つけるため…67.9% ・日本人との付き合いを広げるため…59.3% ・日本で生活していくために必要だから…100.0% ・日本で永住していくために必要だから…75.3% ・無回答…1.2%
<p>○国籍(N=429)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 155人(36.1%) [韓国・朝鮮] 111人(25.9%) [フィリピン] 31人(7.2%) [アメリカ] 18人(4.2%) [タイ] 11人(2.6%) [イギリス] 11人(2.6%) [インドネシア] 8人(1.9%) [ブラジル] 6人(1.4%) [台湾] 6人(1.4%) [その他] 61人(14.2%) [無回答] 11人(2.6%) 	<p>○在留資格(N=429)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 177人(41.3%) [留学] 68人(15.9%) [日本人の配偶者等] 63人(14.7%) [特別永住者] 42人(9.8%) [家族滞在] 15人(3.5%) [人文知識・国際業務] 10人(2.3%) [教授] 9人(2.1%) [定住者] 8人(1.9%) [研修・技能実習] 8人(1.9%) [その他] 24人(5.6%) [無回答] 5人(1.2%) 	<p>【質問文】日本語の必要性について(複数回答)</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活のために必要…285人(66.4%) ・現在の仕事・現況をしていくために必要…217人(50.6%) ・日本人と付き合うために必要…183人(42.7%) ・日本に永住するために必要…136人(31.7%) ・希望する仕事を見つけるために必要…111人(25.9%) ・必要ない…4人(0.9%) ・母国語で暮らせるのであれば必要ない…3人(0.7%) ・いずれ帰国するのであれば必要ない…2人(0.5%) ・その他…15人(3.5%) ・無回答…9人(2.1%)
<p>○国籍(N=156)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 32.9% [アメリカ] 16.8% [フィリピン] 12.3% [韓国または朝鮮] 11.6% [イギリス] 5.2% [オーストラリア] 4.5% [カナダ] 3.2% [インドネシア] 1.3% [ブラジル] 0.6% 	<p>○在留資格(N=156)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 25.2% [教育] 19.4% [日本人または永住者の配偶者等] 14.2% [技能実習] 11.6% [人文知識・国際業務] 6.5% [留学・就職] 5.2% [特別永住者] 4.5% [研修] 3.9% [特定活動] 3.2% [定住者] 1.9% [家族滞在] 1.9% 	<p>【質問文】 家を探すときに困ったことは何か</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に困ったことはない…93(73.2%) ・保証人を見つけるのが難しかった…10(7.9%) ・借りるときの説明や契約書が日本語なのでよく分からなかった…9(7.1%) ・外国人であることを理由に断られた…8(6.3%) ・住む家をどこで探したらよいか分からなかった…1(0.8%) ・その他…20(15.7%)

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
①日本語学習の目的・必要性	宮崎県 「宮崎に住む外国人アンケート調査」	○実施時期 平成22年9月13日から平成22年9月27日 ○対象 ①宮崎県内に在住する外国人400人(市町村の協力を得て、外国人登録原票より無作為に抽出)、②県内在住のJET青年78人、③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人100人 ○調査方法 ①アンケート調査票を郵送により送付・回収した。②アンケート調査票をメールにより送付・回収した。③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人に、アンケート調査票を配布し郵送等により回収した。156人から回収。回収率は27.0%。	○性別(N=156) [男] 56人(36.4%) [女] 98人(63.6%) ○年齢(N=156) [20～29歳] 44.5% [30～39歳] 28.4% [40～49歳] 15.5% [50～59歳] 5.2% [60～69歳] 5.2% [70歳～] 1.3%
①日本語学習の目的・必要性	宮崎県 「宮崎に住む外国人アンケート調査」	○実施時期 平成22年9月13日から平成22年9月27日 ○対象 ①宮崎県内に在住する外国人400人(市町村の協力を得て、外国人登録原票より無作為に抽出)、②県内在住のJET青年78人、③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人100人 ○調査方法 ①アンケート調査票を郵送により送付・回収した。②アンケート調査票をメールにより送付・回収した。③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人に、アンケート調査票を配布し郵送等により回収した。156人から回収。回収率は27.0%。	○性別(N=156) [男] 56人(36.4%) [女] 98人(63.6%) ○年齢(N=156) [20～29歳] 44.5% [30～39歳] 28.4% [40～49歳] 15.5% [50～59歳] 5.2% [60～69歳] 5.2% [70歳～] 1.3%
①日本語学習の目的・必要性	宮崎県 「宮崎に住む外国人アンケート調査」	○実施時期 平成22年9月13日から平成22年9月27日 ○対象 ①宮崎県内に在住する外国人400人(市町村の協力を得て、外国人登録原票より無作為に抽出)、②県内在住のJET青年78人、③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人100人 ○調査方法 ①アンケート調査票を郵送により送付・回収した。②アンケート調査票をメールにより送付・回収した。③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人に、アンケート調査票を配布し郵送等により回収した。156人から回収。回収率は27.0%。	○性別(N=156) [男] 56人(36.4%) [女] 98人(63.6%) ○年齢(N=156) [20～29歳] 44.5% [30～39歳] 28.4% [40～49歳] 15.5% [50～59歳] 5.2% [60～69歳] 5.2% [70歳～] 1.3%
①日本語学習の目的・必要性	山梨県・(財)山梨県国際交流協会 「外国人住民実態調査」	○実施時期 平成23年7月15日～9月15日 ○対象 山梨県内に住む外国人住民(18歳以上、大学生以上の留学生を含む) ○調査方法 ワーキンググループメンバー、外国人登録者の多い派遣会社、日本語教室や日本語講座、外国人学校、集住エリアのある市や町の外国人登録窓口、料理店や食材店、外国人が参加するミーティングやイベント等の関係者など、様々な方々に協力を依頼して実施した。中国語(繁体・簡体)、ポルトガル語、韓国語、タガログ語、スペイン語、タイ語、英語の調査票を作成するとともに、必要に応じて「ふりがな付日本語の調査票」も利用できるように用意。配布総数2,100部、有効回答数650部、回収率30.9%。	○性別(N=650) [男] 269(41%) [女] 372(58%) [無回答] 9(1%) ○年齢(N=650) [19歳以下] 14(2%) [20～29歳] 183(27%) [30～39歳] 161(25%) [40～49歳] 157(24%) [50～59歳] 101(16%) [60～69歳] 25(4%) [70歳以上] 4(1%) [無回答] 5(1%)

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
<p>○国籍(N=156)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 32.9% [アメリカ] 16.8% [フィリピン] 12.3% [韓国または朝鮮] 11.6% [イギリス] 5.2% [オーストラリア] 4.5% [カナダ] 3.2% [インドネシア] 1.3% [ブラジル] 0.6% 	<p>○在留資格(N=156)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 25.2% [教育] 19.4% [日本人または永住者の配偶者等] 14.2% [技能実習] 11.6% [人文知識・国際業務] 6.5% [留学・就職] 5.2% [特別永住者] 4.5% [研修] 3.9% [特定活動] 3.2% [定住者] 1.9% [家族滞在] 1.9% 	<p>【質問文】 災害に対する不安を感じるかについて</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感じている…58(39.5%) ・感じていない…89(60.5%) <p>【質問文】 災害時に不安について</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害・緊急時の日本語の情報が理解できない…28(50.9%) ・自分の避難場所がどこか分からない…26(47.3%) ・災害・緊急時に備えて何をしたらよいか分からない…23(41.8%) ・災害・緊急時に母国語で対応してくれるのか…17(30.9%)
<p>○国籍(N=156)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 32.9% [アメリカ] 16.8% [フィリピン] 12.3% [韓国または朝鮮] 11.6% [イギリス] 5.2% [オーストラリア] 4.5% [カナダ] 3.2% [インドネシア] 1.3% [ブラジル] 0.6% 	<p>○在留資格(N=156)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 25.2% [教育] 19.4% [日本人または永住者の配偶者等] 14.2% [技能実習] 11.6% [人文知識・国際業務] 6.5% [留学・就職] 5.2% [特別永住者] 4.5% [研修] 3.9% [特定活動] 3.2% [定住者] 1.9% [家族滞在] 1.9% 	<p>【質問文】 宮崎で多文化共生を推進していくことについてどう思うか</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要なことだと思う…384(45.0%) ・どちらかと言えば必要なことだと思う…271(31.7%) ・余り必要なことだとは思わない…94(11.0%) ・必要ないと思う…16(1.9%) ・分からない…89(10.4%) <p>【質問文】 地域の多文化共生推進のために外国人に期待すること</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の習慣・文化を理解してほしい…589(68.8%) ・地域社会のルールを守ってほしい…443(51.8%) ・自国の文化や言葉を教えてほしい…248(29.0%) ・地域の活動に積極的に参加してほしい…195(22.8%) ・日本語を勉強してほしい…75(8.8%) ・特になし…24(2.8%) ・その他…6(0.7%)
<p>○国籍(N=156)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 32.9% [アメリカ] 16.8% [フィリピン] 12.3% [韓国または朝鮮] 11.6% [イギリス] 5.2% [オーストラリア] 4.5% [カナダ] 3.2% [インドネシア] 1.3% [ブラジル] 0.6% 	<p>○在留資格(N=156)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 25.2% [教育] 19.4% [日本人または永住者の配偶者等] 14.2% [技能実習] 11.6% [人文知識・国際業務] 6.5% [留学・就職] 5.2% [特別永住者] 4.5% [研修] 3.9% [特定活動] 3.2% [定住者] 1.9% [家族滞在] 1.9% 	<p>【質問文】 日本人との間での日常生活でのトラブルはあるか</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある…29(19.0%) ・ない…124(81.0%) <p>【質問文】 トラブルの一番の原因は何かについて</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いに言葉がうまく通じないため…21(26.3%) ・日本人が外国人の生活習慣や文化に理解がないため…14(17.5%) ・お互いにコミュニケーションを取らないため…12(15.0%) ・相手の生活習慣や文化を理解しようとする気持ちがないため…9(11.3%) ・外国人が日本人の生活習慣や文化に理解がないため…8(10.0%) ・その他…16(20.0%)
<p>○国籍(N=650)</p> <ul style="list-style-type: none"> [ブラジル] 190(29%) [中国] 187(29%) [韓国・朝鮮] 77(12%) [フィリピン] 49(8%) [ペルー] 45(7%) [タイ] 22(3%) [その他] 80(12%) 	<p>○在留資格(N=)650</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 244(34%) [特別永住者] 16(2%) [日本人の配偶者等] 79(11%) [永住者の配偶者等] 14(2%) [定住者] 88(12%) [資格なし] 6(1%) [技能] 40(6%) [留学] 110(15%) [研修] 3(1%) [家族滞在] 52(7%) [特定活動] 13(2%) [その他] 30(4%) [無回答] 26(4%) 	<p>【質問文】 今後日本語教室で勉強したいと思いますか</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> はい413(63%), いいえ149(23%), 無回答88(14%)

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
①日本語学習の目的・必要性	山梨県・(財)山梨県国際交流協会 「外国人住民実態調査」	○実施時期 平成23年7月15日～9月15日 ○対象 山梨県内に住む外国人住民(18歳以上、大学生以上の留学生を含む) ○調査方法 ワーキンググループメンバー、外国人登録者の多い派遣会社、日本語教室や日本語講座、外国人学校、集住エリアのある市や町の外国人登録窓口、料理店や食料店、外国人が参加するミーティングやイベント等の関係者など、様々な方々に協力を依頼して実施した。中国語(繁体・簡体)、ポルトガル語、韓国語、タガログ語、スペイン語、タイ語、英語の調査票を作成するとともに、必要に応じて「ふりがな付日本語の調査票」も利用できるように用意。配布総数2,100部、有効回答数650部、回収率30.9%。	○性別(N=650) [男] 269(41%) [女] 372(58%) [無回答] 9(1%) ○年齢(N=650) [19歳以下] 14(2%) [20～29歳] 183(27%) [30～39歳] 161(25%) [40～49歳] 157(24%) [50～59歳] 101(16%) [60～69歳] 25(4%) [70歳以上] 4(1%) [無回答] 5(1%)
①日本語学習の目的・必要性	山梨県・(財)山梨県国際交流協会 「外国人住民実態調査」	○実施時期 平成23年7月15日～9月15日 ○対象 山梨県内に住む外国人住民(18歳以上、大学生以上の留学生を含む) ○調査方法 ワーキンググループメンバー、外国人登録者の多い派遣会社、日本語教室や日本語講座、外国人学校、集住エリアのある市や町の外国人登録窓口、料理店や食料店、外国人が参加するミーティングやイベント等の関係者など、様々な方々に協力を依頼して実施した。中国語(繁体・簡体)、ポルトガル語、韓国語、タガログ語、スペイン語、タイ語、英語の調査票を作成するとともに、必要に応じて「ふりがな付日本語の調査票」も利用できるように用意。配布総数2,100部、有効回答数650部、回収率30.9%。	○性別(N=650) [男] 269(41%) [女] 372(58%) [無回答] 9(1%) ○年齢(N=650) [19歳以下] 14(2%) [20～29歳] 183(27%) [30～39歳] 161(25%) [40～49歳] 157(24%) [50～59歳] 101(16%) [60～69歳] 25(4%) [70歳以上] 4(1%) [無回答] 5(1%)
①日本語学習の目的・必要性	横浜市都市経営局 「外国人市民意識調査報告書」	○実施時期 平成21年7月 ○対象 市内在住外国人市民のうち満20歳以上の人。外国人登録原票からの無作為抽出による。 ○調査方法 郵送によるアンケート形式。5,000人を対象に実施。1,812回収。	○性別(N=1,812) [男] 39.9% [女] 56.8% ○年齢(N=1,812) [～39歳] 53.5% [40～59歳] 34.4% [60歳～] 11.1%
①日本語学習の目的・必要性	横浜市都市経営局 「外国人市民意識調査報告書」	○実施時期 平成21年7月 ○対象 市内在住外国人市民のうち満20歳以上の人。外国人登録原票からの無作為抽出による。 ○調査方法 郵送によるアンケート形式。5,000人を対象に実施。1,812回収。	○性別(N=1,812) [男] 39.9% [女] 56.8% ○年齢(N=1,812) [～39歳] 53.5% [40～59歳] 34.4% [60歳～] 11.1%
①日本語学習の目的・必要性	横浜市都市経営局 「外国人市民意識調査報告書」	○実施時期 平成21年7月 ○対象 市内在住外国人市民のうち満20歳以上の人。外国人登録原票からの無作為抽出による。 ○調査方法 郵送によるアンケート形式。5,000人を対象に実施。1,812回収。	○性別(N=1,812) [男] 39.9% [女] 56.8% ○年齢(N=1,812) [～39歳] 53.5% [40～59歳] 34.4% [60歳～] 11.1%

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
○国籍(N=650) [ブラジル] 190(29%) [中国] 187(29%) [韓国・朝鮮] 77(12%) [フィリピン] 49(8%) [ペルー] 45(7%) [タイ] 22(3%) [その他] 80(12%)	○在留資格(N=)650 [永住者] 244(34%) [特別永住者] 16(2%) [日本人の配偶者等] 79(11%) [永住者の配偶者等] 14(2%) [定住者] 88(12%) [資格なし] 6(1%) [技能] 40(6%) [留学] 110(15%) [研修] 3(1%) [家族滞在] 52(7%) [特定活動] 13(2%) [その他] 30(4%) [無回答] 26(4%)	【質問文】 希望する教室(内容) 【選択肢と回答結果】 ・中級レベル以上の教室…89人 ・専門資格を取得できる教室…77人 ・日本語検定等目的に応じた教室…103人 ・無料で参加できる教室…210人 ・その他…16 (※その他のうちわけ 初級(基本)3, 日常会話5, 初級者の次のクラス1, 日本での生活のプラスになる内容1, 先生になるための勉強1, 日本文化1, プライベート授業2, 通信教育1, 勉強中1)
○国籍(N=650) [ブラジル] 190(29%) [中国] 187(29%) [韓国・朝鮮] 77(12%) [フィリピン] 49(8%) [ペルー] 45(7%) [タイ] 22(3%) [その他] 80(12%)	○在留資格(N=)650 [永住者] 244(34%) [特別永住者] 16(2%) [日本人の配偶者等] 79(11%) [永住者の配偶者等] 14(2%) [定住者] 88(12%) [資格なし] 6(1%) [技能] 40(6%) [留学] 110(15%) [研修] 3(1%) [家族滞在] 52(7%) [特定活動] 13(2%) [その他] 30(4%) [無回答] 26(4%)	【質問文】 希望する教室(曜日, 時間) 【選択肢と回答結果】 ・休日や祝日に利用できる教室…173人 ・平日仕事の後で通える教室…95人 ・平日の昼間利用できる教室…56人 ・その他…23人 (※その他のうちわけ 午前中1, 夜(8時以降)2, 平日の朝か午後1, 朝と夜1, 家に来て教えてくれるボランティア希望1, フリータイム1, 勉強したいが時間がない4, 金曜日1, 日曜日・週末3, 週1回2, 誰かが子どもの面倒を見てくれるとき(休日1), 時間があるとき自分で勉強する1, 年を取っているのでも今後勉強したいと思わない1, 記載なし3)
○国籍(N=1,812) [中国] 40.6% [韓国・朝鮮] 21.1%	○在留資格(N=1,812) [永住者] 38.0% [日本人の配偶者等] 15.1% [特別永住者] 10.1%	【質問文】 日本での生活で困っていることや心配なこと 【選択肢と回答結果】 ・日本語の不自由さ…30.6% ・税金…27.8% ・仕事さがし…27.6% ・年金…24.3% ・選挙権がないこと…19.1% ・病院・診療所に外国語のできる人がいない…17.5% ・外国語の通じる病院・診療所の探し方…14.6% ・出産・育児, 子供の教育…13.1% ・在留資格の手続…12.1% ・病院・診療所を受診する時の通訳が見つからない…12.1%
○国籍(N=1,812) [中国] 40.6% [韓国・朝鮮] 21.1%	○在留資格(N=1,812) [永住者] 38.0% [日本人の配偶者等] 15.1% [特別永住者] 10.1%	【質問文】 今後, 日本語を学びたいと思うか 【選択肢と回答結果】 ・積極的に学びたい…32.0% ・機会があれば学びたい…23.6% ・無料なら学びたい…13.7% ・余り学びたくない…3.3% ・学びたくない…1.2% ・学ぶ必要がない…16.1% ・無回答…10.2%
○国籍(N=1,812) [中国] 40.6% [韓国・朝鮮] 21.1%	○在留資格(N=1,812) [永住者] 38.0% [日本人の配偶者等] 15.1% [特別永住者] 10.1%	【質問文】 区役所などの窓口で困ったことはあるか(複数回答) 【選択肢と回答結果】 ・書類が日本語で, 書き方が分からなかった…20.9% ・言葉が通じなかった…17.6% ・手続が分からなかった…17.5% ・外国語の案内表示がなくて迷った…9.8% ・職員に適切に説明をしてもらえず, 十分に理解できなかった…9.5% ・その他…2.8% ・特に困ったことは無い…53.5% ・無回答…3.5%

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
①日本語学習の目的・必要性	横浜市都市経営局 「外国人市民意識調査報告書」		
①日本語学習の目的・必要性	山形県商工観光部観光交流局経済交流課国際室、財団法人山形県国際交流協会(※平成22年度緊急雇用創出事業を活用し、山形県が財団法人山形県国際交流協会に業務を委託。) 「平成22年度山形県在住外国人アンケート調査報告書の概要」	○実施時期 平成22年6月8日～平成22年7月10日 ○対象 県内に在住する18歳以上の外国出身者の方々と、国際交流団体の登録者や日本語教室の受講者、市町村が無作為に抽出した外国人登録者(平成21年12月末現在で6,848人) ○調査方法 郵送による配布、回収。調査票は日本語(ふりがな付き)、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語版で作成。配布数は1,884件、有効配布数は1,836件、回答数は392件、回収率は21.4%。	○性別(N=386) [男] 114(29.5%) [女] 272(70.5%) ○年齢(N=386) [18～19歳以下] 11(2.8%) [20～29歳] 147(38.1%) [30～39歳] 104(27.0%) [40～49歳] 80(20.8%) [50～59歳] 35(9.0%) [60歳以上] 8(2.1%) [無記入] 1(0.1%)
①日本語学習の目的・必要性	山形県商工観光部観光交流局経済交流課国際室、財団法人山形県国際交流協会(※平成22年度緊急雇用創出事業を活用し、山形県が財団法人山形県国際交流協会に業務を委託。) 「平成22年度山形県在住外国人アンケート調査報告書の概要」	○実施時期 平成22年6月8日～平成22年7月10日 ○対象 県内に在住する18歳以上の外国出身者の方々と、国際交流団体の登録者や日本語教室の受講者、市町村が無作為に抽出した外国人登録者(平成21年12月末現在で6,848人) ○調査方法 郵送による配布、回収。調査票は日本語(ふりがな付き)、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語版で作成。配布数は1,884件、有効配布数は1,836件、回答数は392件、回収率は21.4%。	○性別(N=386) [男] 114(29.5%) [女] 272(70.5%) ○年齢(N=386) [18～19歳以下] 11(2.8%) [20～29歳] 147(38.1%) [30～39歳] 104(27.0%) [40～49歳] 80(20.8%) [50～59歳] 35(9.0%) [60歳以上] 8(2.1%) [無記入] 1(0.1%)

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
		<p>【質問文】 多文化共生のまちづくりについて日本人に望むこと</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国の文化、生活習慣を理解するようにつとめる <ul style="list-style-type: none"> おおいに望む…36.8% どちらかといえば望む…44.4% どちらかといえば望まない…5.1% 望まない…3.1% 無回答…10.6% ・日頃から外国人の住民と言葉をかわす <ul style="list-style-type: none"> おおいに望む…30.7% どちらかといえば望む…45.2% どちらかといえば望まない…8.0% 望まない…4.0% 無回答…12.1% ・日本語、日本の習慣を外国人住民に紹介する <ul style="list-style-type: none"> おおいに望む…31.2% どちらかといえば望む…44.0% どちらかといえば望まない…8.8% 望まない…3.8% 無回答…12.3% ・外国語を習得するようにつとめる <ul style="list-style-type: none"> おおいに望む…22.6% どちらかといえば望む…43.2% どちらかといえば望まない…12.4% 望まない…8.6% 無回答…13.3% ・地域の外国人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する <ul style="list-style-type: none"> おおいに望む…22.4% どちらかといえば望む…46.2% どちらかといえば望まない…12.4% 望まない…6.2% 無回答…12.8%
<p>○国籍(N=386)</p> <ul style="list-style-type: none"> [日本] 18(4.4%) [中国] 124(32.1%) [韓国・朝鮮] 83(21.5%) [フィリピン] 31(8.0%) [ベトナム] 10(2.6%) [ブラジル] 6(1.3%) [タイ] 6(1.3%) [アメリカ] 28(7.2%) [マレーシア] 4(1.0%) [インドネシア] 4(1.0%) [その他] 74(19.2%) 	<p>○在留資格(N=354)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 117(33.1%) [日本人の配偶者等] 66(18.6%) [特定活動] 8(2.3%) [研修] 10(2.8%) [定住者] 9(2.5%) [留学] 66(18.6%) [家族滞在] 13(3.7%) [教育] 52(14.7%) [その他] 13(3.7%) 	<p>【質問文】 普段の生活で困っていることや心配なこと</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語…165件(43.4%) ・子育て…69件(18.2%) ・仕事や学校・研修先のこと…79件(20.8%) ・病気やけがのときの対処方法…70件(18.4%) ・地域での人づきあい…45件(11.8%) ・災害や事故などの緊急事態…49件(12.9%) ・住まいのこと…33件(8.7%) ・税金・年金…90件(23.7%) ・出入国や在留資格の手続…45件(11.8%) ・特にない…75件(19.7%) ・その他…23件(6.1%)
<p>○国籍(N=386)</p> <ul style="list-style-type: none"> [日本] 18(4.4%) [中国] 124(32.1%) [韓国・朝鮮] 83(21.5%) [フィリピン] 31(8.0%) [ベトナム] 10(2.6%) [ブラジル] 6(1.3%) [タイ] 6(1.3%) [アメリカ] 28(7.2%) [マレーシア] 4(1.0%) [インドネシア] 4(1.0%) [その他] 74(19.2%) 	<p>○在留資格(N=354)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 117(33.1%) [日本人の配偶者等] 66(18.6%) [特定活動] 8(2.3%) [研修] 10(2.8%) [定住者] 9(2.5%) [留学] 66(18.6%) [家族滞在] 13(3.7%) [教育] 52(14.7%) [その他] 13(3.7%) 	<p>【質問文】 日本語を学習する際の希望について</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学・就職に役立つ学習…177件(53.0%) ・日本語に関する知識の学習…151件(45.2%) ・自宅・職場に近い学習場所…124件(37.1%) ・初級の日本語学習…83件(24.9%) ・有料でも質の高い学習…83件(24.9%) ・いつでも指導が受けられること…80件(24.0%) ・集中的な日本語学習…72件(21.6%) ・特にない…47件(14.1%) ・その他…12件(3.6%)

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
①日本語学習の目的・必要性	山形県商工観光部観光交流局経済交流課国際室、財団法人山形県国際交流協会(※平成22年度緊急雇用創出事業を活用し、山形県が財団法人山形県国際交流協会に業務を委託。) 「平成22年度山形県在住外国人アンケート調査報告書の概要」	○実施時期 平成22年6月8日～平成22年7月10日 ○対象 県内に在住する18歳以上の外国出身者の方々と、国際交流団体の登録者や日本語教室の受講者、市町村が無作為に抽出した外国人登録者(平成21年12月末現在で6,848人) ○調査方法 郵送による配布、回収。調査票は日本語(ふりがな付き)、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語版で作成。配布数は1,884件、有効配布数は1,836件、回答数は392件、回収率は21.4%。	○性別(N=386) [男] 114(29.5%) [女] 272(70.5%) ○年齢(N=386) [18～19歳以下] 11(2.8%) [20～29歳] 147(38.1%) [30～39歳] 104(27.0%) [40～49歳] 80(20.8%) [50～59歳] 35(9.0%) [60歳以上] 8(2.1%) [無記入] 1(0.1%)
①日本語学習の目的・必要性	山形県商工観光部観光交流局経済交流課国際室、財団法人山形県国際交流協会(※平成22年度緊急雇用創出事業を活用し、山形県が財団法人山形県国際交流協会に業務を委託。) 「平成22年度山形県在住外国人アンケート調査報告書の概要」	○実施時期 平成22年6月8日～平成22年7月10日 ○対象 県内に在住する18歳以上の外国出身者の方々と、国際交流団体の登録者や日本語教室の受講者、市町村が無作為に抽出した外国人登録者(平成21年12月末現在で6,848人) ○調査方法 郵送による配布、回収。調査票は日本語(ふりがな付き)、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語版で作成。配布数は1,884件、有効配布数は1,836件、回答数は392件、回収率は21.4%。	○性別(N=386) [男] 114(29.5%) [女] 272(70.5%) ○年齢(N=386) [18～19歳以下] 11(2.8%) [20～29歳] 147(38.1%) [30～39歳] 104(27.0%) [40～49歳] 80(20.8%) [50～59歳] 35(9.0%) [60歳以上] 8(2.1%) [無記入] 1(0.1%)
①日本語学習の目的・必要性	浜松市 「浜松市における南米系外国人及び日本人の実態調査結果(2010年度)」		

②日本語学習の状況

②日本語学習の状況	愛知県 「愛知県の多文化共生に関する県民意識調査報告書」 平成22年3月	○実施時期 平成21年12月22日～平成22年2月15日(外国人県民) 平成21年12月5日～25日(日本人県民) ○対象 外国人県民について、外国人登録者の多い、名古屋市、豊橋市、豊田市、岡崎市、小牧市、春日井市、安城市、豊川市、西尾市の9市に居住する中国、ブラジル、韓国・朝鮮、フィリピン、ペルー国籍の満20歳以上の外国人登録者4,000人。 日本人県民について、愛知県内に居住する満20歳以上の男女4,000人。 ○調査方法 外国人について、外国人登録原票に基づき、無作為抽出。実対象者数3,203人、回収数717人、回収率22.4%。 日本人について住民基本台帳に基づき、無作為抽出。実対象者数3,979人、回収数1,673人、回収率42.0%。	<外国人調査> ○性別(N=717) [男] 42.1% [女] 56.1% [性別不明] 1.8% ○年齢(N=717) [20～29歳] 20.8% [30～39歳] 29.0% [40～49歳] 23.6% [50～59歳] 14.5% [60～69歳] 6.6% [70歳～] 3.8% [無回答] 1.8% <日本人調査> ○性別(N=1,673) [男] 43.9% [女] 54.4% [性別不明] 1.7% ○年齢(N=1,673) [20～29歳] 8.8% [30～39歳] 21.8% [40～49歳] 25.6% [50～59歳] 21.9% [60～69歳] 17.3% [70歳～] 2.9% [無回答] 0.0%
-----------	--	---	--

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
○国籍(N=386) [日本] 18(4.4%) [中国] 124(32.1%) [韓国・朝鮮] 83(21.5%) [フィリピン] 31(8.0%) [ベトナム] 10(2.6%) [ブラジル] 6(1.3%) [タイ] 6(1.3%) [アメリカ] 28(7.2%) [マレーシア] 4(1.0%) [インドネシア] 4(1.0%) [その他] 74(19.2%)	○在留資格(N=354) [永住者] 117(33.1%) [日本人の配偶者等] 66(18.6%) [特定活動] 8(2.3%) [研修] 10(2.8%) [定住者] 9(2.5%) [留学] 66(18.6%) [家族滞在] 13(3.7%) [教育] 52(14.7%) [その他] 13(3.7%)	【質問文】 生活に必要な情報の入手方法 【選択肢と回答結果】 ・テレビ・ラジオ…181件(49.6%) ・インターネット…209件(57.3%) ・日本語の新聞・雑誌…31件(8.5%) ・外国語の新聞・雑誌…18件(4.99%) ・日本語による県や市町村の情報誌…36件(9.9%) ・外国語による県や市町村の情報誌…9件(2.5%) ・日本語教室・相談窓口…29件(7.9%) ・家族・親戚…55件(15.1%) ・日本人の友人・近所の人…70件(19.2%) ・日本にいる母国の友人…64件(17.5%) ・その他…5件(1.4%)
○国籍(N=386) [日本] 18(4.4%) [中国] 124(32.1%) [韓国・朝鮮] 83(21.5%) [フィリピン] 31(8.0%) [ベトナム] 10(2.6%) [ブラジル] 6(1.3%) [タイ] 6(1.3%) [アメリカ] 28(7.2%) [マレーシア] 4(1.0%) [インドネシア] 4(1.0%) [その他] 74(19.2%)	○在留資格(N=354) [永住者] 117(33.1%) [日本人の配偶者等] 66(18.6%) [特定活動] 8(2.3%) [研修] 10(2.8%) [定住者] 9(2.5%) [留学] 66(18.6%) [家族滞在] 13(3.7%) [教育] 52(14.7%) [その他] 13(3.7%)	【質問文】 今後、自分の能力や語学力を活かして協力してみたいと考えている活動 【選択肢と回答結果】 ・通訳や翻訳の支援…118件(34.8%) ・日本語や母国語の学習支援…169件(49.9%) ・自国の文化や生活習慣、特産品などの紹介…171件(50.4%) ・スポーツや芸術・文化活動指導…62件(18.3%) ・子育て支援…66件(19.5%) ・老人・障害者の介護支援…55件(16.2%) ・その他…18件(5.3%)
		【質問文】 仕事で日本語をどの程度使用しますか 【選択肢と回答結果】 ・常に日本語で仕事している…45.6% ・時々使用する(自分で日本語を話す)…39.5% ・時々使用する(通訳を通じて)…9.3% ・ほとんど使用しない…5.7% ・無回答…0.0%
○国籍(N=717) [ブラジル] 27.3% [中国] 29.4% [韓国・朝鮮] 25.0% [フィリピン] 12.8% [ペルー] 3.5% [その他・不明] 2.0%	○在留資格(N=717) [特別永住者] 18.3% [永住者] 40.7% [日本人又は永住者の配偶者等] 12.0% [定住者] 7.0% [家族滞在] 2.4% [留学] 5.4% [就学又は研修] 1.0% [人文知識・国際業務] 3.5% [技術] 3% [技能又は興行] 0.8% [特定活動(技能実習生など)] 2.8% [その他] 0.8% [無回答] 2.2%	【質問文】 あなたは、現在、日本語を勉強していますか 【選択肢と回答結果】 ・学んでいる…39.7% ・学んでいない…57.3% --- ・無回答…2.9%

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
②日本語学習の状況	愛知県 「愛知県の多文化共生に関する県民意識調査報告書」 平成22年3月	○実施時期 平成21年12月22日～平成22年2月15日(外国人県民) 平成21年12月5日～25日(日本人県民) ○対象 外国人県民について、外国人登録者の多い、名古屋市、豊橋市、豊田市、岡崎市、小牧市、春日井市、安城市、豊川市、西尾市の9市に居住する中国、ブラジル、韓国・朝鮮、フィリピン、ペルー国籍の満20歳以上の外国人登録者4,000人。 日本人県民について、愛知県内に居住する満20歳以上の男女4,000人。 ○調査方法 外国人について、外国人登録原票に基づき、無作為抽出。実対象者数3,203人、回収数717人、回収率22.4%。 日本人について住民基本台帳に基づき、無作為抽出。実対象者数3,979人、回収数1,673人、回収率42.0%。	<外国人調査> ○性別(N=717) [男] 42.1% [女] 56.1% [性別不明] 1.8% ○年齢(N=717) [20～29歳] 20.8% [30～39歳] 29.0% [40～49歳] 23.6% [50～59歳] 14.5% [60～69歳] 6.6% [70歳～] 3.8% [無回答] 1.8% <日本人調査> ○性別(N=1,673) [男] 43.9% [女] 54.4% [性別不明] 1.7% ○年齢(N=1,673) [20～29歳] 8.8% [30～39歳] 21.8% [40～49歳] 25.6% [50～59歳] 21.9% [60～69歳] 17.3% [70歳～] 2.9% [無回答] 0.0%
②日本語学習の状況	京都市 「京都市外国籍市民意識・実態調査報告書」	○実施時期 2007年6月29日～7月20日 ○対象 京都市に在住する20歳以上の外国人登録者 ○調査方法 調査票の配布・回収とも郵送にて実施。外国人登録者名簿を用いた層化抽出(各行政区及び支所別に比例割当、抽出率約10分の1)。発送数3,700票、不達数231票、回収総数982票、有効回収数979票(うち、オールドカマー用594票、ニューカマー用385票)。有効回収率約26.5%。	○性別(N=960) [男] 45.0% [女] 55.0% ○年齢(N=967) [20～29歳] 21.3% [30～39歳] 19.0% [40～49歳] 15.5% [50～59歳] 17.0% [60～69歳] 16.3% [70歳～] 10.8%
②日本語学習の状況	京都市 「京都市外国籍市民意識・実態調査報告書」	○実施時期 2007年6月29日～7月20日 ○対象 京都市に在住する20歳以上の外国人登録者 ○調査方法 調査票の配布・回収とも郵送にて実施。外国人登録者名簿を用いた層化抽出(各行政区及び支所別に比例割当、抽出率約10分の1)。発送数3,700票、不達数231票、回収総数982票、有効回収数979票(うち、オールドカマー用594票、ニューカマー用385票)。有効回収率約26.5%。	○性別(N=960) [男] 45.0% [女] 55.0% ○年齢(N=967) [20～29歳] 21.3% [30～39歳] 19.0% [40～49歳] 15.5% [50～59歳] 17.0% [60～69歳] 16.3% [70歳～] 10.8%
②日本語学習の状況	財団法人青森県国際交流協会 青森県観光国際局交際経済課 「青森県在住外国人アンケート調査報告書2012 -平成23年度地域連携多文化共生推進事業-」	○実施時期 平成24年2月～平成24年3月 ○対象 平成23年7月、青森県が県内市町村全てを対象とし平成22年12月末現在の外国人登録状況を調査した「外国人登録状況調査」の結果を基に(総登録件数:4,482件)、県内10市及び平成23年12月末時点の外国人登録者数上位5町村に在住する18歳以上の外国人を調査対象者とした。 ○調査方法 各市町村登録者数により2,000件を按分の上、市町村毎の調査件数を設定して配布。調査票配布数1,992件、有効配布数1,832件、回答数617件、回収率31.0%。	○性別(N=617) [男] 174(28.2%) [女] 437(70.8%) [無回答]6(1.0%) ○年齢(N=617) [18～19歳] 13(2.1%) [20～29歳] 189(30.6%) [30～39歳] 150(24.3%) [40～49歳] 115(18.6%) [50～59歳] 77(12.5%) [60歳～] 66(10.7%) [無回答] 7(1.1%)

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
○国籍(N=717) [ブラジル] 27.3% [中国] 29.4% [韓国・朝鮮] 25.0% [フィリピン] 12.8% [ペルー] 3.5% [その他・不明] 2.0%	○在留資格(N=717) [特別永住者] 18.3% [永住者] 40.7% [日本人又は永住者の配偶者等] 12.0% [定住者] 7.0% [家族滞在] 2.4% [留学] 5.4% [就学又は研修] 1.0% [人文知識・国際業務] 3.5% [技術] 3% [技能又は興行] 0.8% [特定活動(技能実習生など)] 2.8% [その他]0.8% [無回答]2.2%	【質問文】 学んでいない理由はなんですか。 【選択肢と回答結果】 ・日本語を使う機会が少ない…3.2% ・時間がない…20.7% ・お金がない…6.8% ・学べる場所(日本語教室など)が少ない…3.9% ・日本語ができるから、必要ない…50.6% ・その他…6.6% --- ・無回答…8.3%
○国籍(N=968) [韓国・朝鮮] 65.4% [中国] 17.5% [アメリカ] 2.4% [フィリピン] 2.3% [イギリス] 1.5% [その他] 10.9%	○在留資格 [特別永住者] 47.7% [永住者] 20.3% [留学] 9.7% [日本人の配偶者等] 6.7% [教授] 3.5% [家族滞在] 2.3% [人文知識・国際業務] 2.2% [技能] 1.3% [就学] 1.1%	【質問文】 留学生を除いた日本語学習状況について 【選択肢と回答結果】 ・日本語に不自由はないので学習の必要はない…56(20.7%) ・現在学習している…123(45.4%) ・現在は学習していないが、将来学習したい…76(28.0%) ・現在は学習していないし、今後も学習しない…16(5.9%)
○国籍(N=968) [韓国・朝鮮] 65.4% [中国] 17.5% [アメリカ] 2.4% [フィリピン] 2.3% [イギリス] 1.5% [その他] 10.9%	○在留資格 [特別永住者] 47.7% [永住者] 20.3% [留学] 9.7% [日本人の配偶者等] 6.7% [教授] 3.5% [家族滞在] 2.3% [人文知識・国際業務] 2.2% [技能] 1.3% [就学] 1.1%	【質問文】 日本語を学習しない理由について 【選択肢と回答結果】 ・忙しくて時間がない…42.5% ・教室・学校の情報が無い…7.5% ・お金がない…13.8% ・家族・友人が通訳してくれる…17.5% ・母国語だけで生活できる…1.3% ・その他…17.5%
○国籍(N=617) [中国] 260(42.1%) [韓国・朝鮮] 143(23.2%) [フィリピン] 81(13.1%) [アメリカ] 50(8.1%) [インドネシア] 14(2.3%) [タイ] 15(2.4%) [ベトナム] 6(1.0%) [その他] 44(7.1%) [無回答] 4(0.6%)	○在留資格(N=617) [永住者] 206(33.4%) [特別永住者] 71(11.5%) [留学] 43(7.0%) [技能実習] 128(20.7%) [日本人の配偶者等] 96(15.6%) [その他] 58(9.4%) [無回答] 15(2.4%)	【質問文】 日本語を勉強していない理由について(複数回答) 【選択肢と回答結果】 ・必要がない…57件(23.8%) ・日本語が難しい…53件(22.1%) ・勉強をする時間がない…41(17.1%) ・お金がかかる…30(12.5%) ・勉強する方法が分からない…26(10.8%) ・その他…33(13.8%)

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
②日本語学習の状況	財団法人岩手県国際交流協会 「岩手県に在住する外国人の課題調査結果」	○実施時期 平成19年11月～平成19年12月 ○対象 岩手県内に在住する外国人（帰化した方を含む。但し、旅行者など短期滞在者を除く） ○調査方法 市町村や市町村国際交流協会、児童民生委員、地域自治会、保健師、大学、企業、日本語教室などの協力を得て、在住外国人に調査票を配布。無記名で郵送により回収。2,210部配布、有効回収数523名（23.7%）	○性別（N=523） [男] 13.4% [女] 86.6% ○年齢（N=523） [19歳以下] 2.1% [20～29歳] 53.5% [30～39歳] 32.1% [40～49歳] 10.1% [50歳～] 2.1%
②日本語学習の状況	財団法人岩手県国際交流協会 「岩手県に在住する外国人の課題調査結果」	○実施時期 平成19年11月～平成19年12月 ○対象 岩手県内に在住する外国人（帰化した方を含む。但し、旅行者など短期滞在者を除く） ○調査方法 市町村や市町村国際交流協会、児童民生委員、地域自治会、保健師、大学、企業、日本語教室などの協力を得て、在住外国人に調査票を配布。無記名で郵送により回収。2,210部配布、有効回収数523名（23.7%）	○性別（N=523） [男] 13.4% [女] 86.6% ○年齢（N=523） [19歳以下] 2.1% [20～29歳] 53.5% [30～39歳] 32.1% [40～49歳] 10.1% [50歳～] 2.1%
②日本語学習の状況	札幌市 「札幌市外国籍市民意識調査」	○実施時期 2008年8月14日～9月11日 ○対象 札幌市内に外国人登録を行っている18歳以上の市民 ○調査方法 無作為抽出で対象を決定し、調査票を郵送（往復）。国籍により英語、中国語、ハングル、ロシア語版のいずれかと日本語版を送付。有効回答数337通。	○性別（N=337） [男] 145人 [女] 189人 （不明・無回答3人） ○年齢（N=337） [29歳以下] 128人 [30～39歳] 102人 [40～49歳] 61人 [50～59歳] 25人 [60～74歳] 14人 [75歳～] 7人
②日本語学習の状況	島根県 「平成23年度島根県在住外国人実態調査報告書」	○実施時期 2008年8月14日～9月11日 ○対象 札幌市内に外国人登録を行っている18歳以上の市民 ○調査方法 無作為抽出で対象を決定し、調査票を郵送（往復）。国籍により英語、中国語、ハングル、ロシア語版のいずれかと日本語版を送付。有効回答数337通。	○性別（N=337） [男] 145人 [女] 189人 （不明・無回答3人） ○年齢（N=337） [29歳以下] 128人 [30～39歳] 102人 [40～49歳] 61人 [50～59歳] 25人 [60～74歳] 14人 [75歳～] 7人
②日本語学習の状況	島根県 「平成23年度島根県在住外国人実態調査報告書」	○実施時期 2008年8月14日～9月11日 ○対象 札幌市内に外国人登録を行っている18歳以上の市民 ○調査方法 無作為抽出で対象を決定し、調査票を郵送（往復）。国籍により英語、中国語、ハングル、ロシア語版のいずれかと日本語版を送付。有効回答数337通。	○性別（N=337） [男] 145人 [女] 189人 （不明・無回答3人） ○年齢（N=337） [29歳以下] 128人 [30～39歳] 102人 [40～49歳] 61人 [50～59歳] 25人 [60～74歳] 14人 [75歳～] 7人

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
○国籍 (N=523) [中国] 71.7% [韓国又は朝鮮] 6.7% [フィリピン] 8.2% [ブラジル] 2.1% [米国] 4.2% [その他] 7.1%	○在留資格 (N=523) [研修] 42.8% [日本人の配偶者等] 17.6% [留学] 11.3% [永住者] 8.6% [特定活動] 7.3% [定住者] 2.9% [帰化] 1.7% [その他] 6.9%	【質問文】 日本語を学習しているか。 【選択肢と回答結果】 ・今している…69.6% ・以前はしていた…19.9% ・したことがない…6.7% ・無回答…3.8%
○国籍 (N=523) [中国] 71.7% [韓国又は朝鮮] 6.7% [フィリピン] 8.2% [ブラジル] 2.1% [米国] 4.2% [その他] 7.1%	○在留資格 (N=523) [研修] 42.8% [日本人の配偶者等] 17.6% [留学] 11.3% [永住者] 8.6% [特定活動] 7.3% [定住者] 2.9% [帰化] 1.7% [その他] 6.9%	【質問文】 日本語を学習しない理由について(当てはまるもの全てに○) 【選択肢と回答結果】 ・忙しくて学習する時間がない…39.0% ・近くに教える人や日本語教室がない…31.9% ・家事や育児に手がかり時間がない…28.4% ・仕事などに疲れて学習する気持ちにならない…25.5% ・自習できる教材がない…21.3% ・教えてくれる人や日本語教室と都合が合わない…13.5% ・日本語教室に通う交通手段がない…12.8% ・家族や職場に日本語学習への理解がないから…2.1% ・その他…12.8%
○国籍 (N=330) [中国] 131人 [韓国・朝鮮] 65人 [米国] 16人 [フィリピン] 11人 [ロシア] 11人 [カナダ] 10人 [英国] 9人 [オーストラリア] 8人 [タイ] 6人 [インドネシア] 5人	○在留資格 (N=336) [留学] 73人 [永住者] 65人 [日本人の配偶者等] 56人 [特別永住者] 24人 [人文知識・国際業務] 20人 [家族滞在] 19人 [就学] 17人 [教授] 9人 [宗教] 8人 [教育] 8人 [技術] 8人 [永住者の配偶者等] 8人	【質問文】 日本語を学んでいない理由 【選択肢と回答結果】 ・時間が無いから…42人 ・自分のレベルに合った教室・学校がない…13人 ・お金がないから…10人 ・日本語をどこで学べるか分からないから…5人 ・その他…10人
○国籍 (N=330) [中国] 131人 [韓国・朝鮮] 65人 [米国] 16人 [フィリピン] 11人 [ロシア] 11人 [カナダ] 10人 [英国] 9人 [オーストラリア] 8人 [タイ] 6人 [インドネシア] 5人	○在留資格 (N=336) [留学] 73人 [永住者] 65人 [日本人の配偶者等] 56人 [特別永住者] 24人 [人文知識・国際業務] 20人 [家族滞在] 19人 [就学] 17人 [教授] 9人 [宗教] 8人 [教育] 8人 [技術] 8人 [永住者の配偶者等] 8人	【質問文】 今、日本語を学んでいないのはなぜですか。 【選択肢と回答結果】 ・学ぶ必要がない(生活で使う日本語はできる)…38.9% ・学ぶ時間がない…31.9% ・学びたいが日本語教室がどこでいつあるか分からない…11.9% ・学びたいが日本語教室に通うことができない…5.9% ・その他…7.0% ・無回答…4.3%
○国籍 (N=330) [中国] 131人 [韓国・朝鮮] 65人 [米国] 16人 [フィリピン] 11人 [ロシア] 11人 [カナダ] 10人 [英国] 9人 [オーストラリア] 8人 [タイ] 6人 [インドネシア] 5人	○在留資格 (N=336) [留学] 73人 [永住者] 65人 [日本人の配偶者等] 56人 [特別永住者] 24人 [人文知識・国際業務] 20人 [家族滞在] 19人 [就学] 17人 [教授] 9人 [宗教] 8人 [教育] 8人 [技術] 8人 [永住者の配偶者等] 8人	【質問文】 日本語を学ぶ時間がない、または日本語教室に通うことができないのはなぜですか。 【選択肢と回答結果】 ・仕事や家事で時間がない…77.5% ・日本語教室の時間が合わない…11.3% ・日本語教室が近くにない…5.6% ・その他…4.2% ・無回答…1.4%

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
②日本語学習の状況	島根県 「平成23年度島根県在住外国人実態調査報告書」	○実施時期 2008年8月14日～9月11日 ○対象 札幌市内に外国人登録を行っている18歳以上の市民 ○調査方法 無作為抽出で対象を決定し、調査票を郵送(往復)。国籍により英語、中国語、ハングル、ロシア語版のいずれかと日本語版を送付。有効回答数337通。	○性別(N=337) [男] 145人 [女] 189人 (不明・無回答3人) ○年齢(N=337) [29歳以下] 128人 [30～39歳] 102人 [40～49歳] 61人 [50～59歳] 25人 [60～74歳] 14人 [75歳～] 7人
②日本語学習の状況	名古屋市 「平成22年 名古屋市外国人市民アンケート調査 結果報告書」	○実施時期 平成22年9月6日～26日 ○対象 平成22年8月10日現在において、名古屋市に外国人登録をしている20歳以上の外国人で出入国管理及び難民認定法に定める別表第一及び第二の在留資格を有するもの等から無作為抽出した6,000人。 ○調査方法 訪問留置法(訪問してアンケート用紙を手渡し、後日用紙を原則として訪問回収する(一部郵送回収を含む)。対象者6,000人中1,708人から回収(回収率28.5%)。(*対象者から帰国者、転居者、世帯の重複等を除いた場合、実対象者数4,389人中1,708人から回収。回収率は38.9%)	○性別(N=1,708) [男] 38.7% [女] 60.7% [性別不明] 0.6% ○年齢(N=1,708) [20～29歳] 26.4% [30～39歳] 32.7% [40～49歳] 24.6% [50～59歳] 11.4% [60～69歳] 3.2% [70～79歳] 0.8% [80歳～] 0.3%
②日本語学習の状況	名古屋市 「平成22年 名古屋市外国人市民アンケート調査 結果報告書」	○実施時期 平成22年9月6日～26日 ○対象 平成22年8月10日現在において、名古屋市に外国人登録をしている20歳以上の外国人で出入国管理及び難民認定法に定める別表第一及び第二の在留資格を有するもの等から無作為抽出した6,000人。 ○調査方法 訪問留置法(訪問してアンケート用紙を手渡し、後日用紙を原則として訪問回収する(一部郵送回収を含む)。対象者6,000人中1,708人から回収(回収率28.5%)。(*対象者から帰国者、転居者、世帯の重複等を除いた場合、実対象者数4,389人中1,708人から回収。回収率は38.9%)	○性別(N=1,708) [男] 38.7% [女] 60.7% [性別不明] 0.6% ○年齢(N=1,708) [20～29歳] 26.4% [30～39歳] 32.7% [40～49歳] 24.6% [50～59歳] 11.4% [60～69歳] 3.2% [70～79歳] 0.8% [80歳～] 0.3%
②日本語学習の状況	浜松市 「浜松市における南米系外国人及び日本人の実態調査結果(2010年度)」		

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
○国籍(N=330) [中国] 131人 [韓国・朝鮮] 65人 [米国] 16人 [フィリピン] 11人 [ロシア] 11人 [カナダ] 10人 [英国] 9人 [オーストラリア] 8人 [タイ] 6人 [インドネシア] 5人	○在留資格(N=336) [留学] 73人 [永住者] 65人 [日本人の配偶者等] 56人 [特別永住者] 24人 [人文知識・国際業務] 20人 [家族滞在] 19人 [就学] 17人 [教授] 9人 [宗教] 8人 [教育] 8人 [技術] 8人 [永住者の配偶者等] 8人	【質問文】 現在日本語を学んでいるかどうか。 【選択肢と回答結果】 ・学んでいる…52.6% ・学んでいない…45.9%
○国籍(N=1,708) [中国] 43.7% [韓国・朝鮮] 9.0% [フィリピン] 14.8% [ブラジル] 9.7% [米国] 2.7% [ベトナム] 3.2% [ペルー] 1.3% [ネパール] 0.8% [イギリス] 1.7% [オーストラリア] 0.8% [カナダ] 0.8% [インドネシア] 0.9% [タイ] 1.3% [マレーシア] 0.5% [バングラデシュ] 0.6% [その他] 8.2%	○在留資格(N=1,708) [永住者] 32.7% [日本人の配偶者等] 15.2% [留学] 13.1% [家族滞在] 6.3% [定住者] 5.9% [人文知識・国際業務] 5.4% [永住者の配偶者等] 3.9% [技術] 2.8% [技能] 2.5% [研修] 2.2%	【質問文】 現在、日本語を勉強していますか。 【選択肢と回答結果】 ・はい…41.9% ・いいえ…57.1% ・無回答…1.1% (国籍別学習者率) ・中国…49.8% ・韓国・朝鮮…30.7% ・フィリピン…28.1% ・ブラジル…26.7% ・ペルー、コロンビア等…27.8% ・ベトナム…72.2% ・アメリカ、イギリス等…49.1% ・その他のアジア…38.8% ・その他(国籍不明含む)…46.2% (年齢別学習者率) ・20歳代…56.1% ・30歳代…42.8% ・40歳代…32.5% ・50歳以上…30.2% (通算滞在年数) ・2年未満…77.9% ・2～5年未満…57.4% ・5～10年未満…48.8% ・10～20年未満…29.8% ・20年以上…19.0% (日本語能力) ・不自由ない…21.1% ・ほとんど困らない…46.5% ・日常会話ができる…46.0% ・単語なら分かるなど…43.4% ・ほとんどできない…32.9%
○国籍(N=1,708) [中国] 43.7% [韓国・朝鮮] 9.0% [フィリピン] 14.8% [ブラジル] 9.7% [米国] 2.7% [ベトナム] 3.2% [ペルー] 1.3% [ネパール] 0.8% [イギリス] 1.7% [オーストラリア] 0.8% [カナダ] 0.8% [インドネシア] 0.9% [タイ] 1.3% [マレーシア] 0.5% [バングラデシュ] 0.6% [その他] 8.2%	○在留資格(N=1,708) [永住者] 32.7% [日本人の配偶者等] 15.2% [留学] 13.1% [家族滞在] 6.3% [定住者] 5.9% [人文知識・国際業務] 5.4% [永住者の配偶者等] 3.9% [技術] 2.8% [技能] 2.5% [研修] 2.2%	【質問文】 日本語を勉強していない理由 【選択肢と回答結果】 ・日本語ができるから…41.2% ・勉強をする時間がないから…31.3% ・勉強する教室の時間と、自分の時間が合わないから…17.2% ・勉強するお金がないから…16.4% ・勉強する場所を知らないから…12.8% ・日本語を話す必要がないから…1.7% ・その他…9.2% ・無回答…4.6%
		【質問文】 現在、日本語を勉強していますか。 【選択肢と回答結果】 ・はい…21.3% ・いいえ…77.9% ・無回答…0.8%

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
②日本語学習の状況	広島市市民局人権啓発部人権啓発課 「外国人市民生活・意識実態調査」	○実施時期 2012年9月8日～10月1日 ○対象 広島市の住民基本台帳に記録されている満18歳以上の外国籍の者(1万3955人:2012年8月17日現在) ○調査方法 層化抽出法により対象者を選び、郵送法により調査票を配布。抽出数は4000人で有効回収数は1611人(41.8%)。日本語、英語、韓国・朝鮮語、中国語、フィリピン語、ポルトガル語、スペイン語の7種類を作成し、対象者全員に日本語と国籍(出身地)の主たる言語の2部を送付。	○性別(N=471) [男] 39.1% [女] 60.9% ○年齢(N=471) [18～29歳] 18.0% [30～39歳] 22.2% [40～49歳] 20.8% [50～59歳] 12.6% [60～69歳] 14.1% [70歳～] 12.4%
②日本語学習の状況	宮城県 「平成24年度宮城県外国人県民アンケート調査結果報告書」	○実施時期 平成24年11月22日～平成24年12月20日 ○対象 宮城県内に住民登録のある20歳以上の外国人県民から無作為抽出した方を対象 ○調査方法 郵便による送付・回収。調査票は日本語(ふりがな付き)、中国語(簡体字)、韓国語、英語を送付。調査票配布数は1,870件、回収数は431件、有効回収数は429件(有効回収率22.9%)。	○性別(N=429) [男] 154人(35.9%) [女] 266人(62.0%) [無回答] 9人(2.1%) ○年齢(N=429) [20～29歳] 86人(20.0%) [30～39歳] 122人(28.4%) [40～49歳] 119人(27.7%) [50～59歳] 56人(13.1%) [60～69歳] 25人(5.8%) [70～79歳] 7人(1.6%) [80～89歳] 4人(0.9%) [無回答] 10人(2.3%)
②日本語学習の状況	宮城県 「平成24年度宮城県外国人県民アンケート調査結果報告書」	○実施時期 平成24年11月22日～平成24年12月20日 ○対象 宮城県内に住民登録のある20歳以上の外国人県民から無作為抽出した方を対象 ○調査方法 郵便による送付・回収。調査票は日本語(ふりがな付き)、中国語(簡体字)、韓国語、英語を送付。調査票配布数は1,870件、回収数は431件、有効回収数は429件(有効回収率22.9%)。	○性別(N=429) [男] 154人(35.9%) [女] 266人(62.0%) [無回答] 9人(2.1%) ○年齢(N=429) [20～29歳] 86人(20.0%) [30～39歳] 122人(28.4%) [40～49歳] 119人(27.7%) [50～59歳] 56人(13.1%) [60～69歳] 25人(5.8%) [70～79歳] 7人(1.6%) [80～89歳] 4人(0.9%) [無回答] 10人(2.3%)

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
<p>○国籍(N=471)</p> <ul style="list-style-type: none"> [韓国] 640(39.7%) [中国] 495(30.7%) [フィリピン] 158(9.8%) [朝鮮] 79(4.9%) [ブラジル] 53(3.3%) [米国] 47(2.9%) [ベトナム] 17(1.1%) [タイ] 27(1.7%) [英国] 19(1.2%) [ペルー] 10(0.6%) [その他] 63(3.9%) 	<p>○在留資格(N=471)</p> <ul style="list-style-type: none"> [特別永住者] 34.9% [永住者] 32.9% [日本人の配偶者等] 9.4% [留学] 5.4% [専門・管理的職業] 5.1% [家族滞在] 3.1% [研修・技能実習] 3.6% [定住者] 2.1% [上記以外] 3.5% 	<p>【質問文】 日本語教室に通っているか</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行く必要がない…59.8% ・行っている…12.6% ・行きたいが行けない…17.8% ・不明・無回答…9.8% <p>【質問文】 在留資格別に見た日本語教室への参加</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <p>(特別永住者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行く必要がない…97.2% ・行っている…1.2% ・行きたいが行けない…1.6% <p>(永住者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行く必要がない…56.2% ・行っている…16% ・行きたいが行けない…27.9% <p>(日本人の配偶者等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行く必要がない…50.0% ・行っている…19.3% ・行きたいが行けない…30.7% <p>(永住者の配偶者等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行く必要がない…51.9% ・行っている…22.2% ・行きたいが行けない…25.9% <p>(定住者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行く必要がない…37.5% ・行っている…20.8% ・行きたいが行けない…41.7% <p>(留学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行く必要がない…38.6% ・行っている…47.0% ・行きたいが行けない…14.5% <p>(研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行く必要がない…61.5% ・行っている…7.7% ・行きたいが行けない…30.8%
<p>○国籍(N=429)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 155人(36.1%) [韓国・朝鮮] 111人(25.9%) [フィリピン] 31人(7.2%) [アメリカ] 18人(4.2%) [タイ] 11人(2.6%) [イギリス] 11人(2.6%) [インドネシア] 8人(1.9%) [ブラジル] 6人(1.4%) [台湾] 6人(1.4%) [その他] 61人(14.2%) [無回答] 11人(2.6%) 	<p>○在留資格(N=429)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 177人(41.3%) [留学] 68人(15.9%) [日本人の配偶者等] 63人(14.7%) [特別永住者] 42人(9.8%) [家族滞在] 15人(3.5%) [人文知識・国際業務] 10人(2.3%) [教授] 9人(2.1%) [定住者] 8人(1.9%) [研修・技能実習] 8人(1.9%) [その他] 24人(5.6%) [無回答] 5人(1.2%) 	<p>【質問文】 日本語を学習しているか。</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在学習している…166人(38.7%) ・現在は学習していないが、できれば学習したい…122人(28.4%) ・日本語に不自由はないので学習の必要はない…121人(28.2%) ・現在は学習していないし、学習するつもりはない…12人(2.8%) ・無回答…8人(1.9%)
<p>○国籍(N=429)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 155人(36.1%) [韓国・朝鮮] 111人(25.9%) [フィリピン] 31人(7.2%) [アメリカ] 18人(4.2%) [タイ] 11人(2.6%) [イギリス] 11人(2.6%) [インドネシア] 8人(1.9%) [ブラジル] 6人(1.4%) [台湾] 6人(1.4%) [その他] 61人(14.2%) [無回答] 11人(2.6%) 	<p>○在留資格(N=429)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 177人(41.3%) [留学] 68人(15.9%) [日本人の配偶者等] 63人(14.7%) [特別永住者] 42人(9.8%) [家族滞在] 15人(3.5%) [人文知識・国際業務] 10人(2.3%) [教授] 9人(2.1%) [定住者] 8人(1.9%) [研修・技能実習] 8人(1.9%) [その他] 24人(5.6%) [無回答] 5人(1.2%) 	<p>【質問文】 現在、学習していないが、できれば学習したいという人に対して、学習しない理由について</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忙しくて勉強する時間がない…74人(55.2%) ・近くに学べる場がない…41人(30.6%) ・日本語教室や日本語学校の情報がない…33人(24.6%) ・勉強するお金がない…26人(19.4%) ・家族や友人などが通訳してくれるから…19人(14.2%) ・母国の言葉だけで生活できるから…2人(1.5%) ・その他…11人(8.2%) ・無回答…9人(6.7%)

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
②日本語学習の状況	宮崎県 「宮崎に住む外国人アンケート調査」	○実施時期 平成22年9月13日から平成22年9月27日 ○対象 ①宮崎県内に在住する外国人400人(市町村の協力を得て、外国人登録原票より無作為に抽出)、②県内在住のJET青年78人、③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人100人 ○調査方法 ①アンケート調査票を郵送により送付・回収した。②アンケート調査票をメールにより送付・回収した。③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人に、アンケート調査票を配布し郵送等により回収した。156人から回収。回収率は27.0%。	○性別(N=156) [男] 56人(36.4%) [女] 98人(63.6%) ○年齢(N=156) [20～29歳] 44.5% [30～39歳] 28.4% [40～49歳] 15.5% [50～59歳] 5.2% [60～69歳] 5.2% [70歳～] 1.3%
②日本語学習の状況	宮崎県 「宮崎に住む外国人アンケート調査」	○実施時期 平成22年9月13日から平成22年9月27日 ○対象 ①宮崎県内に在住する外国人400人(市町村の協力を得て、外国人登録原票より無作為に抽出)、②県内在住のJET青年78人、③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人100人 ○調査方法 ①アンケート調査票を郵送により送付・回収した。②アンケート調査票をメールにより送付・回収した。③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人に、アンケート調査票を配布し郵送等により回収した。156人から回収。回収率は27.0%。	○性別(N=156) [男] 56人(36.4%) [女] 98人(63.6%) ○年齢(N=156) [20～29歳] 44.5% [30～39歳] 28.4% [40～49歳] 15.5% [50～59歳] 5.2% [60～69歳] 5.2% [70歳～] 1.3%
②日本語学習の状況	山梨県・(財)山梨県国際交流協会 「外国人住民実態調査」	○実施時期 平成23年7月15日～9月15日 ○対象 山梨県内に住む外国人住民(18歳以上、大学生以上の留学生を含む) ○調査方法 ワーキンググループメンバー、外国人登録者の多い派遣会社、日本語教室や日本語講座、外国人学校、集住エリアのある市や町の外国人登録窓口、料理店や食材店、外国人が参加するミーティングやイベント等の関係者など、様々な方々に協力を依頼して実施した。中国語(繁体・簡体)、ポルトガル語、韓国語、タガログ語、スペイン語、タイ語、英語の調査票を作成するとともに、必要に応じて「ふりがな付日本語の調査票」も利用できるように用意。配布総数2,100部、有効回答数650部、回収率30.9%。	○性別(N=650) [男] 269(41%) [女] 372(58%) [無回答] 9(1%) ○年齢(N=650) [19歳以下] 14(2%) [20～29歳] 183(27%) [30～39歳] 161(25%) [40～49歳] 157(24%) [50～59歳] 101(16%) [60～69歳] 25(4%) [70歳以上] 4(1%) [無回答] 5(1%)
②日本語学習の状況	山梨県・(財)山梨県国際交流協会 「外国人住民実態調査」	○実施時期 平成23年7月15日～9月15日 ○対象 山梨県内に住む外国人住民(18歳以上、大学生以上の留学生を含む) ○調査方法 ワーキンググループメンバー、外国人登録者の多い派遣会社、日本語教室や日本語講座、外国人学校、集住エリアのある市や町の外国人登録窓口、料理店や食材店、外国人が参加するミーティングやイベント等の関係者など、様々な方々に協力を依頼して実施した。中国語(繁体・簡体)、ポルトガル語、韓国語、タガログ語、スペイン語、タイ語、英語の調査票を作成するとともに、必要に応じて「ふりがな付日本語の調査票」も利用できるように用意。配布総数2,100部、有効回答数650部、回収率30.9%。	○性別(N=650) [男] 269(41%) [女] 372(58%) [無回答] 9(1%) ○年齢(N=650) [19歳以下] 14(2%) [20～29歳] 183(27%) [30～39歳] 161(25%) [40～49歳] 157(24%) [50～59歳] 101(16%) [60～69歳] 25(4%) [70歳以上] 4(1%) [無回答] 5(1%)

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
○国籍(N=156) [中国] 32.9% [アメリカ] 16.8% [フィリピン] 12.3% [韓国または朝鮮] 11.6% [イギリス] 5.2% [オーストラリア] 4.5% [カナダ] 3.2% [インドネシア] 1.3% [ブラジル] 0.6%	○在留資格(N=156) [永住者] 25.2% [教育] 19.4% [日本人または永住者の配偶者等] 14.2% [技能実習] 11.6% [人文知識・国際業務] 6.5% [留学・就職] 5.2% [特別永住者] 4.5% [研修] 3.9% [特定活動] 3.2% [定住者] 1.9% [家族滞在] 1.9%	【質問文】 日本語を学習しているか 【選択肢と回答結果】 ・今している…85(56.7%) ・以前していた…54(36.0%) ・したことがない…11(7.3%)
○国籍(N=156) [中国] 32.9% [アメリカ] 16.8% [フィリピン] 12.3% [韓国または朝鮮] 11.6% [イギリス] 5.2% [オーストラリア] 4.5% [カナダ] 3.2% [インドネシア] 1.3% [ブラジル] 0.6%	○在留資格(N=156) [永住者] 25.2% [教育] 19.4% [日本人または永住者の配偶者等] 14.2% [技能実習] 11.6% [人文知識・国際業務] 6.5% [留学・就職] 5.2% [特別永住者] 4.5% [研修] 3.9% [特定活動] 3.2% [定住者] 1.9% [家族滞在] 1.9%	【質問文】 日本語を学習しない理由について 【選択肢と回答結果】 ・仕事が忙しくて学習する時間がない…20(40.8%) ・日本語を学習する必要がある…12(24.5%) ・近くに教える人や日本語教室がない…9(18.4%) ・家事や育児に手がかかり時間がない…8(16.3%) ・近くに教える人や日本語教室はあるが時間の都合が合わない…4(8.2%) ・日本語教室に通う交通手段がない…2(4.1%) ・その他…13(26.5%)
○国籍(N=650) [ブラジル] 190(29%) [中国] 187(29%) [韓国・朝鮮] 77(12%) [フィリピン] 49(8%) [ペルー] 45(7%) [タイ] 22(3%) [その他] 80(12%)	○在留資格(N=)650 [永住者] 244(34%) [特別永住者] 16(2%) [日本人の配偶者等] 79(11%) [永住者の配偶者等] 14(2%) [定住者] 88(12%) [資格なし] 6(1%) [技能] 40(6%) [留学] 110(15%) [研修] 3(1%) [家族滞在] 52(7%) [特定活動] 13(2%) [その他] 30(4%) [無回答] 26(4%)	【質問文】 日本語を勉強しているか 【選択肢と回答結果】 ・している…362(56%) ・していない…254(39%) ・無回答…34(5%)
○国籍(N=650) [ブラジル] 190(29%) [中国] 187(29%) [韓国・朝鮮] 77(12%) [フィリピン] 49(8%) [ペルー] 45(7%) [タイ] 22(3%) [その他] 80(12%)	○在留資格(N=)650 [永住者] 244(34%) [特別永住者] 16(2%) [日本人の配偶者等] 79(11%) [永住者の配偶者等] 14(2%) [定住者] 88(12%) [資格なし] 6(1%) [技能] 40(6%) [留学] 110(15%) [研修] 3(1%) [家族滞在] 52(7%) [特定活動] 13(2%) [その他] 30(4%) [無回答] 26(4%)	【質問文】 日本語を勉強していない人の理由について 【選択肢と回答結果】 ・学校や教室の情報がない…47(12%) ・学校や教室が遠くて通えない…22(6%) ・教室の時間や曜日が合わない…83(21%) ・目的やレベルに合ったクラスがない…16(4%) ・勉強している時間がない…134(33%) ・経済的に余裕がない…45(11%) ・日本語ができなくても困らない…18(5%) ・その他…31(8%) ※その他の内訳について、必要ない(十分話せる)10, 自分で勉強できる(テレビ等)3, 今は勉強していない(以前勉強済)6, 運転ができないから1, 持病があるため難しい1, 仕事しているため時間が無かった2, 幼稚園に通っている子どもがいるので難しい1, 日本語を学ぶことに疲れた1, 学ぶ意欲が無い1, 記載なし5。

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
②日本語学習の状況	横浜市都市経営局 「外国人市民意識調査報告書」	○実施時期 平成21年7月 ○対象 市内在住外国人市民のうち満20歳以上の人。外国人登録原票からの無作為抽出による。 ○調査方法 郵送によるアンケート形式。5,000人を対象に実施。1,812回収。	○性別(N=1,812) [男] 39.9% [女] 56.8% ○年齢(N=1,812) [～39歳] 53.5% [40～59歳] 34.4% [60歳～] 11.1%
②日本語学習の状況	札幌市 「札幌市外国籍市民意識調査」	○実施時期 2008年8月14日～9月11日 ○対象 札幌市内に外国人登録を行っている18歳以上の市民 ○調査方法 無作為抽出で対象を決定し、調査票を郵送(往復)。国籍により英語、中国語、ハングル、ロシア語版のいずれかと日本語版を送付。有効回答数337通。	○性別(N=337) [男] 145人 [女] 189人 (不明・無回答3人) ○年齢(N=337) [29歳以下] 128人 [30～39歳] 102人 [40～49歳] 61人 [50～59歳] 25人 [60～74歳] 14人 [75歳～] 7人
③日本語学習の経験			
③日本語学習の経験	石川県(石川県国際交流協会日本語日本文化研修センター) 「平成23年度石川県地域日本語教室実態調査報告書」	○実施時期 平成23年5月～平成23年12月 ○対象 石川県内で地域に在住している外国人(日本国籍でも日本語を母語としていない人を含む)一般を対象として日本語指導ないし日本語学習支援を、教室における「授業」の形で行っている非営利ベースの日本語教室を、規模の大小を問わず、対象とした。 ○調査方法 調査対象期間へのアンケート調査。質問紙を送付し、回収。24教室から回答。学習者総数539人。	○性別(N=539) [男] 252(47%) [女] 287(53%) ○年齢(N=539) 年齢層 20～70代
③日本語学習の経験	沖縄県 おきなわ多文化共生推進指針		
③日本語学習の経験	浜松市 「浜松市における南米系外国人及び日本人の実態調査結果(2010年度)」		

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
○国籍(N=1,812) [中国] 40.6% [韓国・朝鮮] 21.1%	○在留資格(N=1,812) [永住者] 38.0% [日本人の配偶者等] 15.1% [特別永住者] 10.1%	【質問文】 日本語を学んでいるか 【選択肢と回答結果】 ・学んでいる…42.3% ・学んでいない…54.0% ・無回答…3.8%
○国籍(N=330) [中国] 131人 [韓国・朝鮮] 65人 [米国] 16人 [フィリピン] 11人 [ロシア] 11人 [カナダ] 10人 [英国] 9人 [オーストラリア] 8人 [タイ] 6人 [インドネシア] 5人	○在留資格(N=336) [留学] 73人 [永住者] 65人 [日本人の配偶者等] 56人 [特別永住者] 24人 [人文知識・国際業務] 20人 [家族滞在] 19人 [就学] 17人 [教授] 9人 [宗教] 8人 [教育] 8人 [技術] 8人 [永住者の配偶者等] 8人	【質問文】 日本語を学んでいるか。 【選択肢と回答結果】 ・日本語を学んでいる…208人(62%) ・学んでいないができれば学びたいと思う…74人(22%) ・学んでいないし、これからも学ぶつもりはない…43人(13%) ・不明・無回答…12人(4%)
○国籍(N=539) [中国] ・24教室中、17教室で一番多く、5教室で二番目に多い。 [韓国・朝鮮] ・24教室中、2教室で一番多く、3教室で二番目に多い。 [ベトナム] ・24教室中、1教室で一番多く、4教室で二番目に多い。 [アメリカ] ・24教室中、1教室で一番多く、2教室で二番目に多い。 [その他]	○属性(N=539) [主婦・日本人配偶者] ・24教室中、8教室で一番多く、6教室で二番目に多い。 [企業研修生・技能実習生] ・24教室中、5教室で一番多く、3教室で二番目に多い。 [学生・研究生] ・24教室中、6教室で一番多い。 [ALT/CIR] ・24教室中、1教室で一番多く、2教室で二番目に多い。 [就労者] ・24教室中、1教室で一番多く、2教室で二番目に多い。	【質問文】 日本語を学んだところについて 【選択肢と回答結果】 ・母国…53.2% ・来日後独学…34.6% ・来日後、日本語教室…28.8% ・来日後大学・高校…18.0% ・来日後会社の研修…6.3%
		【質問文】 日本語をどこで学んだか 【選択肢と回答結果】 ・来日後、独学で…52% ・来日後、日本語教室で…28% ・母国で…24% ・来日後、大学・高校で…17% ・来日後、会社の研修で…6% ・その他…15%
		【質問文】 日本語を勉強したことがありますか。 【選択肢と回答結果】 ・ない…23.4% ・ある(来日前)…19.5% ・ある(外国人学習支援センター)…11.6% ・ある(NPOやボランティアによる日本語教室)…11.8% ・ある(民間の日本語学校)…15.8% ・ある(勤務先)…2.4% ・ある(自分で勉強)…43.2% ・ある(その他)…11.3% ・無回答…1.6%

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
③日本語学習の経験	山形県商工観光部観光交流局経済交流課国際室、財団法人山形県国際交流協会(※平成22年度緊急雇用創出事業を活用し、山形県が財団法人山形県国際交流協会に業務を委託。) 「平成22年度山形県在住外国人アンケート調査報告書の概要」	○実施時期 平成22年6月8日～平成22年7月10日 ○対象 県内に在住する18歳以上の外国出身者の方々と、国際交流団体の登録者や日本語教室の受講者、市町村が無作為に抽出した外国人登録者(平成21年12月末現在で6,848人) ○調査方法 郵送による配布、回収。調査票は日本語(ふりがな付き)、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語版で作成。配布数は1,884件、有効配布数は1,836件、回答数は392件、回収率は21.4%。	○性別(N=386) [男] 114(29.5%) [女] 272(70.5%) ○年齢(N=386) [18～19歳以下] 11(2.8%) [20～29歳] 147(38.1%) [30～39歳] 104(27.0%) [40～49歳] 80(20.8%) [50～59歳] 35(9.0%) [60歳以上] 8(2.1%) [無記入] 1(0.1%)
④日本語学習の方法			
④日本語学習の方法	愛知県 「愛知県の多文化共生に関する県民意識調査報告書」 平成22年3月	○実施時期 平成21年12月22日～平成22年2月15日(外国人県民) 平成21年12月5日～25日(日本人県民) ○対象 外国人県民について、外国人登録者の多い、名古屋市、豊橋市、豊田市、岡崎市、小牧市、春日井市、安城市、豊川市、西尾市の9市に居住する中国、ブラジル、韓国・朝鮮、フィリピン、ペルー国籍の満20歳以上の外国人登録者4,000人。 日本人県民について、愛知県内に居住する満20歳以上の男女4,000人。 ○調査方法 外国人について、外国人登録原票に基づき、無作為抽出。実対象者数3,203人、回収数717人、回収率22.4%。 日本人について住民基本台帳に基づき、無作為抽出。実対象者数3,979人、回収数1,673人、回収率42.0%。	<外国人調査> ○性別(N=717) [男] 42.1% [女] 56.1% [性別不明] 1.8% ○年齢(N=717) [20～29歳] 20.8% [30～39歳] 29.0% [40～49歳] 23.6% [50～59歳] 14.5% [60～69歳] 6.6% [70歳～] 3.8% [無回答] 1.8% <日本人調査> ○性別(N=1,673) [男] 43.9% [女] 54.4% [性別不明] 1.7% ○年齢(N=1,673) [20～29歳] 8.8% [30～39歳] 21.8% [40～49歳] 25.6% [50～59歳] 21.9% [60～69歳] 17.3% [70歳～] 2.9% [無回答] 0.0%
④日本語学習の方法	石川県(石川県国際交流協会日本語日本文化研修センター) 「平成23年度石川県地域日本語教室実態調査報告書」	○実施時期 平成23年5月～平成23年12月 ○対象 石川県内で地域に在住している外国人(日本国籍でも日本語を母語としていない人を含む)一般を対象として日本語指導ないし日本語学習支援を、教室における「授業」の形でやっている非営利ベースの日本語教室を、規模の大小を問わず、対象とした。 ○調査方法 調査対象期間へのアンケート調査。質問紙を送付し、回収。24教室から回答。学習者総数539人。	○性別(N=539) [男] 252(47%) [女] 287(53%) ○年齢(N=539) 年齢層 20～70代
④日本語学習の方法	沖縄県 「おきなわ多文化共生推進指針」		

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
<p>○国籍(N=386)</p> <ul style="list-style-type: none"> [日本] 18(4.4%) [中国] 124(32.1%) [韓国・朝鮮] 83(21.5%) [フィリピン] 31(8.0%) [ベトナム] 10(2.6%) [ブラジル] 6(1.3%) [タイ] 6(1.3%) [アメリカ] 28(7.2%) [マレーシア] 4(1.0%) [インドネシア] 4(1.0%) [その他] 74(19.2%) 	<p>○在留資格(N=354)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 117(33.1%) [日本人の配偶者等] 66(18.6%) [特定活動] 8(2.3%) [研修] 10(2.8%) [定住者] 9(2.5%) [留学] 66(18.6%) [家族滞在] 13(3.7%) [教育] 52(14.7%) [その他] 13(3.7%) 	<p>【質問文】 これまでの日本語学習方法について</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独学…151件(40.4%) ・地域の日本語教室…130件(34.8%) ・家族や友人から…104件(27.8%) ・母国の日本語教室…91件(24.3%) ・職場・学校の日本語研修…57件(15.2%) ・自分が住む地域以外の日本語教室…29件(7.8%) ・日本語を特に学んでいない…32件(8.6%) (理由…時間、機会がない、近くに教室がない)
<p>○国籍(N=717)</p> <ul style="list-style-type: none"> [ブラジル] 27.3% [中国] 29.4% [韓国・朝鮮] 25.0% [フィリピン] 12.8% [ペルー] 3.5% [その他・不明] 2.0% 	<p>○在留資格(N=717)</p> <ul style="list-style-type: none"> [特別永住者] 18.3% [永住者] 40.7% [日本人又は永住者の配偶者等] 12.0% [定住者] 7.0% [家族滞在] 2.4% [留学] 5.4% [就学又は研修] 1.0% [人文知識・国際業務] 3.5% [技術] 3% [技能又は興行] 0.8% [特定活動(技能実習生など)] 2.8% [その他] 0.8% [無回答] 2.2% 	<p>【質問文】 どのような方法で学んでいますか</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独学(テレビ、ラジオの講座、通信教育など)…44.2% ・家族・知人から習っている…17.2% ・地域の日本語教室…12.3% ・大学や、日本語学校…11.2% ・その他…6.0% --- ・無回答…9.1%
<p>○国籍(N=539)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] <ul style="list-style-type: none"> ・24教室中、17教室で一番多く、5教室で二番目に多い。 [韓国・朝鮮] <ul style="list-style-type: none"> ・24教室中、2教室で一番多く、3教室で二番目に多い。 [ベトナム] <ul style="list-style-type: none"> ・24教室中、1教室で一番多く、4教室で二番目に多い。 [アメリカ] <ul style="list-style-type: none"> ・24教室中、1教室で一番多く、2教室で二番目に多い。 [その他] 	<p>○属性(N=539)</p> <ul style="list-style-type: none"> [主婦・日本人配偶者] <ul style="list-style-type: none"> ・24教室中、8教室で一番多く、6教室で二番目に多い。 [企業研修生・技能実習生] <ul style="list-style-type: none"> ・24教室中、5教室で一番多く、3教室で二番目に多い。 [学生・研究生] <ul style="list-style-type: none"> ・24教室中、6教室で一番多い。 [ALT/CIR] <ul style="list-style-type: none"> ・24教室中、1教室で一番多く、2教室で二番目に多い。 [就労者] <ul style="list-style-type: none"> ・24教室中、1教室で一番多く、2教室で二番目に多い。 	<p>【質問文】 今後の日本語の学び方(日本語のできない人への設問)</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語教室に通う…33.8% ・日本人の知人友人等に教えてもらう…21.6% ・独学…9.5% ・学びたいがその方法が分からない…21.6% ・学びたいと思わない…4.1%
		<p>【質問文】 日本語をどのようにして学びたいか(複数回答)</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の知人、友人等に教えてもらう…61% ・日本語教室に通う…42% ・独学で…40% ・学びたいが方法が分からない…23% ・学びたいと思わない、学びたいが学べなかった…8%

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
④日本語学習の方法	財団法人青森県国際交流協会 青森県観光国際局交際経済課 「青森県在住外国人アンケート調査報告書2012 -平成23年度地域連携多文化共生推進事業-」	○実施時期 平成24年2月～平成24年3月 ○対象 平成23年7月、青森県が県内市町村全てを対象とし平成22年12月末現在の外国人登録状況を調査した「外国人登録状況調査」の結果を基に(総登録件数:4,482件)、県内10市及び平成23年12月末時点の外国人登録者数上位5町村に在住する18歳以上の外国人を調査対象者とした。 ○調査方法 各市町村登録者数により2,000件を按分の上、市町村毎の調査件数を設定して配布。調査票配布数1,992件、有効配布数1,832件、回答数617件、回収率31.0%。	○性別(N=617) [男] 174(28.2%) [女] 437(70.8%) [無回答]6(1.0%) ○年齢(N=617) [18～19歳] 13(2.1%) [20～29歳] 189(30.6%) [30～39歳] 150(24.3%) [40～49歳] 115(18.6%) [50～59歳] 77(12.5%) [60歳～] 66(10.7%) [無回答] 7(1.1%)
④日本語学習の方法	札幌市 「札幌市外国籍市民意識調査」	○実施時期 2008年8月14日～9月11日 ○対象 札幌市内に外国人登録を行っている18歳以上の市民 ○調査方法 無作為抽出で対象を決定し、調査票を郵送(往復)。国籍により英語、中国語、ハングル、ロシア語版のいずれかと日本語版を送付。有効回答数337通。	○性別(N=337) [男] 145人 [女] 189人 (不明・無回答3人) ○年齢(N=337) [29歳以下] 128人 [30～39歳] 102人 [40～49歳] 61人 [50～59歳] 25人 [60～74歳] 14人 [75歳～] 7人
④日本語学習の方法	島根県 「平成23年度島根県在住外国人実態調査報告書」	○実施時期 2008年8月14日～9月11日 ○対象 札幌市内に外国人登録を行っている18歳以上の市民 ○調査方法 無作為抽出で対象を決定し、調査票を郵送(往復)。国籍により英語、中国語、ハングル、ロシア語版のいずれかと日本語版を送付。有効回答数337通。	○性別(N=337) [男] 145人 [女] 189人 (不明・無回答3人) ○年齢(N=337) [29歳以下] 128人 [30～39歳] 102人 [40～49歳] 61人 [50～59歳] 25人 [60～74歳] 14人 [75歳～] 7人
④日本語学習の方法	島根県 「平成23年度島根県在住外国人実態調査報告書」	○実施時期 2008年8月14日～9月11日 ○対象 札幌市内に外国人登録を行っている18歳以上の市民 ○調査方法 無作為抽出で対象を決定し、調査票を郵送(往復)。国籍により英語、中国語、ハングル、ロシア語版のいずれかと日本語版を送付。有効回答数337通。	○性別(N=337) [男] 145人 [女] 189人 (不明・無回答3人) ○年齢(N=337) [29歳以下] 128人 [30～39歳] 102人 [40～49歳] 61人 [50～59歳] 25人 [60～74歳] 14人 [75歳～] 7人
④日本語学習の方法	富山県 「在住外国人に対するアンケート調査結果」(※富山県多文化共生推進プラン～外国人にも暮らしやすい、世界に開かれた「元気とやま」の創造～)	○実施時期 平成18年7月	

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
○国籍(N=617) [中国] 260(42.1%) [韓国・朝鮮] 143(23.2%) [フィリピン] 81(13.1%) [アメリカ] 50(8.1%) [インドネシア] 14(2.3%) [タイ] 15(2.4%) [ベトナム] 6(1.0%) [その他] 44(7.1%) [無回答] 4(0.6%)	○在留資格(N=617) [永住者] 206(33.4%) [特別永住者] 71(11.5%) [留学] 43(7.0%) [技能実習] 128(20.7%) [日本人の配偶者等] 96(15.6%) [その他] 58(9.4%) [無回答] 15(2.4%)	【質問文】 日本語を勉強している方法について(複数回答。回答総数703件) 【選択肢と回答結果】 ・本を読んだりテレビ・ラジオ講座などで勉強している…238件(33.9%) ・家族・友達・知人に教えてもらう…151(21.5%) ・職場・学校の日本語研修を受けている…126(17.9%) ・日本語教室で勉強している…92(13.1%) ・地域の人たちに教えてもらう…45(6.4%) ・その他…51(7.3%)
○国籍(N=330) [中国] 131人 [韓国・朝鮮] 65人 [米国] 16人 [フィリピン] 11人 [ロシア] 11人 [カナダ] 10人 [英国] 9人 [オーストラリア] 8人 [タイ] 6人 [インドネシア] 5人	○在留資格(N=336) [留学] 73人 [永住者] 65人 [日本人の配偶者等] 56人 [特別永住者] 24人 [人文知識・国際業務] 20人 [家族滞在] 19人 [就学] 17人 [教授] 9人 [宗教] 8人 [教育] 8人 [技術] 8人 [永住者の配偶者等] 8人	【質問文】 どうやって学んでいるか。 【選択肢と回答結果】 ・自分で勉強している…111人 ・通っている大学や学校で学んでいる…55人 ・語学学校(日本語学校)に通っている…28人 ・日本人の知人・友人に教えてもらっている…22人 ・家族に教えてもらっている…20人 ・ボランティアの日本語教室に通っている…16人 ・その他…18人
○国籍(N=330) [中国] 131人 [韓国・朝鮮] 65人 [米国] 16人 [フィリピン] 11人 [ロシア] 11人 [カナダ] 10人 [英国] 9人 [オーストラリア] 8人 [タイ] 6人 [インドネシア] 5人	○在留資格(N=336) [留学] 73人 [永住者] 65人 [日本人の配偶者等] 56人 [特別永住者] 24人 [人文知識・国際業務] 20人 [家族滞在] 19人 [就学] 17人 [教授] 9人 [宗教] 8人 [教育] 8人 [技術] 8人 [永住者の配偶者等] 8人	【質問文】 どのような方法で学んでいますか。 【選択肢と回答結果】 ・独学…159件 ・職場で教わっている…73件 ・家族から教わっている…43件 ・無料の日本語教室で…31件 ・有料の日本語教室で…14件 ・その他…22件 ・無回答…5件
○国籍(N=330) [中国] 131人 [韓国・朝鮮] 65人 [米国] 16人 [フィリピン] 11人 [ロシア] 11人 [カナダ] 10人 [英国] 9人 [オーストラリア] 8人 [タイ] 6人 [インドネシア] 5人	○在留資格(N=336) [留学] 73人 [永住者] 65人 [日本人の配偶者等] 56人 [特別永住者] 24人 [人文知識・国際業務] 20人 [家族滞在] 19人 [就学] 17人 [教授] 9人 [宗教] 8人 [教育] 8人 [技術] 8人 [永住者の配偶者等] 8人	【質問文】 どのような教材を使っていますか。 【選択肢と回答結果】 ・日本語で書かれた日本語の教科書…112件 ・日本語以外で書かれた日本語の教科書…79件 ・インターネットなど…53件 ・CD, DVDなど…19件 ・その他…34件 ・無回答…14件
		【質問文】 日本語を学びたいと思う方法について 【選択肢と回答結果】 ・国際交流協会やボランティアなどの日本語教室…153人 ・日本語学校…109人 ・テレビ, ラジオ講座, 通信教育など…59人 ・家族や友人から習いたい…46人 ・その他…29人

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
④日本語学習の方法	名古屋市 「平成22年 名古屋市外国人市民アンケート調査 結果報告書」		
④日本語学習の方法	宮城県 「平成24年度宮城県外国人県民アンケート調査結果報告書」	○実施時期 平成24年11月22日～平成24年12月20日 ○対象 宮城県内に住民登録のある20歳以上の外国人県民から無作為抽出した方を対象 ○調査方法 郵便による送付・回収。調査票は日本語(ふりがな付き)、中国語(簡体字)、韓国語、英語を送付。調査票配布数は1,870件、回収数は431件、有効回収数は429件(有効回収率22.9%)。	○性別(N=429) [男] 154人(35.9%) [女] 266人(62.0%) [無回答] 9人(2.1%) ○年齢(N=429) [20～29歳] 86人(20.0%) [30～39歳] 122人(28.4%) [40～49歳] 119人(27.7%) [50～59歳] 56人(13.1%) [60～69歳] 25人(5.8%) [70～79歳] 7人(1.6%) [80～89歳] 4人(0.9%) [無回答] 10人(2.3%)
④日本語学習の方法	宮崎県 「宮崎に住む外国人アンケート調査」	○実施時期 平成22年9月13日から平成22年9月27日 ○対象 ①宮崎県内に在住する外国人400人(市町村の協力を得て、外国人登録原票より無作為に抽出)、②県内在住のJET青年78人、③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人100人 ○調査方法 ①アンケート調査票を郵送により送付・回収した。②アンケート調査票をメールにより送付・回収した。③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人に、アンケート調査票を配布し郵送等により回収した。156人から回収。回収率は27.0%。	○性別(N=156) [男] 56人(36.4%) [女] 98人(63.6%) ○年齢(N=156) [20～29歳] 44.5% [30～39歳] 28.4% [40～49歳] 15.5% [50～59歳] 5.2% [60～69歳] 5.2% [70歳～] 1.3%
④日本語学習の方法	山梨県・(財)山梨県国際交流協会 「外国人住民実態調査」	○実施時期 平成23年7月15日～9月15日 ○対象 山梨県内に住む外国人住民(18歳以上、大学生以上の留学生を含む) ○調査方法 ワーキンググループメンバー、外国人登録者の多い派遣会社、日本語教室や日本語講座、外国人学校、集住エリアのある市や町の外国人登録窓口、料理店や食材店、外国人が参加するミーティングやイベント等の関係者など、様々な方々に協力を依頼して実施した。中国語(繁体・簡体)、ポルトガル語、韓国語、タガログ語、スペイン語、タイ語、英語の調査票を作成するとともに、必要に応じて「ふりがな付日本語の調査票」も利用できるように用意。配布総数2,100部、有効回答数650部、回収率30.9%。	○性別(N=650) [男] 269(41%) [女] 372(58%) [無回答] 9(1%) ○年齢(N=650) [19歳以下] 14(2%) [20～29歳] 183(27%) [30～39歳] 161(25%) [40～49歳] 157(24%) [50～59歳] 101(16%) [60～69歳] 25(4%) [70歳以上] 4(1%) [無回答] 5(1%)
④日本語学習の方法	横浜市都市経営局 「外国人市民意識調査報告書」	○実施時期 平成21年7月 ○対象 市内在住外国人市民のうち満20歳以上の人。外国人登録原票からの無作為抽出による。 ○調査方法 郵送によるアンケート形式。5,000人を対象に実施。1,812回収。	○性別(N=1,812) [男] 39.9% [女] 56.8% ○年齢(N=1,812) [～39歳] 53.5% [40～59歳] 34.4% [60歳～] 11.1%

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
		<p>【質問文】どこで勉強しているか 【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人で勉強している(テレビ, ラジオの講座, 通信教育など)…52.3% 大学・日本語学校の日本語コース…20.0% 日本人の友達, 知り合いから…19.9% 家族から…17.2% ボランティアの日本語教室…11.0% 同じ国籍の友達, 知り合いから…5.5% 企業内研修…2.8% その他…12.3% 無回答…2.2%
<p>○国籍(N=429)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 155人(36.1%) [韓国・朝鮮] 111人(25.9%) [フィリピン] 31人(7.2%) [アメリカ] 18人(4.2%) [タイ] 11人(2.6%) [イギリス] 11人(2.6%) [インドネシア] 8人(1.9%) [ブラジル] 6人(1.4%) [台湾] 6人(1.4%) [その他] 61人(14.2%) [無回答] 11人(2.6%) 	<p>○在留資格(N=429)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 177人(41.3%) [留学] 68人(15.9%) [日本人の配偶者等] 63人(14.7%) [特別永住者] 42人(9.8%) [家族滞在] 15人(3.5%) [人文知識・国際業務] 10人(2.3%) [教授] 9人(2.1%) [定住者] 8人(1.9%) [研修・技能実習] 8人(1.9%) [その他] 24人(5.6%) [無回答] 5人(1.2%) 	<p>【質問文】日本語学習方法について(複数回答) 【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材やテレビ講座などで自分で勉強している…98人(59.0%) ボランティアの日本語教室に通っている…34人(20.5%) 家族に教えてもらっている…32人(19.3%) 日本人の知人・友人に教えてもらっている…30人(18.1%) 通っている大学や学校で学んでいる…26人(15.7%) 語学学校(日本語学校)に通っている…12人(7.2%) 自宅に講師を招き, 個人指導を受けている…2人(1.2%) その他…4人(2.4%) 無回答…1人(0.6%)
<p>○国籍(N=156)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 32.9% [アメリカ] 16.8% [フィリピン] 12.3% [韓国または朝鮮] 11.6% [イギリス] 5.2% [オーストラリア] 4.5% [カナダ] 3.2% [インドネシア] 1.3% [ブラジル] 0.6% 	<p>○在留資格(N=156)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 25.2% [教育] 19.4% [日本人または永住者の配偶者等] 14.2% [技能実習] 11.6% [人文知識・国際業務] 6.5% [留学・就職] 5.2% [特別永住者] 4.5% [研修] 3.9% [特定活動] 3.2% [定住者] 1.9% [家族滞在] 1.9% 	<p>【質問文】どんな方法で日本語を学習しているか 【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 独学…94(68.1%) 家族・友人…44(31.9%) 勤務先…38(27.5%) 母校の学校(小・中・高・大学)…31(22.5%) 地域の日本語学校…23(16.7%) 日本の学校(小・中・高・大学)…19(13.8%) 日本の日本語学校…14(10.1%) 母国の日本語学校…12(8.7%) その他…16(11.6%)
<p>○国籍(N=650)</p> <ul style="list-style-type: none"> [ブラジル] 190(29%) [中国] 187(29%) [韓国・朝鮮] 77(12%) [フィリピン] 49(8%) [ペルー] 45(7%) [タイ] 22(3%) [その他] 80(12%) 	<p>○在留資格(N=650)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 244(34%) [特別永住者] 16(2%) [日本人の配偶者等] 79(11%) [永住者の配偶者等] 14(2%) [定住者] 88(12%) [資格なし] 6(1%) [技能] 40(6%) [留学] 110(15%) [研修] 3(1%) [家族滞在] 52(7%) [特定活動] 13(2%) [その他] 30(4%) [無回答] 26(4%) 	<p>【質問文】日本語を勉強している人の勉強法について 【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> テレビ, ラジオ, 通信教育…115(27%) 日本語学校…55(13%) 地域の日本語教室…40(9%) 日本語ボランティアの先生…40(9%) 日本の友人, 知人…125(29%) その他…57(13%)
<p>○国籍(N=1,812)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 40.6% [韓国・朝鮮] 21.1% 	<p>○在留資格(N=1,812)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 38.0% [日本人の配偶者等] 15.1% [特別永住者] 10.1% 	<p>【質問文】日本語をどのような方法で学んでいるか(複数回答) 【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で勉強している…66.1% 家族に教えてもらっている…24.7% 日本人の知人, 友人に教えてもらっている…23.6% ボランティアの日本語教室に通っている…16.3% 語学学校(日本語学校)に通っている…14.1% 通っている大学や学校で学んでいる…8.7% その他…4.3% 無回答…0.4%

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑤日本語能力について			
⑤日本語能力について	島根県 「平成23年度島根県在住外国人実態調査報告書」	○実施時期 2008年8月14日～9月11日 ○対象 札幌市内に外国人登録を行っている18歳以上の市民 ○調査方法 無作為抽出で対象を決定し、調査票を郵送(往復)。国籍により英語、中国語、ハングル、ロシア語版のいずれかと日本語版を送付。有効回答数337通。	○性別(N=337) [男] 145人 [女] 189人 (不明・無回答3人) ○年齢(N=337) [29歳以下] 128人 [30～39歳] 102人 [40～49歳] 61人 [50～59歳] 25人 [60～74歳] 14人 [75歳～] 7人
⑤日本語能力について	鳥取県 「平成21年度 県内外国出身者アンケート調査結果」	○実施時期 平成21年5月1日～5月31日 ○対象 県内在住の20歳以上の外国出身者(ただし、「短期滞在者」及び「特別永住者」を除く) ○調査方法 各市町村の国際交流担当、市町村教育委員会及び小中学校、県教育委員会及び県立高校、民間団体、企業等を通じて調査票を配布。調査票は4言語(やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語)で実施。、配布部数は976、回収数は457(回答率は46.8%)	○性別(N=457) [男] 71% [女] 29% ○年齢(N=457) [20～29歳] 48% [30～39歳] 33% [40～49歳] 16% [50～59歳] 3% [60～69歳] 0% [70歳～] 0%
⑤日本語能力について	富山県 「在住外国人に対するアンケート調査結果」(※富山県多文化共生推進プラン～外国人にも暮らしやすい、世界に開かれた「元気とやま」の創造～)	○実施時期 平成18年7月	

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
<p>○国籍(N=330)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 131人 [韓国・朝鮮] 65人 [米国] 16人 [フィリピン] 11人 [ロシア] 11人 [カナダ] 10人 [英国] 9人 [オーストラリア] 8人 [タイ] 6人 [インドネシア] 5人 	<p>○在留資格(N=336)</p> <ul style="list-style-type: none"> [留学] 73人 [永住者] 65人 [日本人の配偶者等] 56人 [特別永住者] 24人 [人文知識・国際業務] 20人 [家族滞在] 19人 [就学] 17人 [教授] 9人 [宗教] 8人 [教育] 8人 [技術] 8人 [永住者の配偶者等] 8人 	<p>【質問文】 あなたは日本語がどのくらいできますか。</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <p>(聞く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビのニュース, ドラマを聞きとれる…33.6% ・相手の言うことが大体聞きとれる…22.8% ・相手がゆっくり話せば聞きとれる…27.1% ・単語だけ聞き取れる…11.8% ・ほとんど聞き取れない…2.8% ・無回答…2.0% <p>(話す)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を問題なく話せる…23.6% ・自分の言いたいことが大体話せる…33.3% ・簡単な日常会話ができる…29.1% ・決まった挨拶, 単語なら言うことができる…11.0% ・ほとんど話せない…1.0% ・無回答…2.0% <p>(読む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞や雑誌が読める…23.1% ・漢字交じりの文章が大体読める…12.8% ・簡単な漢字交じりの言葉が読める…29.3% ・平仮名又は片仮名なら読める…27.1% ・ほとんど読めない…4.8% ・無回答…3.0%
<p>○国籍(N=457)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 52% [フィリピン] 15% [アメリカ] 8% [韓国・朝鮮] 5% [タイ] 2% [ブラジル] 0% [その他] 18% 	<p>○在留資格(N=457)</p> <ul style="list-style-type: none"> [研修, 特定活動] 25% [永住者] 20% [日本人の配偶者等] 17% [留学] 13% [教育] 7% [人文知識・国際業務] 7% [定住者] 4% [技能, 興行] 2% [家族滞在] 2% [その他] 4% 	<p>【質問文】 あなたは日本語がどのくらいできますか</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手が言っていることは大体分かるが, うまく自分の気持ちを伝えることができない…38% ・日常生活にほとんど支障はない…30% ・簡単な漢字, 平仮名, 片仮名は読んだり書いたりできる…18% ・コミュニケーションに支障はないが, 地域や学校のお知らせなどを読んで理解することができない…11% ・ほとんどできない…3%
		<p>【質問文】 日本語の理解について</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <p>[話す]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをまとめて発言できる…36.2% ・簡単な日常会話を話せる…38.9% ・単語を話せる…17.7% ・ほとんど話せない…7.2% <p>[聞く]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビのニュースが分かる…29.1% ・ゆっくり話してもらえば分かる…38.2% ・単語を聞き取れる…23.9% ・ほとんど聞き取れない…8.9% <p>[読む]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞, 雑誌が読める…10.8% ・簡単な漢字が読める…34.9% ・ひらがなとカタカナが読める…27.2% ・ひらがなが読める…3.7% ・カタカナが読める…6.8% ・ほとんど読めない…16.6%

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑤日本語能力について	財団法人岩手県国際交流協会 「岩手県に在住する外国人の課題調査結果」	○実施時期 平成19年11月～平成19年12月 ○対象 岩手県内に在住する外国人（帰化した方を含む。但し、旅行者など短期滞在者を除く） ○調査方法 市町村や市町村国際交流協会、児童民生委員、地域自治会、保健師、大学、企業、日本語教室などの協力を得て、在住外国人に調査票を配布。無記名で郵送により回収。2,210部配布、有効回収数523名（23.7%）	○性別（N=523） [男] 13.4% [女] 86.6% ○年齢（N=523） [19歳以下] 2.1% [20～29歳] 53.5% [30～39歳] 32.1% [40～49歳] 10.1% [50歳～] 2.1%
⑤日本語能力について	愛知県 「愛知県の多文化共生に関する県民意識調査報告書」 平成22年3月	○実施時期 平成21年12月22日～平成22年2月15日（外国人県民） 平成21年12月5日～25日（日本人県民） ○対象 外国人県民について、外国人登録者の多い、名古屋市、豊橋市、豊田市、岡崎市、小牧市、春日井市、安城市、豊川市、西尾市の9市に居住する中国、ブラジル、韓国・朝鮮、フィリピン、ペルー国籍の満20歳以上の外国人登録者4,000人。 日本人県民について、愛知県内に居住する満20歳以上の男女4,000人。 ○調査方法 外国人について、外国人登録原票に基づき、無作為抽出。実対象者数3,203人、回収数717人、回収率22.4%。 日本人について住民基本台帳に基づき、無作為抽出。実対象者数3,979人、回収数1,673人、回収率42.0%。	<外国人調査> ○性別（N=717） [男] 42.1% [女] 56.1% [性別不明] 1.8% ○年齢（N=717） [20～29歳] 20.8% [30～39歳] 29.0% [40～49歳] 23.6% [50～59歳] 14.5% [60～69歳] 6.6% [70歳～] 3.8% [無回答] 1.8% <日本人調査> ○性別（N=1,673） [男] 43.9% [女] 54.4% [性別不明] 1.7% ○年齢（N=1,673） [20～29歳] 8.8% [30～39歳] 21.8% [40～49歳] 25.6% [50～59歳] 21.9% [60～69歳] 17.3% [70歳～] 2.9% [無回答] 0.0%
⑤日本語能力について	石川県（石川県国際交流協会日本語日本文化研修センター） 「平成23年度石川県地域日本語教室実態調査報告書」	○実施時期 平成23年5月～平成23年12月 ○対象 石川県内で地域に在住している外国人（日本国籍でも日本語を母語としていない人を含む）一般を対象として日本語指導ないし日本語学習支援を、教室における「授業」の形で行っている非営利ベースの日本語教室を、規模の大小を問わず、対象とした。 ○調査方法 調査対象期間へのアンケート調査。質問紙を送付し、回収。24教室から回答。学習者総数539人。	○性別（N=539） [男] 252（47%） [女] 287（53%） ○年齢（N=539） 年齢層 20～70代

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
<p>○国籍 (N=523)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 71.7% [韓国又は朝鮮] 6.7% [フィリピン] 8.2% [ブラジル] 2.1% [米国] 4.2% [その他] 7.1% <p>○国籍 (N=717)</p> <ul style="list-style-type: none"> [ブラジル] 27.3% [中国] 29.4% [韓国・朝鮮] 25.0% [フィリピン] 12.8% [ペルー] 3.5% [その他・不明] 2.0% 	<p>○在留資格 (N=523)</p> <ul style="list-style-type: none"> [研修] 42.8% [日本人の配偶者等] 17.6% [留学] 11.3% [永住者] 8.6% [特定活動] 7.3% [定住者] 2.9% [帰化] 1.7% [その他] 6.9% <p>○在留資格 (N=717)</p> <ul style="list-style-type: none"> [特別永住者] 18.3% [永住者] 40.7% [日本人又は永住者の配偶者等] 12.0% [定住者] 7.0% [家族滞在] 2.4% [留学] 5.4% [就学又は研修] 1.0% [人文知識・国際業務] 3.5% [技術] 3% [技能又は興行] 0.8% [特定活動(技能実習生など)] 2.8% [その他] 0.8% [無回答] 2.2% 	<p>【質問文】 どれぐらい日本語ができるか</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通の会話で受け答えできる…71.9% ・ テレビが楽しめる…30.6% ・ 電話での対応ができる…29.1% ・ 町中の漢字が読める…21.8% ・ 病院や役所で必要なことが伝えられる…17.4% ・ 学校のお知らせや、市町村の広報誌が読める…17.0% ・ 病院の問診票が書ける…16.1% ・ 学校のお知らせの返事や役所の届出などが書ける…12.6% ・ その他…17.2% <p>【質問文】 あなたは、日本語がどのくらいできますか。(聞く、話す、読む、書く力について各1つに○)</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <p>(聞く力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人と同程度(ほとんど不自由していない)…54.3% ・ ゆっくりなら分かる…30.8% ・ 単語が分かる…12.8% ・ まったく、分からない…0.8% <p>---</p> <p>・ 無回答…1.3%</p> <p>(話す力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人と同程度(ほとんど不自由していない)…48.7% ・ 日常会話ができる…38.1% ・ 単語が言える…11.4% ・ まったく、話せない…0.6% <p>---</p> <p>・ 無回答…1.3%</p> <p>(読む力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人と同程度(ほとんど不自由していない)…38.4% ・ 簡単な漢字・ひらがな・カタカナが読める…33.8% ・ ひらがな・カタカナが読める…18.7% ・ 漢字だけ読める…2.0% ・ まったく、読めない…6.1% <p>---</p> <p>・ 無回答…1.1%</p> <p>(書く力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人と同程度(ほとんど不自由していない)…37.0% ・ 簡単な漢字・ひらがな・カタカナが書ける…30.4% ・ ひらがな・カタカナが書ける…22.3% ・ まったく、書けない…8.9% <p>---</p> <p>・ 無回答…1.4%</p>
<p>○国籍 (N=539)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] ・ 24教室中、17教室で一番多く、5教室で二番目に多い。 [韓国・朝鮮] ・ 24教室中、2教室で一番多く、3教室で二番目に多い。 [ベトナム] ・ 24教室中、1教室で一番多く、4教室で二番目に多い。 [アメリカ] ・ 24教室中、1教室で一番多く、2教室で二番目に多い。 [その他] 	<p>○属性 (N=539)</p> <ul style="list-style-type: none"> [主婦・日本人配偶者] ・ 24教室中、8教室で一番多く、6教室で二番目に多い。 [企業研修生・技能実習生] ・ 24教室中、5教室で一番多く、3教室で二番目に多い。 [学生・研究生] ・ 24教室中、6教室で一番多い。 [ALT/CIR] ・ 24教室中、1教室で一番多く、2教室で二番目に多い。 [就労者] ・ 24教室中、1教室で一番多く、2教室で二番目に多い。 	<p>【質問文】 日本語の能力について</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <p>[日常会話能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不自由なく会話できる…21.6% ・ 日常会話程度ならできる…51.1% ・ 簡単なあいさつのみできる…20.6% ・ 全くできない…5.7% ・ 不明…1.1% <p>[読み書き能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不自由なくできる…13.1% ・ ある程度はできる…46.5% ・ ひらがななら読める…26.2% ・ 全くできない…7.8% ・ 不明…6.4%

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑤日本語能力について	沖縄県 「おきなわ多文化共生推進指針」		
⑤日本語能力について	外国人医療支援検討委員会(事務局 財団法人福井県国際交流協会) 「福井県における外国人医療支援に関する報告書」	○実施時期 平成23年10月16日～11月30日 ○対象 県内に住む在住外国人。ただし、特別永住者(終戦前から日本に居住し、終戦後も引き続き居住している朝鮮半島・台湾出身者およびその子孫)を除く。 ○調査方法 市役所・町役場、市町国際交流協会、日本語ボランティア団体等に取りまとめを依頼。留学生在籍機関、外国語指導助手所属機関等に依頼。国際交流イベント、福井国際交流会館等に来初する外国人に配布(面談)。英語、中国語、ポルトガル語、ルビ付きやさしい日本語。1,600部配布し、834部回収。回収率52.1%。	○性別(N=805) [男] 300(37.3%) [女] 505(62.7%) ○年齢(N=801) [19歳以下] 25(3.1%) [20～29歳] 492(61.4%) [30～39歳] 172(21.5%) [40～49歳] 92(11.5%) [50～59歳] 18(2.2%) [60歳～] 2(0.3%)
⑤日本語能力について	香川県 「外国人住民アンケート調査結果」	○実施時期 平成23年6月～8月 ○対象 県内在住の外国人住民1,565人 ○調査方法 技能実習生受入組合、大学・高等専門学校、県内企業、市町または各国際交流協会が実施する日本語教室をとおして調査を依頼。調査用紙は、日本語、英語、中国語、ハングル(韓国・朝鮮語)版を用意。依頼数1,565件、回収数918件、58.7%。	○性別(N=918) [男] 353(39.4%) [女] 539(60.2%) ○年齢(N=918) [～15歳] 2(0.2%) [16～18歳] 6(0.7%) [19～22歳] 341(37.1%) [23～29歳] 368(40.1%) [30～39歳] 130(14.2%) [40～49歳] 32(3.5%) [50～59歳] 8(0.8%) [60～69歳] 0(0.0%) [70～79歳] 0(0.0%) [不明] 31(3.4%)

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
		<p>【質問文】 日本語(習得状況)について 【選択肢と回答結果】 (会話) ・不自由なく会話できる…30% ・日常会話程度…42% ・簡単な挨拶のみ…24% ・全くできない…2% ・無回答…2%</p> <p>(読み書き能力) ・不自由なくできる…10% ・ある程度できる…31% ・平仮名・片仮名…33% ・全くできない…15% ・無回答…11%</p>
<p>○国籍(N=834) [中国] 472(56.6%) [ブラジル] 119(14.3%) [フィリピン] 42(5.0%) [アメリカ] 41(4.9%) [マレーシア] 33(4.0%) [ベトナム] 17(2.0%) [韓国・朝鮮] 14(1.7%) [カナダ] 14(1.7%) [インドネシア] 12(1.4%)</p>	<p>○在留資格(N=802) [研修・特定活動・技能実習] 259(32.3%) [永住者, 定住者] 179(22.3%) [日本人の配偶者等] 68(8.5%) [留学, 教育, 教授] 245(30.5%) [それ以外の在留資格] 51(6.4%)</p>	<p>【質問文】 あなたの日本語能力はどれくらいですか。 【選択肢と回答結果】 [話すこと] ・できる…157(19.7%) ・だいたいできる…219(27.5%) ・少しできる…367(46.1%) ・できない…53(6.7%) [聞くこと] ・できる…166(21.5%) ・だいたいできる…231(29.8%) ・少しできる…327(42.2%) ・できない…50(6.5%) [読むこと] ・できる…127(16.4%) ・だいたいできる…199(25.8%) ・少しできる…341(44.1%) ・できない…106(18.7%) [書くこと] ・できる…103(13.5%) ・だいたいできる…141(18.4%) ・少しできる…339(44.4%) ・できない…181(23.7%)</p>
<p>○国籍(N=900) [中国] 645(71.7%) [フィリピン] 64(7.1%) [インドネシア] 34(3.8%) [韓国] 34(3.8%) [アメリカ] 11(1.2%) [タイ] 11(1.2%) [マレーシア] 11(1.2%) [ベトナム] 10(1.1%) [バングラデシュ] 10(1.1%) [ネパール] 9(1.0%)</p>	<p>○在留資格(N=906) [留学] 236(26.0%) [研修] 210(23.2%) [特定活動] 199(22.0%) [技能] 132(14.6%) [日本人配偶者] 26(2.9%)</p>	<p>【質問文】 日本語レベルはどれくらいですか。あてはまるものに、それぞれ○をつけてください。 【選択肢と回答結果】 (話す) ・上級…4.8% ・中級…33.4% ・初級…61.8% (読む) ・上級…7.0% ・中級…36.3% ・初級…56.7% (書く) ・上級…4.7% ・中級…33.3% ・初級…62.0% (聞く) ・上級…7.4% ・中級…37.0% ・初級…55.8%</p>

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑤日本語能力について	京都市 「京都市外国籍市民意識・実態調査報告書」	○実施時期 2007年6月29日～7月20日 ○対象 京都市に在住する20歳以上の外国人登録者 ○調査方法 調査票の配布・回収とも郵送にて実施。外国人登録者名簿を用いた層化抽出(各行政区及び支所別に比例割当, 抽出率約10分の1)。発送数3,700票, 不達数231票, 回収総数982票, 有効回収数979票(うち, オールドカマー用594票, ニューカマー用385票)。有効回収率約26.5%。	○性別(N=960) [男] 45.0% [女] 55.0% ○年齢(N=967) [20～29歳] 21.3% [30～39歳] 19.0% [40～49歳] 15.5% [50～59歳] 17.0% [60～69歳] 16.3% [70歳～] 10.8%
⑤日本語能力について	財団法人青森県国際交流協会 青森県観光国際局交際経済課 「青森県在住外国人アンケート調査報告書2012 -平成23年度地域連携多文化共生推進事業-」	○実施時期 平成24年2月～平成24年3月 ○対象 平成23年7月, 青森県が県内市町村全てを対象とし平成22年12月末現在の外国人登録状況を調査した「外国人登録状況調査」の結果を基に(総登録件数:4,482件), 県内10市及び平成23年12月末時点の外国人登録者数上位5町村に在住する18歳以上の外国人を調査対象者とした。 ○調査方法 各市町村登録者数により2,000件を按分の上, 市町村毎の調査件数を設定して配布。調査票配布数1,992件, 有効配布数1,832件, 回答数617件, 回収率31.0%。	○性別(N=617) [男] 174(28.2%) [女] 437(70.8%) [無回答]6(1.0%) ○年齢(N=617) [18～19歳] 13(2.1%) [20～29歳] 189(30.6%) [30～39歳] 150(24.3%) [40～49歳] 115(18.6%) [50～59歳] 77(12.5%) [60歳～] 66(10.7%) [無回答] 7(1.1%)

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
<p>○国籍(N=968)</p> <ul style="list-style-type: none"> [韓国・朝鮮] 65.4% [中国] 17.5% [アメリカ] 2.4% [フィリピン] 2.3% [イギリス] 1.5% [その他] 10.9% 	<p>○在留資格</p> <ul style="list-style-type: none"> [特別永住者] 47.7% [永住者] 20.3% [留学] 9.7% [日本人の配偶者等] 6.7% [教授] 3.5% [家族滞在] 2.3% [人文知識・国際業務] 2.2% [技能] 1.3% [就学] 1.1% 	<p>【質問文】 日本語能力（留学生以外のニューカマー）</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <p>（話す）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不自由ない…30.7% ・大体問題ない…38.3% ・余りできない…25.9% ・ほとんど無理…5.1% <p>（聞く）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不自由ない…27.5% ・大体問題ない…47.1% ・余りできない…19.9% ・ほとんど無理…5.4% <p>（読む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不自由ない…22.7% ・大体問題ない…35.5% ・余りできない…29.3% ・ほとんど無理…12.5% <p>（書く）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不自由ない…15.0% ・大体問題ない…31.8% ・余りできない…34.7% ・ほとんど無理…18.6% <p>【質問文】 在住年数別の能力（留学生以外のニューカマー）</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <p>（日本在住30年以上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不自由なく読める…12.5% ・大体読める…37.5% ・余り読めない…12.5% ・ほとんど読めない…37.5% <p>（日本在住20年～30年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不自由なく読める…13.3% ・大体読める…53.3% ・余り読めない…20.0% ・ほとんど読めない…13.3%
<p>○国籍(N=617)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 260(42.1%) [韓国・朝鮮] 143(23.2%) [フィリピン] 81(13.1%) [アメリカ] 50(8.1%) [インドネシア] 14(2.3%) [タイ] 15(2.4%) [ベトナム] 6(1.0%) [その他] 44(7.1%) [無回答] 4(0.6%) 	<p>○在留資格(N=617)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 206(33.4%) [特別永住者] 71(11.5%) [留学] 43(7.0%) [技能実習] 128(20.7%) [日本人の配偶者等] 96(15.6%) [その他] 58(9.4%) [無回答] 15(2.4%) 	<p>【質問文】 日本語はどのくらいできますか。</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <p>【聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取れる…332件 (53.8%) ・ゆっくりなら聞き取れる…213件 (34.5%) ・ほとんど分からない…44件 (7.1%) ・無回答…28件 (4.5%) <p>【話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話せる…334件 (55.8%) ・少しなら話せる…222件 (36.0%) ・ほとんど話せない…34件 (5.5%) ・無回答…17件 (2.8%) <p>【読む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読める…253件 (41.0%) ・簡単な文章なら読める…240件 (38.9%) ・ほとんど読めない…82件 (13.3%) ・無回答…42件 (6.8%) <p>【書く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書ける…218件 (35.3%) ・簡単な文章なら書ける…236件 (38.2%) ・ほとんど書けない…120件 (19.4%) ・無回答…43件 (7.0%) <p>【読める文字】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字…397 (32.5%) ・平仮名…411 (33.7%) ・片仮名…358 (29.3%) ・無回答…55 (4.5%)

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑤日本語能力について	札幌市 「札幌市外国籍市民意識調査」	○実施時期 2008年8月14日～9月11日 ○対象 札幌市内に外国人登録を行っている18歳以上の市民 ○調査方法 無作為抽出で対象を決定し、調査票を郵送(往復)。 国籍により英語、中国語、ハングル、ロシア語版のいずれかと日本語版を送付。有効回答数337通。	○性別(N=337) [男] 145人 [女] 189人 (不明・無回答3人) ○年齢(N=337) [29歳以下] 128人 [30～39歳] 102人 [40～49歳] 61人 [50～59歳] 25人 [60～74歳] 14人 [75歳～] 7人
⑤日本語能力について	仙台市 「多文化共生の推進に関する基礎調査 報告書」	○実施時期 平成21年12月17日～平成22年1月29日 ○対象 仙台市内に外国人登録を行っている16歳以上の外国籍市民、及び日本国外にて出生し日本国籍を取得した16歳以上の市民。 ○調査方法 郵送による配布及び回収(一部在留資格においては関係団体を通じた配布、郵送回収)。303票回収(回収率20.2%)	○性別(N=303) [男] 49.2% [女] 50.8% ○年齢(N=303) [～20歳] 3.0% [20～29歳] 43.9% [30～39歳] 29.4% [40～49歳] 8.9% [50～59歳] 5.3% [60～69歳] 5.6% [70～79歳] 3.0% [80歳～] 1.0%

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
○国籍(N=330) [中国] 131人 [韓国・朝鮮] 65人 [米国] 16人 [フィリピン] 11人 [ロシア] 11人 [カナダ] 10人 [英国] 9人 [オーストラリア] 8人 [タイ] 6人 [インドネシア] 5人	○在留資格(N=336) [留学] 73人 [永住者] 65人 [日本人の配偶者等] 56人 [特別永住者] 24人 [人文知識・国際業務] 20人 [家族滞在] 19人 [就学] 17人 [教授] 9人 [宗教] 8人 [教育] 8人 [技術] 8人 [永住者の配偶者等] 8人	【質問文】 日本語はどのくらいできますか 【選択肢と回答結果】 【話す・聞く】 ・よくできる…146人 ・だいたいできる…109人 ・少しできる…64人 ・ほとんどできない…18人 【読む】 ・よくできる…126人 ・だいたいできる…123人 ・少しできる…69人 ・ほとんどできない…18人 【書く】 ・よくできる…102人 ・だいたいできる…126人 ・少しできる…80人 ・ほとんどできない…28人
○国籍(N=303) [中国] 44.6% [韓国] 25.1% [朝鮮] 3.0% [モンゴル] 2.3% [カナダ] 2.0% [米国] 1.7% [ロシア] 1.7% [フィリピン] 1.7% [タイ] 1.7% [インドネシア] 1.3% [インド] 1.0% [ブラジル] 0.3% [その他] 13.8%		【質問文】 あなたの日本語能力を御自身で判断するとすれば次のどれにあたりますか 【選択肢と回答結果】 【話す】 ・不自由なく話せる…34.7% ・だいたい話せる…32.7% ・あまり話せない…20.1% ・ほとんど話せない…11.9% 【聞く】 ・不自由なく聞き取れる…33.7% ・だいたい聞き取れる…36.6% ・あまり聞き取れない…20.8% ・ほとんど聞き取れない…7.9% 【読む】 (漢字) ・不自由なく読める…36.6% ・大体読める…39.3% ・あまり読めない…11.2% ・ほとんど読めない…11.6% ・無回答…1.3% (ひらがな) ・不自由なく読める…63.7% ・大体読める…19.1% ・余り読めない…6.9% ・ほとんど読めない…3.3% ・無回答…6.9% (片仮名) ・不自由なく読める…55.4% ・大体読める…24.4% ・あまり読めない…8.6% ・ほとんど読めない…5.0% ・無回答…6.6% 【書く】 (漢字) ・不自由なく書ける…32.7% ・大体書ける…35.3% ・あまり書けない…14.5% ・ほとんど書けない…15.5% ・無回答…2.0% (平仮名) ・不自由なく書ける…63.4% ・大体書ける…18.8% ・余り書けない…5.9% ・ほとんど書けない…5.6% ・無回答…6.3% (片仮名) ・不自由なく書ける…54.5% ・大体書ける…24.1% ・余り書けない…8.6% ・ほとんど書けない…6.6% ・無回答…6.3%

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑤日本語能力について	名古屋市 「平成22年 名古屋市外国人市民アンケート調査 結果報告書」	○実施時期 平成22年9月6日～26日 ○対象 平成22年8月10日現在において、名古屋市に外国人登録をしている20歳以上の外国人で出入国管理及び難民認定法に定める別表第一及び第二の在留資格を有するもの等から無作為抽出した6,000人。 ○調査方法 訪問留置法(訪問してアンケート用紙を手渡し、後日用紙を原則として訪問回収する(一部郵送回収を含む)。対象者6,000人中1,708人から回収(回収率28.5%)。 (※対象者から帰国者、転居者、世帯の重複等を除いた場合、実対象者数4,389人中1,708人から回収。回収率は38.9%)	○性別(N=1,708) [男] 38.7% [女] 60.7% [性別不明] 0.6% ○年齢(N=1,708) [20～29歳] 26.4% [30～39歳] 32.7% [40～49歳] 24.6% [50～59歳] 11.4% [60～69歳] 3.2% [70～79歳] 0.8% [80歳～] 0.3%
⑤日本語能力について	浜松市 「浜松市における南米系外国人及び日本人の実態調査結果(2010年度)」		

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
<p>○国籍(N=1,708)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 43.7% [韓国・朝鮮] 9.0% [フィリピン] 14.8% [ブラジル] 9.7% [米国] 2.7% [ベトナム] 3.2% [ペルー] 1.3% [ネパール] 0.8% [イギリス] 1.7% [オーストラリア] 0.8% [カナダ] 0.8% [インドネシア] 0.9% [タイ] 1.3% [マレーシア] 0.5% [バングラデシュ] 0.6% [その他] 8.2% 	<p>○在留資格(N=1,708)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 32.7% [日本人の配偶者等] 15.2% [留学] 13.1% [家族滞在] 6.3% [定住者] 5.9% [人文知識・国際業務] 5.4% [永住者の配偶者等] 3.9% [技術] 2.8% [技能] 2.5% [研修] 2.2% 	<p>【質問文】 日本語能力について 【選択肢と回答結果】</p> <p>(聞く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不自由なく、聞き取れる（日本人と同じぐらい）…21.3% ・ほとんど聞き取れる…36.7% ・ゆっくりなら、聞き取れる…24.5% ・単語なら分かる…11.9% ・ほとんど聞き取れない…4.8% ・無回答…0.8% <p>(話す)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不自由なく話せる（日本人と同じぐらい）…18.4% ・会話にはほとんど困らない…29.2% ・日常会話ができる…31.1% ・単語なら話せる…15.9% ・ほとんど話せない…4.4% ・無回答…1.1% <p>(読む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不自由なく読める（日本人と同じぐらい）…12.9% ・読むのにはほとんど困らない…25.6% ・簡単な漢字、ひらがな、片仮名が読める…35.4% ・ひらがな、片仮名なら読める…13.1% ・漢字だけ読める…1.6% ・ほとんど読めない…10.0% ・無回答…1.5% <p>(書く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不自由なく書ける（日本人と同じぐらい）…9.9% ・書くのには、ほとんど困らない…23.8% ・簡単な漢字、ひらがな、片仮名が書ける…35.1% ・平仮名、片仮名が書ける…17.3% ・全く書けない…12.5% ・無回答…1.4%
		<p>Q. あなたほどの程度日本語を理解していますか。</p> <p>(日本語で会話する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全くできない…2.1% ・余りできない…9.7% ・まあまあできる…30.3% ・割とできる…38.7% ・ほぼ完全にできる…17.6% ・無回答…1.6% <p>(平仮名・片仮名を読む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全くできない…8.2% ・余りできない…7.9% ・まあまあできる…17.6% ・割とできる…21.3% ・ほぼ完全にできる…42.4% ・無回答…2.6% <p>(漢字を読む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全くできない…27.6% ・余りできない…25.8% ・まあまあできる…24.5% ・割とできる…8.9% ・ほぼ完全にできる…5.5% ・無回答…7.6% <p>(日本語を書く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全くできない…19.7% ・余りできない…23.2% ・まあまあできる…31.6% ・割とできる…13.4% ・ほぼ完全にできる…6.1% ・無回答…6.1%

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑤日本語能力について	広島市市民局人権啓発部人権啓発課 「外国人市民生活・意識実態調査」	○実施時期 2012年9月8日～10月1日 ○対象 広島市の住民基本台帳に記録されている満18歳以上の外国籍の者(1万3955人:2012年8月17日現在) ○調査方法 層化抽出法により対象者を選び、郵送法により調査票を配布。抽出数は4000人で有効回収数は1611人(41.8%)。日本語、英語、韓国・朝鮮語、中国語、フィリピン語、ポルトガル語、スペイン語の7種類を作成し、対象者全員に日本語と国籍(出身地)の主たる言語の2部を送付。	○性別(N=471) [男] 39.1% [女] 60.9% ○年齢(N=471) [18～29歳] 18.0% [30～39歳] 22.2% [40～49歳] 20.8% [50～59歳] 12.6% [60～69歳] 14.1% [70歳～] 12.4%
⑤日本語能力について	福岡県		

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
○国籍(N=471) [韓国] 640(39.7%) [中国] 495(30.7%) [フィリピン] 158(9.8%) [朝鮮] 79(4.9%) [ブラジル] 53(3.3%) [米国] 47(2.9%) [ベトナム] 17(1.1%) [タイ] 27(1.7%) [英国] 19(1.2%) [ペルー] 10(0.6%) [その他] 63(3.9%)	○在留資格(N=471) [特別永住者] 34.9% [永住者] 32.9% [日本人の配偶者等] 9.4% [留学] 5.4% [専門・管理的職業] 5.1% [家族滞在] 3.1% [研修・技能実習] 3.6% [定住者] 2.1% [上記以外] 3.5%	【質問文】 日本語能力と日本語教室への参加 【選択肢と回答結果】 (聞く・話す) ・日本語を母語とする人と同じくらい 必要がない…94.3% 行っている…3.2% 行きたいが行けない…2.5% ・日常生活に困らない程度 行く必要がない…49.2% 行っている…18.7% 行きたいが行けない…32.1% ・速いと聞き取れず、自分の意志が伝えられずしばしば困る 行く必要がない…20.9% 行っている…35.4% 行きたいが行けない…43.7% ・ほとんど話せず、聞き取れない 行く必要がない…21.3% 行っている…29.5% 行きたいが行けない…49.2% (読む) ・日本語を母語とする人と同じくらい 行く必要がない…92.9% 行っている…5.2% 行きたいが行けない…1.8% ・簡単な漢字程度 行く必要がない…41.3% 行っている…23.3% 行きたいが行けない…35.4% ・ひらがなやカタカナの単語程度 行く必要がない…24.8% 行っている…26.7% 行きたいが行けない…48.4% ・ほとんど読めない 行く必要がない…36.4% 行っている…18.2% 行きたいが行けない…45.5% (書く) ・不自由なく書ける 行く必要がない…87.9% 行っている…7.6% 行きたいが行けない…4.4% ・平仮名で文章が書ける 行く必要がない…49.6% 行っている…22.1% 行きたいが行けない…28.2% ・平仮名やローマ字で単語が書ける 行く必要がない…26.5% 行っている…24.9% 行きたいが行けない…48.6% ・ほとんど書けない 行く必要がない…34.1% 行っている…16.3% 行きたいが行けない…49.6%
		【質問文】 日本語能力について 【選択肢と回答結果】 (全体) ・話す 自由に話せる…136人 少し話せる…168人 全く話せない…45人 ・聞く ほとんど聞き取れる…167人 少し聞き取れる…152人 全く聞き取れない…30人 ・読む 漢字も含めて読める…150人 漢字も少し読める…136人 仮名しか読めない…41人 全く読めない…19人 無回答…3人

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑤日本語能力について	宮城県 「平成24年度宮城県外国人県民アンケート調査結果報告書」	○実施時期 平成24年11月22日～平成24年12月20日 ○対象 宮城県内に住民登録のある20歳以上の外国人県民から無作為抽出した方を対象 ○調査方法 郵便による送付・回収。調査票は日本語(ふりがな付き)、中国語(簡体字)、韓国語、英語を送付。調査票配布数は1,870件、回収数は431件、有効回収数は429件(有効回収率22.9%)。	○性別(N=429) [男] 154人(35.9%) [女] 266人(62.0%) [無回答] 9人(2.1%) ○年齢(N=429) [20～29歳] 86人(20.0%) [30～39歳] 122人(28.4%) [40～49歳] 119人(27.7%) [50～59歳] 56人(13.1%) [60～69歳] 25人(5.8%) [70～79歳] 7人(1.6%) [80～89歳] 4人(0.9%) [無回答] 10人(2.3%)
⑤日本語能力について	宮崎県 「宮崎に住む外国人アンケート調査」	○実施時期 平成22年9月13日から平成22年9月27日 ○対象 ①宮崎県内に在住する外国人400人(市町村の協力を得て、外国人登録原票より無作為に抽出)、②県内在住のJET青年78人、③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人100人 ○調査方法 ①アンケート調査票を郵送により送付・回収した。②アンケート調査票をメールにより送付・回収した。③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人に、アンケート調査票を配布し郵送等により回収した。156人から回収。回収率は27.0%。	○性別(N=156) [男] 56人(36.4%) [女] 98人(63.6%) ○年齢(N=156) [20～29歳] 44.5% [30～39歳] 28.4% [40～49歳] 15.5% [50～59歳] 5.2% [60～69歳] 5.2% [70歳～] 1.3%

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
<p>○国籍(N=429)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 155人(36.1%) [韓国・朝鮮] 111人(25.9%) [フィリピン] 31人(7.2%) [アメリカ] 18人(4.2%) [タイ] 11人(2.6%) [イギリス] 11人(2.6%) [インドネシア] 8人(1.9%) [ブラジル] 6人(1.4%) [台湾] 6人(1.4%) [その他] 61人(14.2%) [無回答] 11人(2.6%) 	<p>○在留資格(N=429)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 177人(41.3%) [留学] 68人(15.9%) [日本人の配偶者等] 63人(14.7%) [特別永住者] 42人(9.8%) [家族滞在] 15人(3.5%) [人文知識・国際業務] 10人(2.3%) [教授] 9人(2.1%) [定住者] 8人(1.9%) [研修・技能実習] 8人(1.9%) [その他] 24人(5.6%) [無回答] 5人(1.2%) 	<p>【質問文】 日本語能力の自身の判断について 【選択肢と回答結果】</p> <p>【話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不自由なく話せる…158人 (36.8%) ・大体話せる…186人 (43.4%) ・あまり話せない…58人 (13.5%) ・ほとんど話せない…20人 (4.7%) ・無回答…7人 (1.6%) <p>【聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不自由なく聞き取れる…165人 (38.5%) ・大体聞きとれる…184人 (42.9%) ・余り聞き取れない…53人 (12.4%) ・ほとんど聞き取れない…17人 (4.0%) ・無回答…10人 (2.3%) <p>【読む】</p> <p><漢字></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不自由なく読める…141人 (32.9%) ・大体読める…135人 (31.5%) ・余り読めない…85人 (19.8%) ・ほとんど読めない…60人 (14.0%) ・無回答…8人 (1.9%) <p><ひらがな></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不自由なく読める…270人 (62.9%) ・大体読める…107人 (24.9%) ・余り読めない…21人 (4.9%) ・ほとんど読めない…15人 (3.5%) ・無回答…16人 (3.7%) <p><片仮名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不自由なく読める…253人 (59.0%) ・大体読める…112人 (26.1%) ・余り読めない…29人 (6.8%) ・ほとんど読めない…20人 (4.7%) ・無回答…15人 (3.5%) <p>【書く】</p> <p><漢字></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不自由なく書ける…124人 (28.9%) ・大体書ける…133人 (31.0%) ・余り書けない…87人 (20.3%) ・ほとんど書けない…77人 (17.9%) ・無回答…8人 (1.9%) <p><ひらがな></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不自由なく書ける…246人 (57.3%) ・大体書ける…108人 (25.2%) ・余り書けない…31人 (7.2%) ・ほとんど書けない…22人 (5.1%) ・無回答…22人 (5.1%) <p><片仮名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不自由なく書ける…226人 (52.7%) ・大体書ける…119人 (27.7%) ・余り書けない…37人 (8.6%) ・ほとんど書けない…26人 (6.1%) ・無回答…21人 (4.9%)
<p>○国籍(N=156)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 32.9% [アメリカ] 16.8% [フィリピン] 12.3% [韓国または朝鮮] 11.6% [イギリス] 5.2% [オーストラリア] 4.5% [カナダ] 3.2% [インドネシア] 1.3% [ブラジル] 0.6% 	<p>○在留資格(N=156)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 25.2% [教育] 19.4% [日本人または永住者の配偶者等] 14.2% [技能実習] 11.6% [人文知識・国際業務] 6.5% [留学・就職] 5.2% [特別永住者] 4.5% [研修] 3.9% [特定活動] 3.2% [定住者] 1.9% [家族滞在] 1.9% 	<p>【質問文】 どのくらい日本語ができるか 【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に不便はない…63 (41.2%) ・簡単な日常会話ならできる…61 (39.9%) ・挨拶程度ならできる…19 (12.4%) ・ほとんどできない…4 (2.6%) ・その他…6 (3.9%)

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑤日本語能力について	山梨県・(財)山梨県国際交流協会 「外国人住民実態調査」	○実施時期 平成23年7月15日～9月15日 ○対象 山梨県内に住む外国人住民(18歳以上、大学生以上の留学生を含む) ○調査方法 ワーキンググループメンバー、外国人登録者の多い派遣会社、日本語教室や日本語講座、外国人学校、集住エリアのある市や町の外国人登録窓口、料理店や食材店、外国人が参加するミーティングやイベント等の関係者など、様々な方々に協力を依頼して実施した。中国語(繁体・簡体)、ポルトガル語、韓国語、タガログ語、スペイン語、タイ語、英語の調査票を作成するとともに、必要に応じて「ふりがな付日本語の調査票」も利用できるように用意。配布総数2,100部、有効回答数650部、回収率30.9%。	○性別(N=650) [男] 269(41%) [女] 372(58%) [無回答] 9(1%) ○年齢(N=650) [19歳以下] 14(2%) [20～29歳] 183(27%) [30～39歳] 161(25%) [40～49歳] 157(24%) [50～59歳] 101(16%) [60～69歳] 25(4%) [70歳以上] 4(1%) [無回答] 5(1%)
⑤日本語能力について	横浜市都市経営局 「外国人市民意識調査報告書」	○実施時期 平成21年7月 ○対象 市内在住外国人市民のうち満20歳以上の人。外国人登録原票からの無作為抽出による。 ○調査方法 郵送によるアンケート形式。5,000人を対象に実施。1,812回収。	○性別(N=1,812) [男] 39.9% [女] 56.8% ○年齢(N=1,812) [～39歳] 53.5% [40～59歳] 34.4% [60歳～] 11.1%
⑤日本語能力について	山形県商工観光部観光交流局経済交流課国際室、財団法人山形県国際交流協会(※平成22年度緊急雇用創出事業を活用し、山形県が財団法人山形県国際交流協会に業務を委託。) 「平成22年度山形県在住外国人アンケート調査報告書の概要」	○実施時期 平成22年6月8日～平成22年7月10日 ○対象 県内に在住する18歳以上の外国出身者の方で、国際交流団体の登録者や日本語教室の受講者、市町村が無作為に抽出した外国人登録者(平成21年12月末現在で6,848人) ○調査方法 郵送による配布、回収。調査票は日本語(ふりがな付き)、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語版で作成。配布数は1,884件、有効配布数は1,836件、回答数は392件、回収率は21.4%。	○性別(N=386) [男] 114(29.5%) [女] 272(70.5%) ○年齢(N=386) [18～19歳以下] 11(2.8%) [20～29歳] 147(38.1%) [30～39歳] 104(27.0%) [40～49歳] 80(20.8%) [50～59歳] 35(9.0%) [60歳以上] 8(2.1%) [無記入] 1(0.1%)

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
<p>○国籍(N=650)</p> <ul style="list-style-type: none"> [ブラジル] 190(29%) [中国] 187(29%) [韓国・朝鮮] 77(12%) [フィリピン] 49(8%) [ペルー] 45(7%) [タイ] 22(3%) [その他] 80(12%) 	<p>○在留資格(N=650)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 244(34%) [特別永住者] 16(2%) [日本人の配偶者等] 79(11%) [永住者の配偶者等] 14(2%) [定住者] 88(12%) [資格なし] 6(1%) [技能] 40(6%) [留学] 110(15%) [研修] 3(1%) [家族滞在] 52(7%) [特定活動] 13(2%) [その他] 30(4%) [無回答] 26(4%) 	<p>【質問文】 日本語はどれくらいできますか(話す力)</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんど話せない…42(6%) ・簡単な挨拶や単語は話せる…131(20%) ・日常会話はだいたい話せる…328(50%) ・十分に話せる…148(22%) ・無回答…10(2%) <p>【質問文】 日本語はどれくらいできますか(聞く力)</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんど聞き取れない…32(5%) ・簡単な挨拶や単語は聞き取れる…130(20%) ・日常会話は大体理解できる…324(49%) ・十分に聞き取れ理解できる…154(23%) ・無回答…18(3%) <p>【質問文】 日本語はどれくらいできますか(読む力)</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんど読めない…114(17%) ・平仮名がだいたい読める…110(17%) ・簡単な漢字と平仮名・片仮名が読める…237(36%) ・辞書を使えば新聞や雑誌が読める…160(25%) ・無回答…33(5%) <p>【質問文】 日本語はどれくらいできますか(書く力)</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんど書けない…143(22%) ・平仮名が大体書ける…112(17%) ・簡単な漢字と平仮名・片仮名が書ける…223(35%) ・漢字を使った文章が書ける…140(21%) ・無回答…34(5%)
<p>○国籍(N=1,812)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 40.6% [韓国・朝鮮] 21.1% 	<p>○在留資格(N=1,812)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 38.0% [日本人の配偶者等] 15.1% [特別永住者] 10.1% 	<p>【質問文】 どのくらい日本語ができるか</p> <p>[話す]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よくできる…35.2% ・まあまあできる…38.6% ・あまりできない…19.6% ・できない…4.5% ・無回答…2.2% <p>[読む]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よくできる…29.4% ・まあまあできる…32.5% ・あまりできない…22.7% ・できない…9.6% ・無回答…5.8% <p>[書く]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よくできる…24.8% ・まあまあできる…28.1% ・あまりできない…25.9% ・できない…15.2% ・無回答…6.0%
<p>○国籍(N=386)</p> <ul style="list-style-type: none"> [日本] 18(4.4%) [中国] 124(32.1%) [韓国・朝鮮] 83(21.5%) [フィリピン] 31(8.0%) [ベトナム] 10(2.6%) [ブラジル] 6(1.3%) [タイ] 6(1.3%) [アメリカ] 28(7.2%) [マレーシア] 4(1.0%) [インドネシア] 4(1.0%) [その他] 74(19.2%) 	<p>○在留資格(N=354)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 117(33.1%) [日本人の配偶者等] 66(18.6%) [特定活動] 8(2.3%) [研修] 10(2.8%) [定住者] 9(2.5%) [留学] 66(18.6%) [家族滞在] 13(3.7%) [教育] 52(14.7%) [その他] 13(3.7%) 	<p>【質問文】 会話について</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても自信がある…66人(17.1%) ・ある程度自信がある…230人(59.4%) ・あまり自信がない…91人(23.5%) <p>【質問文】 読みについて</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても自信がある…51人(13.2%) ・ある程度自信がある…217人(56.1%) ・あまり自信がない…119人(30.7%) <p>【質問文】 書きについて</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても自信がある…35人(9.1%) ・ある程度自信がある…182人(47.2%) ・あまり自信がない…169人(43.8%) ・無記入…1人(0.3%)

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑥行政に対する要望(日本語学習に関する項目を含む)			
⑥行政に対する要望(日本語学習に関する項目を含む)	愛知県 「愛知県の多文化共生に関する県民意識調査報告書」 平成22年3月	○実施時期 平成21年12月22日～平成22年2月15日(外国人県民) 平成21年12月5日～25日(日本人県民) ○対象 外国人県民について、外国人登録者の多い、名古屋市、豊橋市、豊田市、岡崎市、小牧市、春日井市、安城市、豊川市、西尾市の9市に居住する中国、ブラジル、韓国・朝鮮、フィリピン、ペルー国籍の満20歳以上の外国人登録者4,000人。 日本人県民について、愛知県内に居住する満20歳以上の男女4,000人。 ○調査方法 外国人について、外国人登録原票に基づき、無作為抽出。実対象者数3,203人、回収数717人、回収率22.4%。 日本人について住民基本台帳に基づき、無作為抽出。実対象者数3,979人、回収数1,673人、回収率42.0%。	<外国人調査> ○性別(N=717) [男] 42.1% [女] 56.1% [性別不明] 1.8% ○年齢(N=717) [20～29歳] 20.8% [30～39歳] 29.0% [40～49歳] 23.6% [50～59歳] 14.5% [60～69歳] 6.6% [70歳～] 3.8% [無回答] 1.8%
⑥行政に対する要望(日本語学習に関する項目を含む)	石川県(石川県国際交流協会日本語日本文化研修センター) 「平成23年度石川県地域日本語教室実態調査報告書」	○実施時期 平成23年5月～平成23年12月 ○対象 石川県内で地域に在住している外国人(日本国籍でも日本語を母語としていない人を含む)一般を対象として日本語指導ないし日本語学習支援を、教室における「授業」の形でやっている非営利ベースの日本語教室を、規模の大小を問わず、対象とした。 ○調査方法 調査対象期間へのアンケート調査。質問紙を送付し、回収。24教室から回答。学習者総数539人。	○性別(N=539) [男] 252(47%) [女] 287(53%) ○年齢(N=539) 年齢層 20～70代
⑥行政に対する要望(日本語学習に関する項目を含む)	沖縄県 「おきなわ多文化共生推進指針」		
⑥行政に対する要望(日本語学習に関する項目を含む)	香川県 「外国人住民アンケート調査結果」	○実施時期 平成23年6月～8月 ○対象 県内在住の外国人住民1,565人 ○調査方法 技能実習生受入組合、大学・高等専門学校、県内企業、市町または各国際交流協会が実施する日本語教室をとおして調査を依頼。調査用紙は、日本語、英語、中国語、ハングル(韓国・朝鮮語)版を用意。依頼数1,565件、回収数918件、58.7%。	○性別(N=918) [男] 353(39.4%) [女] 539(60.2%) ○年齢(N=918) [～15歳] 2(0.2%) [16～18歳] 6(0.7%) [19～22歳] 341(37.1%) [23～29歳] 368(40.1%) [30～39歳] 130(14.2%) [40～49歳] 32(3.5%) [50～59歳] 8(0.8%) [60～69歳] 0(0.0%) [70～79歳] 0(0.0%) [不明] 31(3.4%)

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
<p>○国籍(N=717)</p> <ul style="list-style-type: none"> [ブラジル] 27.3% [中国] 29.4% [韓国・朝鮮] 25.0% [フィリピン] 12.8% [ペルー] 3.5% [その他・不明] 2.0% 	<p>○在留資格(N=717)</p> <ul style="list-style-type: none"> [特別永住者] 18.3% [永住者] 40.7% [日本人又は永住者の配偶者等] 12.0% [定住者] 7.0% [家族滞在] 2.4% [留学] 5.4% [就学又は研修] 1.0% [人文知識・国際業務] 3.5% [技術] 3% [技能又は興行] 0.8% [特定活動(技能実習生など)] 2.8% [その他] 0.8% [無回答] 2.2% 	<p>【質問文】 行政の取組みで、充実してほしいことはなんですか(3つまでに○)</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する…16.2% ・外国人に対する、相談体制や多言語での情報提供を充実する…20.4% ・日本語の学習を支援する…25.0% ・労働環境の改善を促す…27.2% ・子供に対する教育を充実させる…22.3% ・医療・保険・福祉を充実させる…29.1% ・日本人と外国人との、交流の場を作る…19.5% ・外国人が地域社会の活動(町内会など)に参加できるようにする…12.1% ・外国人の意見表明の場や、県政への参加の機会を増やす…21.2% ・日本人に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解を促進する…20.8% ・日本人に対し、外国語の学習を支援する…9.8% ・多文化共生施策を推進するために、条例を制定する…8.8% ・その他…2.9% ・特になし…8.5% --- ・無回答…7.8%
<p>○国籍(N=539)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] ・24教室中、17教室で一番多く、5教室で二番目に多い。 [韓国・朝鮮] ・24教室中、2教室で一番多く、3教室で二番目に多い。 [ベトナム] ・24教室中、1教室で一番多く、4教室で二番目に多い。 [アメリカ] ・24教室中、1教室で一番多く、2教室で二番目に多い。 [その他] 	<p>○属性(N=539)</p> <ul style="list-style-type: none"> [主婦・日本人配偶者] ・24教室中、8教室で一番多く、6教室で二番目に多い。 [企業研修生・技能実習生] ・24教室中、5教室で一番多く、3教室で二番目に多い。 [学生・研究生] ・24教室中、6教室で一番多い。 [ALT/GIR] ・24教室中、1教室で一番多く、2教室で二番目に多い。 [就労者] ・24教室中、1教室で一番多く、2教室で二番目に多い。 	<p>【質問文】 在住外国人の行政に対する要望</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語学習支援…42.9% ・母国語による行政サービス情報の提供…34.4% ・地域の人々と個交流する機会の提供…34.4% ・公共施設等における外国語表記…32.3% ・就職に関する相談等…31.6% ・母国語による相談窓口の設置…31.2% ・特になし…12.8% ・子供の日本語学習への支援…8.2%
		<p>【質問文】 行政に望むこと(複数回答9)</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活ガイドブック等母国語による行政サービス情報…30% ・日本語学習への支援…30% ・公共施設等における外国語表記…28% ・就職に関する相談等…27% ・母国語による相談窓口の設置…26% ・医療通訳ボランティア制度…24% ・地域の人々と交流する機会の提供…19% ・特になし…15% ・犯罪や防犯対策についての情報…13% ・子供の日本語学習への支援…13% ・その他…5%
<p>○国籍(N=900)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 645(71.7%) [フィリピン] 64(7.1%) [インドネシア] 34(3.8%) [韓国] 34(3.8%) [アメリカ] 11(1.2%) [タイ] 11(1.2%) [マレーシア] 11(1.2%) [ベトナム] 10(1.1%) [バングラデシュ] 10(1.1%) [ネパール] 9(1.0%) 	<p>○在留資格(N=906)</p> <ul style="list-style-type: none"> [留学] 236(26.0%) [研修] 210(23.2%) [特定活動] 199(22.0%) [技能] 132(14.6%) [日本人配偶者] 26(2.9%) 	<p>【質問文】 行政サービスに要望したいことは何ですか。(5つまで○をつけてください)</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国出身者と日本人との交流や相互理解の機会を提供する…332人(9.9%) ・制度やサービスを総合的に多言語で情報提供する…317人(9.5%) ・外国語で対応できる職員を増やす…245人(7.3%) ・外国語での相談窓口を充実させる…218人(6.5%) ・日本語教室を充実させる…218人(6.5%)

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑥行政に対する要望(日本語学習に関する項目を含む)	京都市 「京都市外国籍市民意識・実態調査報告書」	○実施時期 2007年6月29日～7月20日 ○対象 京都市に在住する20歳以上の外国人登録者 ○調査方法 調査票の配布・回収とも郵送にて実施。外国人登録者名簿を用いた層化抽出(各行政区及び支所別に比例割当, 抽出率約10分の1)。発送数3,700票, 不達数231票, 回収総数982票, 有効回収数979票(うち, オールドカマー用594票, ニューカマー用385票)。有効回収率約26.5%。	○性別(N=960) [男] 45.0% [女] 55.0% ○年齢(N=967) [20～29歳] 21.3% [30～39歳] 19.0% [40～49歳] 15.5% [50～59歳] 17.0% [60～69歳] 16.3% [70歳～] 10.8%
⑥行政に対する要望(日本語学習に関する項目を含む)	財団法人青森県国際交流協会 青森県観光国際局交際経済課 「青森県在住外国人アンケート調査報告書2012 -平成23年度地域連携多文化共生推進事業-」	○実施時期 平成24年2月～平成24年3月 ○対象 平成23年7月, 青森県が県内市町村全てを対象とし平成22年12月末現在の外国人登録状況を調査した「外国人登録状況調査」の結果を基に(総登録件数: 4,482件), 県内10市及び平成23年12月末時点の外国人登録者数上位5町村に在住する18歳以上の外国人を調査対象者とした。 ○調査方法 各市町村登録者数により2,000件を按分の上, 市町村毎の調査件数を設定して配布。調査票配布数1,992件, 有効配布数1,832件, 回答数617件, 回収率31.0%。	○性別(N=617) [男] 174(28.2%) [女] 437(70.8%) [無回答]6(1.0%) ○年齢(N=617) [18～19歳] 13(2.1%) [20～29歳] 189(30.6%) [30～39歳] 150(24.3%) [40～49歳] 115(18.6%) [50～59歳] 77(12.5%) [60歳～] 66(10.7%) [無回答] 7(1.1%)
⑥行政に対する要望(日本語学習に関する項目を含む)	札幌市 「札幌市外国籍市民意識調査」	○実施時期 2008年8月14日～9月11日 ○対象 札幌市内に外国人登録を行っている18歳以上の市民 ○調査方法 無作為抽出で対象を決定し, 調査票を郵送(往復)。国籍により英語, 中国語, ハングル, ロシア語版のいずれかと日本語版を送付。有効回答数337通。	○性別(N=337) [男] 145人 [女] 189人 (不明・無回答3人) ○年齢(N=337) [29歳以下] 128人 [30～39歳] 102人 [40～49歳] 61人 [50～59歳] 25人 [60～74歳] 14人 [75歳～] 7人
⑥行政に対する要望(日本語学習に関する項目を含む)	島根県 「平成23年度島根県在住外国人実態調査報告書」	○実施時期 2008年8月14日～9月11日 ○対象 札幌市内に外国人登録を行っている18歳以上の市民 ○調査方法 無作為抽出で対象を決定し, 調査票を郵送(往復)。国籍により英語, 中国語, ハングル, ロシア語版のいずれかと日本語版を送付。有効回答数337通。	○性別(N=337) [男] 145人 [女] 189人 (不明・無回答3人) ○年齢(N=337) [29歳以下] 128人 [30～39歳] 102人 [40～49歳] 61人 [50～59歳] 25人 [60～74歳] 14人 [75歳～] 7人

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
○国籍(N=968) [韓国・朝鮮] 65.4% [中国] 17.5% [アメリカ] 2.4% [フィリピン] 2.3% [イギリス] 1.5% [その他] 10.9%	○在留資格 [特別永住者] 47.7% [永住者] 20.3% [留学] 9.7% [日本人の配偶者等] 6.7% [教授] 3.5% [家族滞在] 2.3% [人文知識・国際業務] 2.2% [技能] 1.3% [就学] 1.1%	Q. 外国人市民施策の在り方として、日本語や日本の文化を学べる機会を作ることにについて ・是非必要…48.1% ・する方がよい…42.7% ・あまり必要ではない…6.8% ・必要ではない…0.9% ・分からない…1.4%
○国籍(N=617) [中国] 260(42.1%) [韓国・朝鮮] 143(23.2%) [フィリピン] 81(13.1%) [アメリカ] 50(8.1%) [インドネシア] 14(2.3%) [タイ] 15(2.4%) [ベトナム] 6(1.0%) [その他] 44(7.1%) [無回答] 4(0.6%)	○在留資格(N=617) [永住者] 206(33.4%) [特別永住者] 71(11.5%) [留学] 43(7.0%) [技能実習] 128(20.7%) [日本人の配偶者等] 96(15.6%) [その他] 58(9.4%) [無回答] 15(2.4%)	【質問文】外国人と青森県民が地域の中で共生していくためには、どのようなことが必要だと思いますか(複数回答) 【選択肢と回答結果】 ・外国人が働ける場所を増やす…311(19.4%) ・日本語の勉強ができる機会を増やす…265(16.5%) ・外国人向けの生活情報を提供する…251(15.6%) ・外国人と青森県民が交流する機会を増やす…198(12.3%) ・外国人向けの相談窓口を増やす…181(11.3%) ・青森県民が母国についての理解を深める機会を増やす…150(9.3%) ・外国人の子供たちが教育を受けやすくする…142(8.8%) ・その他…28(1.7%) ・無回答…80(5.0%)
○国籍(N=330) [中国] 131人 [韓国・朝鮮] 65人 [米国] 16人 [フィリピン] 11人 [ロシア] 11人 [カナダ] 10人 [英国] 9人 [オーストラリア] 8人 [タイ] 6人 [インドネシア] 5人	○在留資格(N=336) [留学] 73人 [永住者] 65人 [日本人の配偶者等] 56人 [特別永住者] 24人 [人文知識・国際業務] 20人 [家族滞在] 19人 [就学] 17人 [教授] 9人 [宗教] 8人 [教育] 8人 [技術] 8人 [永住者の配偶者等] 8人	【質問文】札幌が外国籍市民にとって暮らしやすいまちになるために何をすればよいと思いますか。(重要だと思うものを4つまで) 【選択肢と回答結果】 ・外国籍市民の就職を支援…166人 ・日本語や文化を学ぶ機会の充実…140人 ・外国籍市民と日本人市民が交流する機会…120人 ・外国籍市民の住宅入居を支援する…93人 ・日本人市民の異文化理解を進める…72人 ・外国籍市民の意見を行政に生かすための制度…68人 ・外国語での生活情報の提供を充実…66人 ・外国籍の子供の教育を支援する…65人 ・外国語での相談窓口を充実させる…63人 ・外国語の案内表示を増やす…41人 ・日本人市民の外国語学習を支援する…36人 ・その他…16人
○国籍(N=330) [中国] 131人 [韓国・朝鮮] 65人 [米国] 16人 [フィリピン] 11人 [ロシア] 11人 [カナダ] 10人 [英国] 9人 [オーストラリア] 8人 [タイ] 6人 [インドネシア] 5人	○在留資格(N=336) [留学] 73人 [永住者] 65人 [日本人の配偶者等] 56人 [特別永住者] 24人 [人文知識・国際業務] 20人 [家族滞在] 19人 [就学] 17人 [教授] 9人 [宗教] 8人 [教育] 8人 [技術] 8人 [永住者の配偶者等] 8人	【質問文】あなたはこれからどのようなサービスを受けたいですか。 【選択肢と回答結果】 ・在住外国人のための日本文化、生活習慣等の講座の開催…143件 ・日本人との交流イベント…131件 ・在住外国人のための日本語教室の開催…130件 ・在住外国人のための相談事業…120件 ・母語での翻訳・通訳サポート…107件 ・他の外国人との交流イベント…92件 ・その他…16件 ・無回答…87件

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑥行政に対する要望(日本語学習に関する項目を含む)	<p>島根県</p> <p>「平成23年度島根県在住外国人実態調査報告書」</p>	<p>○実施時期 2008年8月14日～9月11日</p> <p>○対象 札幌市内に外国人登録を行っている18歳以上の市民</p> <p>○調査方法 無作為抽出で対象を決定し、調査票を郵送(往復)。国籍により英語、中国語、ハングル、ロシア語版のいずれかと日本語版を送付。有効回答数337通。</p>	<p>○性別(N=337) [男] 145人 [女] 189人 (不明・無回答3人)</p> <p>○年齢(N=337) [29歳以下] 128人 [30～39歳] 102人 [40～49歳] 61人 [50～59歳] 25人 [60～74歳] 14人 [75歳～] 7人</p>
⑥行政に対する要望(日本語学習に関する項目を含む)	<p>鳥取県</p> <p>「平成21年度 県内外国出身者アンケート調査結果」</p>	<p>○実施時期 平成21年5月1日～5月31日</p> <p>○対象 県内在住の20歳以上の外国出身者(ただし、「短期滞在者」及び「特別永住者」を除く)</p> <p>○調査方法 各市町村の国際交流担当、市町村教育委員会及び小中学校、県教育委員会及び県立高校、民間団体、企業等を通じて調査票を配布。調査票は4言語(やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語)で実施。、配布部数は976、回収数は457(回答率は46.8%)</p>	<p>○性別(N=457) [男] 71% [女] 29%</p> <p>○年齢(N=457) [20～29歳] 48% [30～39歳] 33% [40～49歳] 16% [50～59歳] 3% [60～69歳] 0% [70歳～] 0%</p>
⑥行政に対する要望(日本語学習に関する項目を含む)	<p>富山県</p> <p>「在住外国人に対するアンケート調査結果」(※富山県多文化共生推進プラン～外国人にも暮らしやすい、世界に開かれた「元気とやま」の創造～)</p>	<p>○実施時期 平成18年7月</p>	

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
○国籍(N=330) [中国] 131人 [韓国・朝鮮] 65人 [米国] 16人 [フィリピン] 11人 [ロシア] 11人 [カナダ] 10人 [英国] 9人 [オーストラリア] 8人 [タイ] 6人 [インドネシア] 5人	○在留資格(N=336) [留学] 73人 [永住者] 65人 [日本人の配偶者等] 56人 [特別永住者] 24人 [人文知識・国際業務] 20人 [家族滞在] 19人 [就学] 17人 [教授] 9人 [宗教] 8人 [教育] 8人 [技術] 8人 [永住者の配偶者等] 8人	【質問文】 あなたは今、どのような情報が特に必要ですか。 【選択肢と回答結果】 <ul style="list-style-type: none"> ・医療, 病院, 福祉…99件 ・就職や仕事…89件 ・防災, 災害に備えるための情報…88件 ・地域のイベント, 観光…83件 ・日本語教室…82件 ・行政サービス, 手続…60件 ・交通機関, 手段…52件 ・教育, 育児, 学校…50件 ・買い物や商店…47件 ・ゴミ出しなど生活のルール, 生活習慣…41件 ・ボランティア団体の紹介…40件 ・住宅…26件 ・その他…20件 ・無回答…79件 【質問文】 どのような場所なら情報を得やすいでしょうか。 【選択肢と回答結果】 <ul style="list-style-type: none"> ・職場…145件 ・県や市町村の窓口…143件 ・公の施設(図書館, 公民館など)…101件 ・入国管理局…52件 ・日本語教室…49件 ・(財)しまね国際センター…41件 ・その他…20件
○国籍(N=457) [中国] 52% [フィリピン] 15% [アメリカ] 8% [韓国・朝鮮] 5% [タイ] 2% [ブラジル] 0% [その他] 18%	○在留資格(N=457) [研修, 特定活動] 25% [永住者] 20% [日本人の配偶者等] 17% [留学] 13% [教育] 7% [人文知識・国際業務] 7% [定住者] 4% [技能, 興行] 2% [家族滞在] 2% [その他] 4%	【質問文】 外国出身者に対するどのような支援が必要だと思いますか 【選択肢と回答結果】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本語学習の支援…23% ・多言語での生活情報の提供…13% ・日本のしきたりや家庭料理などを習う講座…12% ・日本人との交流イベント…9% ・在留資格や法律など専門家への相談体制…9% ・外国語での生活情報に関する相談窓口の設置…8% ・通訳・翻訳ボランティア派遣…7% ・防災訓練…4% ・学校での子供への日本語等のサポート…4% ・専門カウンセラーへの相談体制…3% ・ホームステイ・ホームビジットボランティア紹介…3% ・その他…2% ・特に必要と感じない…2%
		【質問文】 充実してほしい行政情報・生活情報 【選択肢と回答結果】 <ul style="list-style-type: none"> ・病院や医療のこと…207人 ・災害や事故など緊急時のこと…204人 ・日本語を学べる場所…185人 ・税金の仕組み…182人 ・就職・雇用情報…176人 ・外国語で相談できる窓口…157人 ・教育制度や学校のこと…147人 ・公営住宅のこと…124人 ・通訳・翻訳などのボランティアのこと…123人 ・在留資格・外国人登録のこと…120人 ・ゴミの出し方…99人 ・公共施設のこと…83人 ・地域の交流イベントや祭り…59人 ・公共交通機関のこと…46人 ・出産や育児のこと…39人 ・地域(自治会)のこと…13人

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑥行政に対する要望(日本語学習に関する項目を含む)	浜松市 「浜松市における南米系外国人及び日本人の実態調査結果(2010年度)」		
⑥行政に対する要望(日本語学習に関する項目を含む)	宮崎県 「宮崎に住む外国人アンケート調査」	○実施時期 平成22年9月13日から平成22年9月27日 ○対象 ①宮崎県内に在住する外国人400人(市町村の協力を得て、外国人登録原票より無作為に抽出)、②県内在住のJET青年78人、③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人100人 ○調査方法 ①アンケート調査票を郵送により送付・回収した。②アンケート調査票をメールにより送付・回収した。③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人に、アンケート調査票を配布し郵送等により回収した。156人から回収。回収率は27.0%。	○性別(N=156) [男] 56人(36.4%) [女] 98人(63.6%) ○年齢(N=156) [20～29歳] 44.5% [30～39歳] 28.4% [40～49歳] 15.5% [50～59歳] 5.2% [60～69歳] 5.2% [70歳～] 1.3%
⑥行政に対する要望(日本語学習に関する項目を含む)	宮崎県 「宮崎に住む外国人アンケート調査」	○実施時期 平成22年9月13日から平成22年9月27日 ○対象 ①宮崎県内に在住する外国人400人(市町村の協力を得て、外国人登録原票より無作為に抽出)、②県内在住のJET青年78人、③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人100人 ○調査方法 ①アンケート調査票を郵送により送付・回収した。②アンケート調査票をメールにより送付・回収した。③財団法人宮崎県国際交流協会を訪れた外国人に、アンケート調査票を配布し郵送等により回収した。156人から回収。回収率は27.0%。	○性別(N=156) [男] 56人(36.4%) [女] 98人(63.6%) ○年齢(N=156) [20～29歳] 44.5% [30～39歳] 28.4% [40～49歳] 15.5% [50～59歳] 5.2% [60～69歳] 5.2% [70歳～] 1.3%
⑥行政に対する要望(日本語学習に関する項目を含む)	山梨県・(財)山梨県国際交流協会 「外国人住民実態調査」	○実施時期 平成23年7月15日～9月15日 ○対象 山梨県内に住む外国人住民(18歳以上、大学生以上の留学生を含む) ○調査方法 ワーキンググループメンバー、外国人登録者の多い派遣会社、日本語教室や日本語講座、外国人学校、集住エリアのある市や町の外国人登録窓口、料理店や食材店、外国人が参加するミーティングやイベント等の関係者など、様々な方々に協力を依頼して実施した。中国語(繁体・簡体)、ポルトガル語、韓国語、タガログ語、スペイン語、タイ語、英語の調査票を作成するとともに、必要に応じて「ふりがな付日本語の調査票」も利用できるように用意。配布総数2,100部、有効回答数650部、回収率30.9%。	○性別(N=650) [男] 269(41%) [女] 372(58%) [無回答] 9(1%) ○年齢(N=650) [19歳以下] 14(2%) [20～29歳] 183(27%) [30～39歳] 161(25%) [40～49歳] 157(24%) [50～59歳] 101(16%) [60～69歳] 25(4%) [70歳以上] 4(1%) [無回答] 5(1%)

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
		<p>【質問文】 行政サービスへの希望について</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政情報の多言語化の充実…35.5% ・行政の窓口における通訳の充実…31.6% ・外国人の子供に対する教育支援の充実…42.1% ・日本語教育・教室の充実…48.4% ・生活相談窓口の充実…26.1% ・日本人との交流機会の充実…35.5% ・浜松での生活ルール等を学ぶ機会の充実…31.6% ・外国人が各国の文化や伝統芸能を発表する機会の充実…25.5% ・防災対策等の情報提供, 講習会の充実…30.8% ・その他…10.5% ・無回答…17.1%
<p>○国籍(N=156)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 32.9% [アメリカ] 16.8% [フィリピン] 12.3% [韓国または朝鮮] 11.6% [イギリス] 5.2% [オーストラリア] 4.5% [カナダ] 3.2% [インドネシア] 1.3% [ブラジル] 0.6% 	<p>○在留資格(N=156)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 25.2% [教育] 19.4% [日本人または永住者の配偶者等] 14.2% [技能実習] 11.6% [人文知識・国際業務] 6.5% [留学・就職] 5.2% [特別永住者] 4.5% [研修] 3.9% [特定活動] 3.2% [定住者] 1.9% [家族滞在] 1.9% 	<p>【質問文】 地域で多文化共生を推進していくために行政が力を入れるべき取組について</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な言語による行政・生活情報の提供…32.9% ・日本語・日本社会の学習機会の提供…32.8% ・通訳ボランティアの育成…25.7% ・日本人住民の意識啓発…23.4%
<p>○国籍(N=156)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 32.9% [アメリカ] 16.8% [フィリピン] 12.3% [韓国または朝鮮] 11.6% [イギリス] 5.2% [オーストラリア] 4.5% [カナダ] 3.2% [インドネシア] 1.3% [ブラジル] 0.6% 	<p>○在留資格(N=156)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 25.2% [教育] 19.4% [日本人または永住者の配偶者等] 14.2% [技能実習] 11.6% [人文知識・国際業務] 6.5% [留学・就職] 5.2% [特別永住者] 4.5% [研修] 3.9% [特定活動] 3.2% [定住者] 1.9% [家族滞在] 1.9% 	<p>【質問文】 外国人に対して「暮らしやすい地域社会にするために行政が力を入れるべき取組」について</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語や日本社会を学習する機会を増やす…42.6% ・外国語による行政・生活情報を充実する…36.5% ・いろいろな国の人が交流する機会をもうける…31.8% ・外国人相談窓口を増やす…30.4%
<p>○国籍(N=650)</p> <ul style="list-style-type: none"> [ブラジル] 190(29%) [中国] 187(29%) [韓国・朝鮮] 77(12%) [フィリピン] 49(8%) [ペルー] 45(7%) [タイ] 22(3%) [その他] 80(12%) 	<p>○在留資格(N=)650</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 244(34%) [特別永住者] 16(2%) [日本人の配偶者等] 79(11%) [永住者の配偶者等] 14(2%) [定住者] 88(12%) [資格なし] 6(1%) [技能] 40(6%) [留学] 110(15%) [研修] 3(1%) [家族滞在] 52(7%) [特定活動] 13(2%) [その他] 30(4%) [無回答] 26(4%) 	<p>【質問文】 行政(県や市町村)に行ってほしいサービスについて</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要な文書などの多言語化…285(22%) ・外国語対応が可能な職員・通訳の配置…231(18%) ・外国人のための相談窓口の充実…240(18%) ・公共施設の案内表記の多言語化…143(11%) ・日本語学習支援…195(15%) ・地域住民との交流行事との開催…206(16%) ・その他…19(1%)

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑥行政に対する要望(日本語学習に関する項目を含む)	横浜市都市経営局 「外国人市民意識調査報告書」	○実施時期 平成21年7月 ○対象 市内在住外国人市民のうち満20歳以上の人。外国人登録原票からの無作為抽出による。 ○調査方法 郵送によるアンケート形式。5,000人を対象に実施。1,812回収。	○性別(N=1,812) [男] 39.9% [女] 56.8% ○年齢(N=1,812) [~39歳] 53.5% [40~59歳] 34.4% [60歳~] 11.1%

⑦生活上のニーズについて(日本語学習に関する項目を含む)

⑦生活上のニーズについて(日本語学習に関する項目を含む)	財団法人青森県国際交流協会 青森県観光国際局交際経済課 「青森県在住外国人アンケート調査報告書2012 -平成23年度地域連携多文化共生推進事業-」	○実施時期 平成24年2月~平成24年3月 ○対象 平成23年7月、青森県が県内市町村全てを対象とし平成22年12月末現在の外国人登録状況を調査した「外国人登録状況調査」の結果を基に(総登録件数:4,482件)、県内10市及び平成23年12月末時点の外国人登録者数上位5町村に在住する18歳以上の外国人を調査対象者とした。 ○調査方法 各市町村登録者数により2,000件を按分の上、市町村毎の調査件数を設定して配布。調査票配布数1,992件、有効配布数1,832件、回答数617件、回収率31.0%。	○性別(N=617) [男] 174(28.2%) [女] 437(70.8%) [無回答]6(1.0%) ○年齢(N=617) [18~19歳] 13(2.1%) [20~29歳] 189(30.6%) [30~39歳] 150(24.3%) [40~49歳] 115(18.6%) [50~59歳] 77(12.5%) [60歳~] 66(10.7%) [無回答] 7(1.1%)
------------------------------	--	---	---

⑧子育てに関するニーズ(日本語に関する項目を含む)

⑧子育てに関するニーズ(日本語に関する項目を含む)	石川県(石川県国際交流協会日本語日本文化研修センター) 「平成23年度石川県地域日本語教室実態調査報告書」	○実施時期 平成23年5月~平成23年12月 ○対象 石川県内で地域に在住している外国人(日本国籍でも日本語を母語としていない人を含む)一般を対象として日本語指導ないし日本語学習支援を、教室における「授業」の形で行っている非営利ベースの日本語教室を、規模の大小を問わず、対象とした。 ○調査方法 調査対象期間へのアンケート調査。質問紙を送付し、回収。24教室から回答。学習者総数539人。	○性別(N=539) [男] 252(47%) [女] 287(53%) ○年齢(N=539) 年齢層 20~70代
⑧子育てに関するニーズ(日本語に関する項目を含む)	沖縄県 「おきなわ多文化共生推進指針」		

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
○国籍(N=1,812) [中国] 40.6% [韓国・朝鮮] 21.1%	○在留資格(N=1,812) [永住者] 38.0% [日本人の配偶者等] 15.1% [特別永住者] 10.1%	【質問文】 横浜市に望むことについて 【選択肢と回答結果】 ・在住外国人に対する支援体制の充実・強化…57.9% ・外国人市民が日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる…45.3% ・外国人市民の子育てや子どもの教育を支援する…39.7% ・外国人市民と日本人市民が交流する機会を増やす…38.7% ・区役所窓口での国際サービス員の充実など外国語での相談体制を充実させる…36.0% ・日本人市民の異文化理解を進める…35.2% ・外国人市民の意見を行政に活かすための仕組み…33.0% ・外国語の案内表示を増やす…24.1% ・ホームページの充実など外国語での生活情報の提供を充実させる…23.5% ・日本人市民の外国語学習を支援する…16.7% ・その他…3.0% ・無回答…7.6%
○国籍(N=617) [中国] 260(42.1%) [韓国・朝鮮] 143(23.2%) [フィリピン] 81(13.1%) [アメリカ] 50(8.1%) [インドネシア] 14(2.3%) [タイ] 15(2.4%) [ベトナム] 6(1.0%) [その他] 44(7.1%) [無回答] 4(0.6%)	○在留資格(N=617) [永住者] 206(33.4%) [特別永住者] 71(11.5%) [留学] 43(7.0%) [技能実習] 128(20.7%) [日本人の配偶者等] 96(15.6%) [その他] 58(9.4%) [無回答] 15(2.4%)	【質問文】 日常生活に必要な情報の入手方法について、あてはまる番号を全て選んでください(複数回答) 【選択肢と回答結果】 ・テレビ…388(24.7%) ・家族・友達・知人に相談…266(16.9%) ・インターネット…246(15.6%) ・日本語の新聞や情報誌…150(9.5%) ・地域の人たち…140(8.9%) ・携帯電話…111(7.1%) ・ラジオ…78(5.0%) ・行政の窓口・広報誌…74(4.7%) ・外国語の新聞や情報誌…52(3.3%) ・その他…14(0.9%) ・無回答…55(3.5%)
○国籍(N=539) [中国] ・24教室中、17教室で一番多く、5教室で二番目に多い。 [韓国・朝鮮] ・24教室中、2教室で一番多く、3教室で二番目に多い。 [ベトナム] ・24教室中、1教室で一番多く、4教室で二番目に多い。 [アメリカ] ・24教室中、1教室で一番多く、2教室で二番目に多い。 [その他]	○属性(N=539) [主婦・日本人配偶者] ・24教室中、8教室で一番多く、6教室で二番目に多い。 [企業研修生・技能実習生] ・24教室中、5教室で一番多く、3教室で二番目に多い。 [学生・研究生] ・24教室中、6教室で一番多い。 [ALT/CIR] ・24教室中、1教室で一番多く、2教室で二番目に多い。 [就労者] ・24教室中、1教室で一番多く、2教室で二番目に多い。	【質問文】 子どもの教育で心配なことについて 【選択肢と回答結果】 ・今後の進学が不安…14.4% ・特になし…14.4% ・母国語や母国の文化が学べない…11.1% ・教育費が高い…8.9% ・日本語ができない…4.4% ・学校からのお知らせが理解できない…3.3%
		【質問文】 子供の教育について(未就学児童を育てる上で困っていること 複数回答) 【選択肢と回答結果】 ・特になし…53% ・育児情報が入らない、日本語のため理解できない…21% ・子供を預けるところがない…17% ・周囲に子育てを相談できる人がいない…8% ・配偶者や祖父母と子育て方針が食い違う…5% ・子供の遊ぶところがない…5% ・ママ友同士の付き合いが難しい…5% ・その他…9%

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑧子育てに関するニーズ(日本語に関する項目を含む)	沖縄県 「おきなわ多文化共生推進指針」		
⑧子育てに関するニーズ(日本語に関する項目を含む)	香川県 「外国人住民アンケート調査結果」	○実施時期 平成23年6月～8月 ○対象 県内在住の外国人住民1,565人 ○調査方法 技能実習生受入組合、大学・高等専門学校、県内企業、市町または各国際交流協会が実施する日本語教室をとおして調査を依頼。調査用紙は、日本語、英語、中国語、ハングル(韓国・朝鮮語)版を用意。依頼数1,565件、回収数918件、58.7%。	○性別(N=918) [男] 353(39.4%) [女] 539(60.2%) ○年齢(N=918) [～15歳] 2(0.2%) [16～18歳] 6(0.7%) [19～22歳] 341(37.1%) [23～29歳] 368(40.1%) [30～39歳] 130(14.2%) [40～49歳] 32(3.5%) [50～59歳] 8(0.8%) [60～69歳] 0(0.0%) [70～79歳] 0(0.0%) [不明] 31(3.4%)
⑧子育てに関するニーズ(日本語に関する項目を含む)	京都市 「京都市外国籍市民意識・実態調査報告書」	○実施時期 2007年6月29日～7月20日 ○対象 京都市に在住する20歳以上の外国人登録者 ○調査方法 調査票の配布・回収とも郵送にて実施。外国人登録者名簿を用いた層化抽出(各行政区及び支所別に比例割当、抽出率約10分の1)。発送数3,700票、不達数231票、回収総数982票、有効回収数979票(うち、オールドカマー用594票、ニューカマー用385票)。有効回収率約26.5%。	○性別(N=960) [男] 45.0% [女] 55.0% ○年齢(N=967) [20～29歳] 21.3% [30～39歳] 19.0% [40～49歳] 15.5% [50～59歳] 17.0% [60～69歳] 16.3% [70歳～] 10.8%
⑧子育てに関するニーズ(日本語に関する項目を含む)	財団法人青森県国際交流協会 青森県観光国際局交際経済課 「青森県在住外国人アンケート調査報告書2012 -平成23年度地域連携多文化共生推進事業-」	○実施時期 平成24年2月～平成24年3月 ○対象 平成23年7月、青森県が県内市町村全てを対象とし平成22年12月末現在の外国人登録状況を調査した「外国人登録状況調査」の結果を基に(総登録件数:4,482件)、県内10市及び平成23年12月末時点の外国人登録者数上位5町村に在住する18歳以上の外国人を調査対象者とした。 ○調査方法 各市町村登録者数により2,000件を按分の上、市町村毎の調査件数を設定して配布。調査票配布数1,992件、有効配布数1,832件、回答数617件、回収率31.0%。	○性別(N=617) [男] 174(28.2%) [女] 437(70.8%) [無回答]6(1.0%) ○年齢(N=617) [18～19歳] 13(2.1%) [20～29歳] 189(30.6%) [30～39歳] 150(24.3%) [40～49歳] 115(18.6%) [50～59歳] 77(12.5%) [60歳～] 66(10.7%) [無回答] 7(1.1%)

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
		<p>【質問文】 子供の教育に関して心配なこと(複数回答)</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし…51% ・教育費が高い…27% ・今後の進学が不安…18% ・母国語や母国の文化が学べない…16% ・いじめられる…8% ・日本語ができない…7% ・学校からのお知らせが理解できない…7% ・授業についていけない…5% ・友達ができない…5% ・学校に通っていない…1% ・その他…10%
<p>○国籍(N=900)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 645(71.7%) [フィリピン] 64(7.1%) [インドネシア] 34(3.8%) [韓国] 34(3.8%) [アメリカ] 11(1.2%) [タイ] 11(1.2%) [マレーシア] 11(1.2%) [ベトナム] 10(1.1%) [バングラデシュ] 10(1.1%) [ネパール] 9(1.0%) 	<p>○在留資格(N=906)</p> <ul style="list-style-type: none"> [留学] 236(26.0%) [研修] 210(23.2%) [特定活動] 199(22.0%) [技能] 132(14.6%) [日本人配偶者] 26(2.9%) 	<p>【質問文】 日本の学校へ行かせない理由は何ですか</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母国での進学、就職のため…11.3% ・日本語ができないため…12.1% ・母国の文化、言語を学ばすため…12.1% ・日本の教育制度が分からないため…8.7% ・その他…55.8%
<p>○国籍(N=968)</p> <ul style="list-style-type: none"> [韓国・朝鮮] 65.4% [中国] 17.5% [アメリカ] 2.4% [フィリピン] 2.3% [イギリス] 1.5% [その他] 10.9% 	<p>○在留資格</p> <ul style="list-style-type: none"> [特別永住者] 47.7% [永住者] 20.3% [留学] 9.7% [日本人の配偶者等] 6.7% [教授] 3.5% [家族滞在] 2.3% [人文知識・国際業務] 2.2% [技能] 1.3% [就学] 1.1% 	<p>【質問文】 育児・教育上の課題、困っていること</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関する情報の多くが日本語なので分からない…20.4% ・学費が高い…19.4% ・日本語がうまくできないので授業が理解しにくい…15.1% ・外国人であることを理由にいじめを受けている…12.9% ・言葉の違いなどから保護者と学校との意思疎通がうまくいかない…11.8% ・子育てに関する悩みを相談できる相手がいない…9.7% ・友達ができない…8.6% ・保育園(託児所)が近くにない…4.3% ・子供が学校に行きたがらない…3.2% ・仕事の都合で子供を学校に通わせられない…0.0% ・その他…5.4% ・特にない…45.2%
<p>○国籍(N=617)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 260(42.1%) [韓国・朝鮮] 143(23.2%) [フィリピン] 81(13.1%) [アメリカ] 50(8.1%) [インドネシア] 14(2.3%) [タイ] 15(2.4%) [ベトナム] 6(1.0%) [その他] 44(7.1%) [無回答] 4(0.6%) 	<p>○在留資格(N=617)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 206(33.4%) [特別永住者] 71(11.5%) [留学] 43(7.0%) [技能実習] 128(20.7%) [日本人の配偶者等] 96(15.6%) [その他] 58(9.4%) [無回答] 15(2.4%) 	<p>【質問文】 子どもの教育で困っていることや心配なことについて</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育費が高い…19.3% ・母国や母国語についての学習が少なくなる…14.7% ・教育制度が良く分からない…12.9% ・日本語が難しい…10.7%

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑧子育てに関するニーズ(日本語に関する項目を含む)	札幌市 「札幌市外国籍市民意識調査」	○実施時期 2008年8月14日～9月11日 ○対象 札幌市内に外国人登録を行っている18歳以上の市民 ○調査方法 無作為抽出で対象を決定し、調査票を郵送(往復)。国籍により英語、中国語、ハングル、ロシア語版のいずれかと日本語版を送付。有効回答数337通。	○性別(N=337) [男] 145人 [女] 189人 (不明・無回答3人) ○年齢(N=337) [29歳以下] 128人 [30～39歳] 102人 [40～49歳] 61人 [50～59歳] 25人 [60～74歳] 14人 [75歳～] 7人
⑧子育てに関するニーズ(日本語に関する項目を含む)	富山県 「在住外国人に対するアンケート調査結果」(※富山県多文化共生推進プラン～外国人にも暮らしやすい、世界に開かれた「元気とやま」の創造～)	○実施時期 平成18年7月	
⑧子育てに関するニーズ(日本語に関する項目を含む)	広島市市民局人権啓発部人権啓発課 「外国人市民生活・意識実態調査」	○実施時期 2012年9月8日～10月1日 ○対象 広島市の住民基本台帳に記録されている満18歳以上の外国籍の者(1万3955人:2012年8月17日現在) ○調査方法 層化抽出法により対象者を選び、郵送法により調査票を配布。抽出数は4000人で有効回収数は1611人(41.8%)。日本語、英語、韓国・朝鮮語、中国語、フィリピン語、ポルトガル語、スペイン語の7種類を作成し、対象者全員に日本語と国籍(出身地)の主たる言語の2部を送付。	○性別(N=471) [男] 39.1% [女] 60.9% ○年齢(N=471) [18～29歳] 18.0% [30～39歳] 22.2% [40～49歳] 20.8% [50～59歳] 12.6% [60～69歳] 14.1% [70歳～] 12.4%
⑧子育てに関するニーズ(日本語に関する項目を含む)	宮城県 「平成24年度宮城県外国人県民アンケート調査結果報告書」	○実施時期 平成24年11月22日～平成24年12月20日 ○対象 宮城県内に住民登録のある20歳以上の外国人県民から無作為抽出した方を対象 ○調査方法 郵便による送付・回収。調査票は日本語(ふりがな付き)、中国語(簡体字)、韓国語、英語を送付。調査票配布数は1,870件、回収数は431件、有効回収数は429件(有効回収率22.9%)。	○性別(N=429) [男] 154人(35.9%) [女] 266人(62.0%) [無回答] 9人(2.1%) ○年齢(N=429) [20～29歳] 86人(20.0%) [30～39歳] 122人(28.4%) [40～49歳] 119人(27.7%) [50～59歳] 56人(13.1%) [60～69歳] 25人(5.8%) [70～79歳] 7人(1.6%) [80～89歳] 4人(0.9%) [無回答] 10人(2.3%)

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
○国籍(N=330) [中国] 131人 [韓国・朝鮮] 65人 [米国] 16人 [フィリピン] 11人 [ロシア] 11人 [カナダ] 10人 [英国] 9人 [オーストラリア] 8人 [タイ] 6人 [インドネシア] 5人	○在留資格(N=336) [留学] 73人 [永住者] 65人 [日本人の配偶者等] 56人 [特別永住者] 24人 [人文知識・国際業務] 20人 [家族滞在] 19人 [就学] 17人 [教授] 9人 [宗教] 8人 [教育] 8人 [技術] 8人 [永住者の配偶者等] 8人	【質問文】 子育てや子どもの教育について心配なことや困っていることはありますか。(当てはまるものについて、いくつでも回答) 【選択肢と回答結果】 ・子供が母国語や母国の文化を学ぶ機会が少ない…29人 ・子育てについて相談する人がいない…20人 ・日本語が分からないので、勉強や宿題を手伝えない…16人 ・日本語が分からないので、学校の書類などが読めない…13人 ・他の子どもの親と仲良くなれない…12人 ・幼稚園や保育所の手続きが分からない…11人 ・子供が友達ができない…11人 ・小学校や中学校入学の手続きが分からない…10人 ・日本語が分からないので、先生と話せない…8人 ・宗教や習慣の違いから給食で食べられないものがある…6人 ・子供が学校でいじめられる…6人 ・子供が日本語が分からない…4人 ・子供が授業についていけない…1人 ・その他…9人 ・特に悩みはない…54人
		【質問文】 子どもの教育に関する心配事について 【選択肢と回答結果】 ・学校からの連絡を親が理解できない…68人 ・日本語が十分にできない(子ども)…63人 ・高校、大学に進学できるか不安…55人 ・学費が高い…47人 ・学校の授業が難しい…45人 ・母国語が話せなくなる…41人 ・学校や教育の制度が分からない…41人 ・学校でいじめられる…18人 ・その他…25人
○国籍(N=471) [韓国] 640(39.7%) [中国] 495(30.7%) [フィリピン] 158(9.8%) [朝鮮] 79(4.9%) [ブラジル] 53(3.3%) [米国] 47(2.9%) [ベトナム] 17(1.1%) [タイ] 27(1.7%) [英国] 19(1.2%) [ペルー] 10(0.6%) [その他] 63(3.9%)	○在留資格(N=471) [特別永住者] 34.9% [永住者] 32.9% [日本人の配偶者等] 9.4% [留学] 5.4% [専門・管理的職業] 5.1% [家族滞在] 3.1% [研修・技能実習] 3.6% [定住者] 2.1% [上記以外] 3.5%	【質問文】 子供の教育で困っていること 【選択肢と回答結果】 ・子供の将来の就職…24.6% ・子供の進学…19.9% ・自分は日本語ができないので勉強を手伝えない…18.7% ・学費が高い…18.5% ・制服や給食、教材などにお金がかかる…17.8% ・日本の教育制度が分からない…7.3% ・自分は日本語ができないので先生に相談できない…7.1% ・言葉の問題で子供とうまくコミュニケーションができない…6.6% ・帰国後の母語の言語や学校への適応…6.4% ・自分は日本語ができないので学校からの連絡が分からない…5.9% ・子供が重要な内容を理解できない…5.9% ・子供が学校で友達ができない…4.0% ・先生に相談しても何もしてくれない…2.4% ・先生が家庭の事情を理解してくれない…1.7% ・困っていることはない…33.2% ・その他…5.5%
○国籍(N=429) [中国] 155人(36.1%) [韓国・朝鮮] 111人(25.9%) [フィリピン] 31人(7.2%) [アメリカ] 18人(4.2%) [タイ] 11人(2.6%) [イギリス] 11人(2.6%) [インドネシア] 8人(1.9%) [ブラジル] 6人(1.4%) [台湾] 6人(1.4%) [その他] 61人(14.2%) [無回答] 11人(2.6%)	○在留資格(N=429) [永住者] 177人(41.3%) [留学] 68人(15.9%) [日本人の配偶者等] 63人(14.7%) [特別永住者] 42人(9.8%) [家族滞在] 15人(3.5%) [人文知識・国際業務] 10人(2.3%) [教授] 9人(2.1%) [定住者] 8人(1.9%) [研修・技能実習] 8人(1.9%) [その他] 24人(5.6%) [無回答] 5人(1.2%)	【質問文】 あなたが御家庭で子供と会話する時に使う言語は以下のうちどれですか。 【選択肢と回答結果】 ・日本語だけ…58人(39.5%) ・主に日本語…36人(24.5%) ・日本語と母国語が同じぐらい…29人(19.7%) ・主に母国語…12人(8.2%) ・その他…6人(4.1%) ・無回答…6人(4.1%)

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑧子育てに関するニーズ(日本語に関する項目を含む)	横浜市都市経営局 「外国人市民意識調査報告書」	○実施時期 平成21年7月 ○対象 市内在住外国人市民のうち満20歳以上の人。外国人登録原票からの無作為抽出による。 ○調査方法 郵送によるアンケート形式。5,000人を対象に実施。1,812回収。	○性別(N=1,812) [男] 39.9% [女] 56.8% ○年齢(N=1,812) [～39歳] 53.5% [40～59歳] 34.4% [60歳～] 11.1%
⑧子育てに関するニーズ(日本語に関する項目を含む)	横浜市都市経営局 「外国人市民意識調査報告書」	○実施時期 平成21年7月 ○対象 市内在住外国人市民のうち満20歳以上の人。外国人登録原票からの無作為抽出による。 ○調査方法 郵送によるアンケート形式。5,000人を対象に実施。1,812回収。	○性別(N=1,812) [男] 39.9% [女] 56.8% ○年齢(N=1,812) [～39歳] 53.5% [40～59歳] 34.4% [60歳～] 11.1%
⑨医療に関するニーズ(日本語に関する項目を含む)			
⑨医療に関するニーズ(日本語に関する項目を含む)	財団法人青森県国際交流協会 青森県観光国際局交際経済課 「青森県在住外国人アンケート調査報告書2012 -平成23年度地域連携多文化共生推進事業-」	○実施時期 平成24年2月～平成24年3月 ○対象 平成23年7月、青森県が県内市町村全てを対象とし平成22年12月末現在の外国人登録状況を調査した「外国人登録状況調査」の結果を基に(総登録件数:4,482件)、県内10市及び平成23年12月末時点の外国人登録者数上位5町村に在住する18歳以上の外国人を調査対象者とした。 ○調査方法 各市町村登録者数により2,000件を按分の上、市町村毎の調査件数を設定して配布。調査票配布数1,992件、有効配布数1,832件、回答数617件、回収率31.0%。	○性別(N=617) [男] 174(28.2%) [女] 437(70.8%) [無回答]6(1.0%) ○年齢(N=617) [18～19歳] 13(2.1%) [20～29歳] 189(30.6%) [30～39歳] 150(24.3%) [40～49歳] 115(18.6%) [50～59歳] 77(12.5%) [60歳～] 66(10.7%) [無回答] 7(1.1%)
⑨医療に関するニーズ(日本語に関する項目を含む)	浜松市 「浜松市における南米系外国人及び日本人の実態調査結果(2010年度)」		

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
○国籍(N=1,812) [中国] 40.6% [韓国・朝鮮] 21.1%	○在留資格(N=1,812) [永住者] 38.0% [日本人の配偶者等] 15.1% [特別永住者] 10.1%	【質問文】 子供が学校に通っていない理由(複数回答) 【選択肢と回答結果】 ・日本語が分からないから…21.9% ・学校に入る手続きが分からないから…15.6% ・いじめや差別が心配だから…15.6% ・日本に長く住むつもりはないから…12.5% ・お金がないから…6.3% ・日本の教育は良くないと思うから…6.3% ・子供が行きたがらないから…3.1% ・その他…15.6% ・無回答…37.5%
○国籍(N=1,812) [中国] 40.6% [韓国・朝鮮] 21.1%	○在留資格(N=1,812) [永住者] 38.0% [日本人の配偶者等] 15.1% [特別永住者] 10.1%	【質問文】 子育てや教育に関する支援についての希望(複数回答) 【選択肢と回答結果】 ・子育てや子供の教育について相談する場…36.6% ・幼稚園・保育所・学校での子供の様子を知るためのサポート…30.1% ・健康診断や医療相談のサポート(相談・通訳・同行など)…28.6% ・子供への日本語学習サポート…28.5% ・子供への母語による教科学習サポート…27.6% ・親子で地域の友人と交流できる場…26.8% ・学校や行政からのお知らせや書類を理解するためのサポート…24.1% ・子供の居場所づくり…22.2% ・区役所や市役所での手続きのサポート(相談・通訳・同行など)…19.9% ・子供への日本語による教科学習サポート…19.4% ・特に支援はもらえない…15.7% ・その他…5.3%
○国籍(N=617) [中国] 260(42.1%) [韓国・朝鮮] 143(23.2%) [フィリピン] 81(13.1%) [アメリカ] 50(8.1%) [インドネシア] 14(2.3%) [タイ] 15(2.4%) [ベトナム] 6(1.0%) [その他] 44(7.1%) [無回答] 4(0.6%)	○在留資格(N=617) [永住者] 206(33.4%) [特別永住者] 71(11.5%) [留学] 43(7.0%) [技能実習] 128(20.7%) [日本人の配偶者等] 96(15.6%) [その他] 58(9.4%) [無回答] 15(2.4%)	【質問文】 医療や保健のことで困っていることや心配なことについてあてはまる番号を全部選んでください。(複数回答) 【選択肢と回答結果】 ・医療費が高い…179(20.4%) ・言葉が通じる病院や診療所がない…139(15.8%) ・何科の病院に行けばいいのかわからない…94(10.7%) ・保険のことばよくわからない…92(10.5%) ・病院の中に外国語の案内表示がない…79(9.0%) ・日本の治療方法や薬に不安がある…39(4.4%) ・その他…29(3.3%) ・無回答…227(25.9%)
		【質問文】 病院での言葉の問題への対応方法 【選択肢と回答結果】 ・日本語が理解できる…48.4% ・日本語のできる家族・友人を連れていく…22.4% ・通訳を雇い連れていく…6.6% ・通訳のいる病院に行く…35.0% ・その他…3.4% ・無回答…1.8%

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑨医療に関するニーズ(日本語に関する項目を含む)	宮城県 「平成24年度宮城県外国人県民アンケート調査結果報告書」	○実施時期 平成24年11月22日～平成24年12月20日 ○対象 宮城県内に住民登録のある20歳以上の外国人県民から無作為抽出した方を対象 ○調査方法 郵便による送付・回収。調査票は日本語(ふりがな付き)、中国語(簡体字)、韓国語、英語を送付。調査票配布数は1,870件、回収数は431件、有効回収数は429件(有効回収率22.9%)。	○性別(N=429) [男] 154人(35.9%) [女] 266人(62.0%) [無回答] 9人(2.1%) ○年齢(N=429) [20～29歳] 86人(20.0%) [30～39歳] 122人(28.4%) [40～49歳] 119人(27.7%) [50～59歳] 56人(13.1%) [60～69歳] 25人(5.8%) [70～79歳] 7人(1.6%) [80～89歳] 4人(0.9%) [無回答] 10人(2.3%)
⑨医療に関するニーズ(日本語に関する項目を含む)	山梨県・(財)山梨県国際交流協会 「外国人住民実態調査」	○実施時期 平成23年7月15日～9月15日 ○対象 山梨県内に住む外国人住民(18歳以上、大学生以上の留学生を含む) ○調査方法 ワーキンググループメンバー、外国人登録者の多い派遣会社、日本語教室や日本語講座、外国人学校、集住エリアのある市や町の外国人登録窓口、料理店や食料店、外国人が参加するミーティングやイベント等の関係者など、様々な方々に協力を依頼して実施した。中国語(繁体・簡体)、ポルトガル語、韓国語、タガログ語、スペイン語、タイ語、英語の調査票を作成するとともに、必要に応じて「ふりがな付日本語の調査票」も利用できるように用意。配布総数2,100部、有効回答数650部、回収率30.9%。	○性別(N=650) [男] 269(41%) [女] 372(58%) [無回答] 9(1%) ○年齢(N=650) [19歳以下] 14(2%) [20～29歳] 183(27%) [30～39歳] 161(25%) [40～49歳] 157(24%) [50～59歳] 101(16%) [60～69歳] 25(4%) [70歳以上] 4(1%) [無回答] 5(1%)
⑩その他			
⑩その他	愛知県 「愛知県の多文化共生に関する県民意識調査報告書」 平成22年3月	○実施時期 平成21年12月22日～平成22年2月15日(外国人県民) 平成21年12月5日～25日(日本人県民) ○対象 外国人県民について、外国人登録者の多い、名古屋市、豊橋市、豊田市、岡崎市、小牧市、春日井市、安城市、豊川市、西尾市の9市に居住する中国、ブラジル、韓国・朝鮮、フィリピン、ペルー国籍の満20歳以上の外国人登録者4,000人。 日本人県民について、愛知県内に居住する満20歳以上の男女4,000人。 ○調査方法 外国人について、外国人登録原票に基づき、無作為抽出。実対象者数3,203人、回収数717人、回収率22.4%。 日本人について住民基本台帳に基づき、無作為抽出。実対象者数3,979人、回収数1,673人、回収率42.0%。	<外国人調査> ○性別(N=717) [男] 42.1% [女] 56.1% [性別不明] 1.8% ○年齢(N=717) [20～29歳] 20.8% [30～39歳] 29.0% [40～49歳] 23.6% [50～59歳] 14.5% [60～69歳] 6.6% [70歳～] 3.8% [無回答] 1.8% <日本人調査> ○性別(N=1,673) [男] 43.9% [女] 54.4% [性別不明] 1.7% ○年齢(N=1,673) [20～29歳] 8.8% [30～39歳] 21.8% [40～49歳] 25.6% [50～59歳] 21.9% [60～69歳] 17.3% [70歳～] 2.9% [無回答] 0.0%

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
○国籍(N=429) [中国] 155人(36.1%) [韓国・朝鮮] 111人(25.9%) [フィリピン] 31人(7.2%) [アメリカ] 18人(4.2%) [タイ] 11人(2.6%) [イギリス] 11人(2.6%) [インドネシア] 8人(1.9%) [ブラジル] 6人(1.4%) [台湾] 6人(1.4%) [その他] 61人(14.2%) [無回答] 11人(2.6%)	○在留資格(N=429) [永住者] 177人(41.3%) [留学] 68人(15.9%) [日本人の配偶者等] 63人(14.7%) [特別永住者] 42人(9.8%) [家族滞在] 15人(3.5%) [人文知識・国際業務] 10人(2.3%) [教授] 9人(2.1%) [定住者] 8人(1.9%) [研修・技能実習] 8人(1.9%) [その他] 24人(5.6%) [無回答] 5人(1.2%)	【質問文】 病院で困ったこと(複数回答) 【選択肢と回答結果】 ・特に困っていることはない…217人(50.6%) ・医療費が高すぎる…78人(18.2%) ・休日・夜間に利用できる病院がどこにあるか分からない…59人(13.8%) ・日本語の書類・案内が理解できない…55人(12.8%) ・外国語が通じる病院を利用したいがどこにあるか分からない…52人(12.1%) ・医師や看護師と言葉が通じない…46人(10.7%) ・その他…21人(4.9%) ・無回答…19人(4.4%)
○国籍(N=650) [ブラジル] 190(29%) [中国] 187(29%) [韓国・朝鮮] 77(12%) [フィリピン] 49(8%) [ペルー] 45(7%) [タイ] 22(3%) [その他] 80(12%)	○在留資格(N=)650 [永住者] 244(34%) [特別永住者] 16(2%) [日本人の配偶者等] 79(11%) [永住者の配偶者等] 14(2%) [定住者] 88(12%) [資格なし] 6(1%) [技能] 40(6%) [留学] 110(15%) [研修] 3(1%) [家族滞在] 52(7%) [特定活動] 13(2%) [その他] 30(4%) [無回答] 26(4%)	【質問文】 病気のときに困ること・心配なこと 【選択肢と回答結果】 ・日本語でうまく症状が伝えられない…265人 ・医師や看護師の説明が分からない…159人 ・どこの病院に行けばいいか分からない…135人 ・外国人という理由で診療を断られる…9人 ・薬や治療方法が母国と違う…60人 ・医療費がどれぐらいかかるか分からない…89人 ・その他…30人
○国籍(N=717) [ブラジル] 27.3% [中国] 29.4% [韓国・朝鮮] 25.0% [フィリピン] 12.8% [ペルー] 3.5% [その他・不明] 2.0%	○在留資格(N=717) [特別永住者] 18.3% [永住者] 40.7% [日本人又は永住者の配偶者等] 12.0% [定住者] 7.0% [家族滞在] 2.4% [留学] 5.4% [就学又は研修] 1.0% [人文知識・国際業務] 3.5% [技術] 3% [技能又は興行] 0.8% [特定活動(技能実習生など)] 2.8% [その他] 0.8% [無回答] 2.2%	【質問文】 地域生活で日本人と外国人との間にトラブルが起こることがあります。あなたは、一番の原因は、どこにあると思いますか。(1つに○) 【選択肢と回答結果】 ・日本人が、外国人の生活習慣や文化を、理解していないため ・外国人が、日本の習慣や決まりを、理解していないため ・生活習慣などで、自分の母国では問題にならないが、日本では問題になることがあるため ・お互いに、言葉が通じないため ・お互いに、コミュニケーションをとらないため ・相手の生活習慣や文化を理解しようとする気持ちがないため ・その他 ・わからない

	調査実施主体	実施方法	回答者属性①(性別・年齢)
⑩その他	沖縄県 「おきなわ多文化共生推進指針」		
⑩その他	財団法人青森県国際交流協会 青森県観光国際局交際経済課 「青森県在住外国人アンケート調査報告書2012 -平成23年度地域連携多文化共生推進事業-」	○実施時期 平成24年2月～平成24年3月 ○対象 平成23年7月、青森県が県内市町村全てを対象とし平成22年12月末現在の外国人登録状況を調査した「外国人登録状況調査」の結果を基に(総登録件数:4,482件)、県内10市及び平成23年12月末時点の外国人登録者数上位5町村に在住する18歳以上の外国人を調査対象者とした。 ○調査方法 各市町村登録者数により2,000件を按分の上、市町村毎の調査件数を設定して配布。調査票配布数1,992件、有効配布数1,832件、回答数617件、回収率31.00%	○性別(N=617) [男] 174(28.2%) [女] 437(70.8%) [無回答]6(1.0%) ○年齢(N=617) [18～19歳] 13(2.1%) [20～29歳] 189(30.6%) [30～39歳] 150(24.3%) [40～49歳] 115(18.6%) [50～59歳] 77(12.5%) [60歳～] 66(10.7%) [無回答] 7(1.1%)
⑩その他	鳥取県 「平成21年度 県内外国出身者アンケート調査結果」	○実施時期 平成21年5月1日～5月31日 ○対象 県内在住の20歳以上の外国出身者(ただし、「短期滞在者」及び「特別永住者」を除く) ○調査方法 各市町村の国際交流担当、市町村教育委員会及び小中学校、県教育委員会及び県立高校、民間団体、企業等を通じて調査票を配布。調査票は4言語(やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語)で実施。、配布部数は976、回収数は457(回答率は46.8%)	○性別(N=457) [男] 71% [女] 29% ○年齢(N=457) [20～29歳] 48% [30～39歳] 33% [40～49歳] 16% [50～59歳] 3% [60～69歳] 0% [70歳～] 0%

回答者属性②(国籍)	回答者属性③(在留資格)	調査結果
		<p>【質問文】日本人との間でのトラブル経験</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が経験したことがある…15% ・家族、親しい友人の経験を聞いたことがある…12% ・マスコミ等を含めトラブルの話を聞いたことがある…11% ・全く知らない…47% ・無回答…15% <p>【質問文】トラブルの原因</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の生活習慣や文化を理解しようとしていない…17% ・お互いに言葉通じない…14% ・お互いにコミュニケーションを取らない…14% ・外国人が日本の習慣や決まりを理解していない…13% ・日本人や外国人の生活習慣や文化に理解がない…10% ・その他…10%
<p>○国籍(N=617)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 260(42.1%) [韓国・朝鮮] 143(23.2%) [フィリピン] 81(13.1%) [アメリカ] 50(8.1%) [インドネシア] 14(2.3%) [タイ] 15(2.4%) [ベトナム] 6(1.0%) [その他] 44(7.1%) [無回答] 4(0.6%) 	<p>○在留資格(N=617)</p> <ul style="list-style-type: none"> [永住者] 206(33.4%) [特別永住者] 71(11.5%) [留学] 43(7.0%) [技能実習] 128(20.7%) [日本人の配偶者等] 96(15.6%) [その他] 58(9.4%) [無回答] 15(2.4%) 	<p>【質問文】(子供と一緒に住んでいる人に対して)子どもとの会話で使用する言語</p> <p>【選択肢と回答結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語…135人(51.3%) ・母国語…43人(16.3%) ・日本語と母国語を同じくらい…80人(30.4%) ・その他…5人(1.9%)
<p>○国籍(N=457)</p> <ul style="list-style-type: none"> [中国] 52% [フィリピン] 15% [アメリカ] 8% [韓国・朝鮮] 5% [タイ] 2% [ブラジル] 0% [その他] 18% 	<p>○在留資格(N=457)</p> <ul style="list-style-type: none"> [研修, 特定活動] 25% [永住者] 20% [日本人の配偶者等] 17% [留学] 13% [教育] 7% [人文知識・国際業務] 7% [定住者] 4% [技能, 興行] 2% [家族滞在] 2% [その他] 4% 	<p>【質問文】日本語がうまく伝わらなくて困った時、誰にサポートしてもらいますか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の友人や知人…25% ・職場の同僚…24% ・家族…20% ・同じ出身国の友人…11% ・近所の人…6% ・日本語の先生やボランティア…5% ・鳥取国際交流財団の医療通訳ボランティア…4% ・民間団体の通訳ボランティア…3% ・その他…3% ・誰もサポートしてくれる人がいなくて困っている…1%